

279.5-157



1200501360892



十四年五月

訪
獨
感
想
集

日獨青少年團交驩會



始





獨逸派遺團員感想集

(大日本青少年獨逸派遣團團員感想集)



279.5
157

序

本書は昨年日獨青少年團交驩の爲我が國青少年團員を代表して獨逸國を訪問し、青少年指導廳の案内の下に約三ヶ月に亘つて獨逸國內各地を視察見學すると共に獨逸に於ける青少年團員と親しく交驩を遂げ、併せて彼の國に於ける青少年團の活動狀況を詳に觀察したる大日本青少年獨逸派遣團員の感想を輯録したものである。

現在青少年團員として専心其の活動に従事しつゝある之等の獨逸派遣團員の率直なる感想を、其の儘輯録して右派遣團員の報告に代ふると同時に青少年教育上の參考資料に供せんとするものである。

感想中多少の不適當、不充分なる表現は歸朝後尙匆忙の間に求めたる感想なる爲青年の忌憚なき所感として寛恕あらんことを請ふ次第である。

昭和十四年五月

日獨青少年團交驩會

目次

一	我が國青少年運動の反省	秋月鏡觀	一頁
二	獨逸青少年教育の目標	安達猛	二
三	訪獨所感	稻富早苗	二六
四	國土と青年 <small>(ドイツの農業・統制ある青少年團)</small>	有働貫一	二〇
五	訪獨雜感	榑繁雄	二七
六	獨逸雜感 <small>(青少年指導上參考となるべき點)</small>	北川榮一	二九
七	獨逸の理想と青年運動 <small>(我が青少年團への反省)</small>	栗原周作	三三
八	歸國に際して	篠崎秀夫	三七
九	二つの魂	砂川恪三	四一
一〇	世界觀教育	瀧戸直正	四四
一一	祖國の使命	土肥善雄	四八

宮城遣拜し壯途に上る派遣團



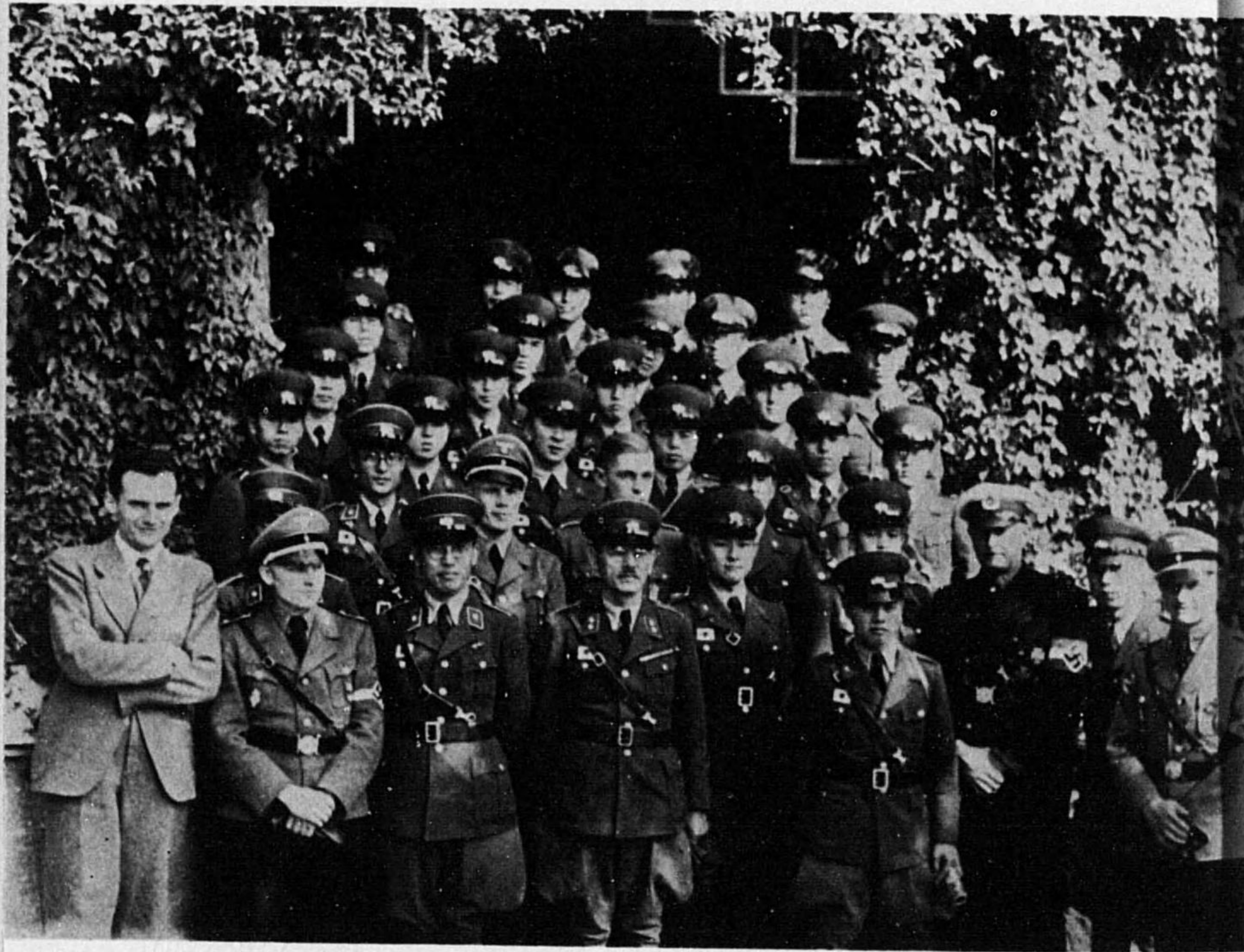
- 一二 獨逸の印象 林 正巳 一〇九
(青少年團所感)
- 一三 獨逸魂と青少年教育 廣田耕助 一〇九
(青少年教育の特徴、訓練の状況、指導者養成機關、ナチス黨大會、結論)
- 一四 獨逸に使用して 古澤健太郎 一〇九
(我が青少年團回顧)
- 一五 民族と農村 堀田孫三郎 一〇九
(青少年團の改善)
- 一六 國旗と團旗 松本惠輔 一〇九
(青少年と體育)
- 一七 獨逸國の興廢を擔ふ青少年 松井保行 一〇九
- 一八 獨逸の力 宗廣力三 一〇九
(他山の石)
- 一九 質實・勤勉・明朗 村上二四夫 一〇九
(青少年運動所感)
- 二〇 青少年指導に就いて 柳橋伊右衛門 一〇九
- 二一 反 省 山口千里 一〇九
(我が青少年團に關する所感)



旅のヤシロブ東



るけ受を閱視の相空グンリーゲ
(日七月七) 表代年青兩獨日



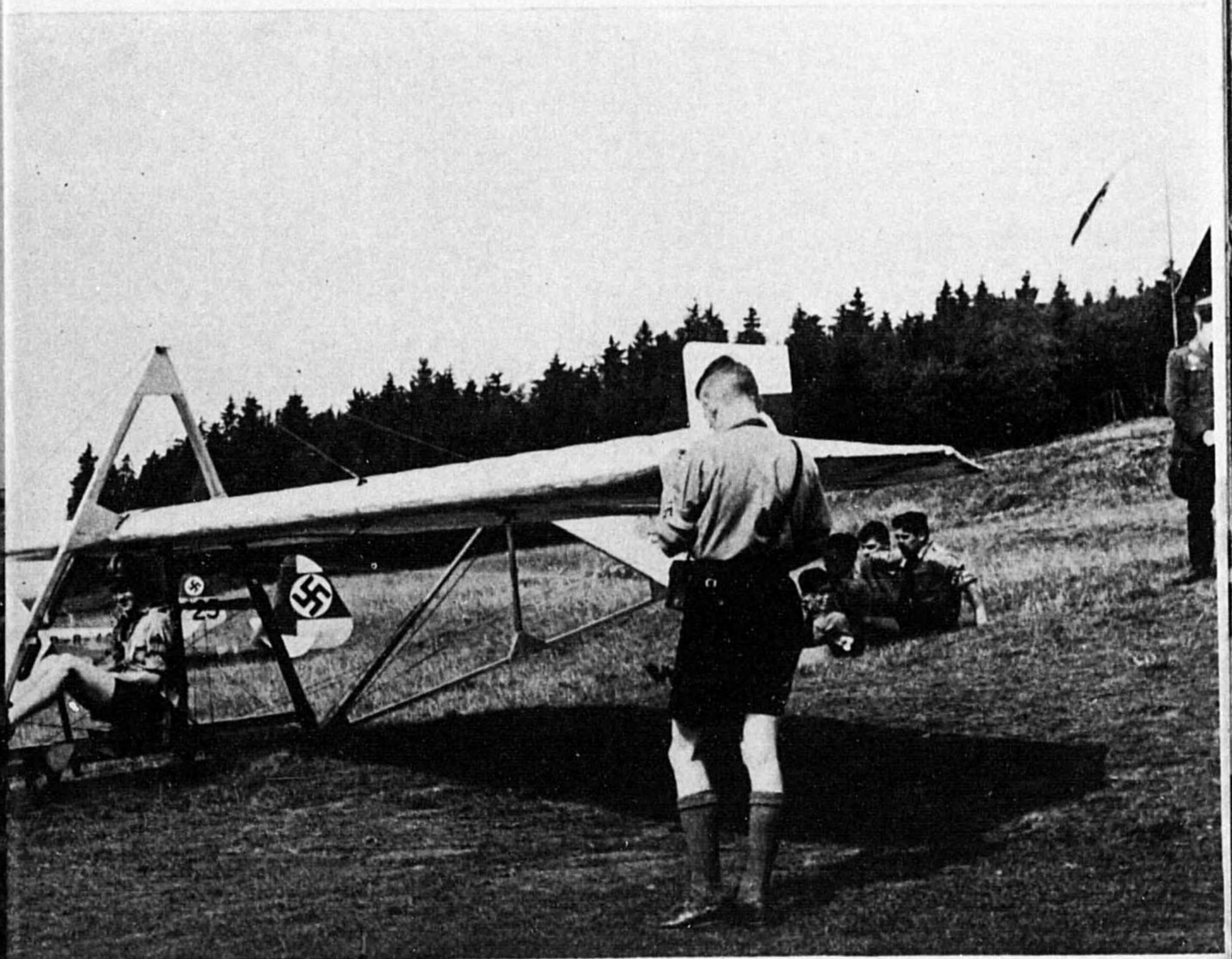
宿投にレーユシツソレグのセイナ方地ヤジレシ



ふ弔を碑念記戦大のクルベンネンタ



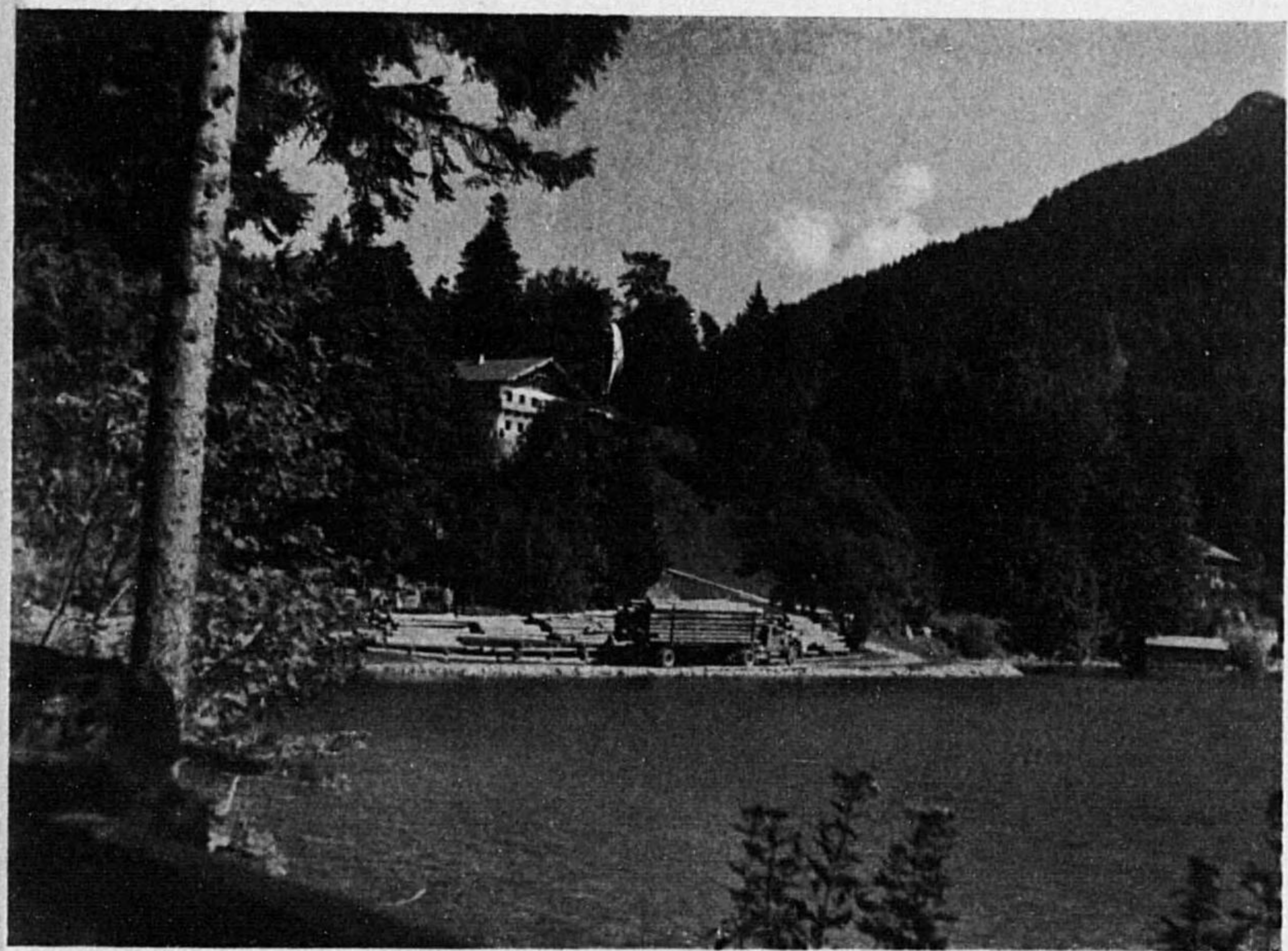
ふ訪を校學者導指 MDB のヤシロフ東



團空航の JII の郊近ターゴ



隊樂の員黨る寸奏演て於に祭民國
(てにルーマイツ)



所泊宿年青ハラーシ・ンオフ・ルウドルバ



者導指のJHふ行を育教觀界世に年少
(てに營野のウロレフ)



我が國青少年運動の反省

福島縣 秋月鏡觀

- 一、青少年團に相互の同志的團結、兄弟的結合が無いこと。
- 二、青少年團に對する學的指導體系が無いこと。(勿論或る團體に於てはこれがあるが)
- 三、年齢による別個の團體であるべきこと。(一八歳—十四歳、一四歳—〇歳等々)
- 四、指導者は學校教育に於ける先生對生徒と、社會教育上に於ては同志であり、兄弟である。兄貴としての指導者が必要と思ひます。
- 五、指導的立場より老人(四〇歳以上)を除き、青年の意氣と熱で結合して團體たるべきこと。
- 六、精神的訓育と強制的團體訓練を緩和し自發的自主的教
- 七、自主的に出席する如き團體たること。
- 八、官僚化は出来るだけ之を避け、民間に自發的に結合する團體たるべきこと。
- 九、社會教育と學校教育とを分離すべきこと。
- 十、青少年は訓練された技能をもつ者となること。



二 ドイツ青少年教育の目標

鳥取縣 安達 猛

目次

- 一 若々しき氣持
- 二 青少年教育の目標
 - 1 體 育
 - 2 政治的世界觀教育
 - 3 婦人よ家庭に還れ、青年よ農村に還れ
 - 三 同志的結合
 - 四 指導者と被指導者との關係
 - 五 指導者養成機關
 - 六 青少年教育と職業
 - 七 青少年團と小學校
 - 八 結 び

私に少しでも語學、西洋歴史、哲學などの素養があつたなら

ば、どれだけか有効に此の八十五日間を過すことができたことだらうと思ひます。私は唯一青年として眼に映じた事の中、將來の我が帝國の青少年運動の參考となるべきものゝみ斷片的に記して御報告に代へたいと思ひます。

一 若々しき氣持

街道を歩きキヤムプ場を訪れ青年會場で交驪する時、吾々は何時でも其處に命令一下まるで機械の様に行動する一團を見た。しかも十八歳位の青年が一五〇名ばかりの少年達を率きつれて、揃ひのユニフォーム、茶色のネクタイを風になびかせて半ズボンにストッキングでリユツクサツクを背に負ひ、團旗を先頭に堂々と市中を行進する。HJの歌に其の歩調を合せて肩で風を切り揚々と進む。彼等が歩けば兩側の民衆は一齊に右手を四十五度に舉げて敬禮をす

る。自轉者に乗つてゐた人は降り、電車は止まる、自動車もとまる。一時交通杜絶になるのだ。

獨逸全國を通じて都市と言はず農村と言はずHJの歌が聞える。固き信念と決意とをその晴やかな眉宇に浮べりユツクサツクを背に、同じ年輩の少年達はHJの歌を齊唱しつゝ規律正しく歩調を揃へて進む。大氣をその小さな胸に一杯吸ひこんで希望にその晴やかな瞳を輝かし乍ら何か意志と嚴肅さを感じさせるものがある。それは自由に朗らかに明確な目標を持たない逍遙と異つて、何處か國家との連りとを國民的な自覺を感じさせるものがその中に在る。將來國家の成員として祖國の繁榮に献身すべき使命と自覺とを臍氣ながらも胸に秘めてゐる小國民の姿である。参考までに私はこれ等の少年青年達の指導者の平均年齢を調べて見た。

少年團	平均年齢
Jungenschaftsführer	14 歳
Jungzugführer	16 歳
Fähnleinführer	18 歳

Jungstammführer	21 歳
Jungbauführer	24 歳
Junggebietsführer	
青年團	
Kameradschaftsführer	17 歳
Scharführer	19 歳
Gefolgschaftsführer	20 歳
Stammführer	24 歳
Bannführer	25 歳
Gebietsführer	28 歳
女子青年團	
Mädelschaftsführer	18 歳
Mädelscharführer	20 歳
Mädelergruppenführer	22 歳
Mädelringführer	23 歳
Unterganführer	25 歳
Oberganführer	29 歳

以上の表でわかる様に二十一歳で六〇〇名の指導者であ

る。六〇〇の子供達の一切の訓育體育を引き受けるのである。それだけ彼等は自覺と自尊心と責任感を持つてゐるわけである。時恰も明治維新の大業が青年によつてなされた其の頃の青年の意氣と氣迫に髣髴たるものがある。彼等は年若くして成人するのも無理もないと思つた。

獨逸國を歩いて見て若々しき氣分が横溢してゐる事が感ぜられた。見るに凡て何か知らず爽快とした意氣と晴やかさと若々しさが感ぜられた。私は其の理由を色々考へ、分析して見て次の三項目を擧げて見た。樞要なる地位にある人が皆若い。又年長でも彼等の心に青年らしさと若さを持つてゐる。第二に男女老若を問はず國民的體育の盛んな事、第三に制服が町に氾濫してゐる事等を擧げる事が出来やう。思へば青少年指導統監ゾルドウル・フォン・シーラハは三十一歳である。氏に三回接して其の若き氣概に接することを得た。そして吾々は氏の周圍を取りまいて日本青年の歌を歌ひまた地も裂け天も割れよとばかり萬歳を叫んだ。其の時は何だか感激して泣けさうだつた。ヒットラー總統にしても四十にながしであり、ゲーリング空相四十二

等の美を表現する健康な肉體の曲線を其のまま自然に浮び出してゐる。腕には矢張り三角形のマーク、胸にはBDMの記章がついてゐた。冬季になると白のユニフォームの上に更に褐色の上着をつける。その清楚な姿は幾度か焼印の如く吾等の腦裡に焼きついた。

これ等の制服をつけた青年男女が三人よれば三人歩調を合はせて進む。姿勢がよく、進んで國家の爲に難に赴かんと云ふ氣概が眉宇の間に溢れてゐる。外貌にもそれが現れてゐることをみのがすことはできない。

二 青少年教育の目標

1 體 育

ドイツの少年達はよく歌ひよく遊びよく運動する。體育はこれ等の少年達の教育の第一の眼目だ。野に山に海岸に森に彼等の行く所は何處もそ彼等の運動場として使用される。林檎の木を圍んで郷土舞踊に耽ける少女團員(一〇歳—一四歳)達、新鮮な空氣を胸いっぱい吸ひ乍ら肩車、相

撲、ボクシング、障礙物競争などに打ち興じてゐる少女團員達、到る處とんだりはねたり投げたり走つたりする純粹體育に打ち興じてゐる多くの團體を見た。何處でも成可く多人數が器械を用ひないで楽しみ乍ら出来る遊戯競技である。又青年團員が七十五のテントを並べて海運に關する技術例へばボート漕、帆走、結索、手旗、モールス信號、發

光信號、投網法、救急法、ボクシング、教練、電信、電話、體操などをやつてゐる海洋青年團、一望千里起伏重疊たる大平原を眼下に眺め乍ら斜面を利用してグライダー飛翔をやつてゐる航空青年團も見た。黄塵をたて、街道を疾驅する騎馬青年團も見た。射撃に熱中してゐる射撃部、防空に餘念のない青年團にも會つた。青年團員は自己の希望によつて之等の何れかに入らねばならぬ。斯くてドイツは將來の科學戰に備へ、青年は各部門に分かれて強兵としての準備訓練を受けるわけである。體育上國防上正に一舉兩得、一石二鳥の感を深くした。これ等の外にグレンデスポーツと言ふものがあり、歩兵斥候などのやる仕事、例へば敵に悟られぬ様に進み、地形の利用、地圖の讀方などの競技を

やり、此の爲に一つの學校さへ設けられ、一月に二〇〇人、一年に一五〇〇人位修了し、各バンに歸りHJの訓練を行ふのである。HJの指導者になるには一定の競技のテストを通過せる者でなければならぬ。又女にしても矢張り立派な青年團長を配偶にせんとすれば體育のテストを通過した優秀なもの程優先権を持つ。前者を純粹體育と名づければ後者を國防體育となづけ、これ等は常に活氣を與へるために競技大會が開かれ全員参加せねばならぬ。先づ第一回としてはシャルルの指導者の下に其のシャルル中のカメラードシャフト對抗に於いて行はれ、一定の點數に達したものは記念章を貰ふ。優勝したカメラードシャフトはスタム、バン、ゲビーツとのぼつて行く。斯くしてゲビーツに優勝したものはニュルンベルグの黨の大會に参加する。十八歳以下の指導者のために五種競技あり、十八歳以上の指導者のために十種競技がある。個人對個人の選手權も行はれる。強き體こそ本當にドイツ國家を隆盛ならしむるものと信念の下に行つてゐるのである。

ドイツ全國何處に行つても自轉車か又は徒歩の旅をつ

ばこそ老若男女を問はず旅行熱が漲ぎつてゐるのではなからうか。富める者、貧しき者、學ある者、學なき者も一夜を共に語り、同じ食卓で食事することはどれ丈これ等の青年を結びつけるに役立つことだらう。

2 政治的世界觀教育

或は海岸の砂濱で、或は森の中や丘の上で少年團員達が眼をみはつてヒットラー總統の傳記やムツソリニーの傳記に聞き入つてゐるのを見うけた。世界地圖の周圍に集まつて世界の狀態の説明を受けてゐる十三、四になる少年達の一群もあつた。十二ヶ國との國境を歩いて、悲憤慷慨涙を流してヴェルサイユ條約の非を鳴らす青年達と語り、眼を眞赤に泣きはらして指導者から國境について聞き入つてゐる可憐なBDMもあつた。兵器展覽場に行くと共に處に佇立して暫く動かうともせない少年を見た。ドイツ青少年教育方針の第二の眼目は政治的世界觀である。これによつて彼等は過去のゲルマン民族の世界的の地位を知り更に將來世界に貢獻せんとするゲルマン民族の使命、少年達の爲さね

けてゐる青年團體を見た。實にドイツ人は自然を楽しみ旅を好む。特に青少年に於いてさうである。二千に餘る青年宿泊所は全國に普く分布してゐるのだ。或は國境に又は名勝舊蹟にあらゆる所に同じ形の建物が見える。この宿泊所代は僅か一泊二十ペニヒだから十七、八錢の値段である。青年達は此の宿泊所を利用して或は國境へ、森から海岸へと徒歩若くは自轉車旅行を續けるのだ。彼等は小川のせまらぎに神の啓示を聞くだらう。森の緑にゲルマンの文化を尋ねるだらう。青春の血を躍動させ乍ら祖國の山河を巡つて新鮮な空氣を吸ひしつかり大地を踏みしめて旅行するのだ。青年宿泊所には各地から集まつた青年達がゐる。昨日までは見ず知らずの他人同志も一夜の中に同じ血を享けたゲルマン民族として同志として打ち解け合ふのである。彼等は夜になると共に唄ひ、共に團欒する。そして將來のドイツを語り合ふのだ。青年の血と血、魂と魂とは此の宿泊所でびつたりと同志的結合をし觸れ合ふのだ。青年達は此の宿泊所を利用して旅行することによつて體を練り、燃える様な祖國愛を喚起し、同志的結合を固くするのだ。され

ばならぬ使命を感じて血を湧かせ胸を躍らせることだらう。かくしてゲルマン民族、第三帝國の指導者たるヒットラー總統と民族協同體とのため及びゲルマン民族の使命遂行のためには死をさへ厭はぬ勇敢な國民になり得るだらう。

3 婦人よ家庭に還れ 青年よ農村に還れ

八月三十日のこと、恰度其の日は自由行動で私はワイマル市のアウフバウシュレーを二人で見學した。校長は案外喜んで吾々を案内してくれた。十二歳位の女の兒が五十名ばかり家事の實習をしてゐた。校長は何か質問してくれと云つた。餘り突飛なのでどぎまぎしたが思ひ切つて私は問ふた、「此の學校を卒業したらなにになるか」、すると「女中になる」といふ。そこで「なぜ女中がしたいか」と問ふと、

「貯金がしたいから」

「貯金をして何にするか」

「嫁入資金に」

答はこゝでとまつた。私の頭にはしんまで深く感ぜさせられたものがあつた。私が若し「嫁に行つてどうする」と問ふたならば彼女は「立派な主婦になり立派なゲルマン民族の母たらん」と答へたであらうと思つた。婦人よ婦人は家庭に還れ、此の言葉は女子に關したあらゆる團體の所で聞いた言葉であつた。我が國にとつてさ程感じないまでも男女同權思想の發達した國でヒットラー總統の言が僅か十二歳の少女に深く徹底してゐるのには驚いた。ヒットラー總統が母のために建てたと云ふ警鐘もみた。女子青年團を何處に訪ねても此の家庭に還れの叫び聲はよく聞いたものだ。

青年よ農村に還れ。此の思想も教範に施設に如實に現れてゐるのを見た。青年指導者に眞の農業の尊いことを體驗せしめる爲に農村學級の制がある。都會の青年達を入學させてよき指導者を得んとするためだ。又アドルフ・ヒットラー・シュレー、ナボラ政治學校の如く指導者養成所に於いて必ず爲さなければならぬのは農村労働と工場労働である。一ヶ月若しくは十五日間これに従事して眞の體驗をし

て出るのである。女子青年團もウムシュウリングスラーガーなどを設けて農村によき主婦をおくらんとし、女のアルバイト・デイーンストを設けて都會の婦女子に農業を理解させんとする點、さてはキャンプ場に國旗掲揚臺の下に鋤を祭つて幼き少年達の頭に農業の神聖なることを植えつけんとしてゐる點など數へ挙げれば際限なし。勞力奉仕團にも亦此の様な氣持が多分に含まれてゐる。血と土、此の言葉も幾度かきいた。

土こそ純粹なるゲルマン文化を包蔵してゐる。土に立脚して始めて密接不離なる愛國精神も生ずるわけである。集合離散常なき利益社會を排して、土と共に生き確固不動の精神と純なるゲルマン民族の文化に育ぐまれてゲルマン民族本來の使命に邁進しそして汗を流して歡喜を味はん。これこそ獨逸青少年教育の根本方針ではなからうか。

三 同志的結合

學生生徒 二一% 商賣 五% 勞動 四三%
其他五%といふ如くH Jにはあらゆる階級の青年達が

集まつてゐる。彼等がユージェントとして集まれば其處に何等ひがみも高慢もない。そして彼等には唯祖國ドイツがあるのみだ。祖國ドイツのため學生も労働者も固く固く結束して行く。又知らぬ他村の青年と青年宿泊所に落ち合つて一夜の中に百年の知己の如き感じになる。制服を着てマークをつけて居ればお互に同志だ。名譽も地位も考へない。一年一九日から二一日のキャンプ生活、一週間に一回のハイムアーベントそれらは彼等の心をより強く固く結びつけるのである。キャンプ場にしてもさうであり、女子青年團訓練所にしてもさうである。

唯ハイムアーベントのみ記して見たいと思ふ。
小高い丘に建てられた木造簡素の建物、而も全同同一形の建物、これが青年達の家ハイム(俱樂部)だ。夕方近く一日の仕事を終へた青年男女はこゝに集つて手を繋ぎ上體を振つて唄ひ手風琴が餘韻爛々と響く、其に合はせて席取競技や其の他の遊びに夢中になる。哄笑、喊聲が起る。和氣霽々たるものだ。デンマークとの國境の町フレンスブルク、プレーメンなどではよく此のハイムアーベント(團樂の夕)

に参加して其の同志的な雰圍氣の中につい融けこまされたものだつた。又一週間に一回の唱歌、體操、政治的世界觀教育を受け、血と土とに關係した話を耳を傾けて聞いている。廣い草原に、素朴に朴訥其の儘の姿をして體を鍛へながらも尙同志としての青年達の血は彌々高く湧き上るのだ。

四 指導者と被指導者との關係

ドイツに入た當初ケルンに於て我々に不思議に思はれたのは、六百人近い青少年の機械の如き動作であつた。どう云ふわけだらうと考へた。彼等は合はせると云ふ事自身に一つの喜びを持つてゐるが又指導者と被指導者との關係も原因の中の重要なものと思つた。同志的雰圍氣の中に育てられ、そして將來のドイツを唯一途に思つてゐる指導者には熱と迫力が漲つてゐる。彼等には其の昔親の眼をのがれ監禁からのがれて青少年運動に盡した燃ゆる様な内からの氣迫が漲ぎつてゐる。だからシュタムフューラー以下は無給で働いてゐるのだ。指導は愛を以て臨まなければな

ならぬ。そして被指導者のために全責任を負ふのである。然し此の愛は對象のためには一を犠牲にし得るものでなければならぬ。被指導者は心の底から信頼し切つてゐるが故に服従するのである。此の様に愛と信頼、責任と服従、これがうまく行つてゐるから教育の成果も自然に收め得るのだらう。ヒットラー總統は其の著「吾が闘争」の中で云つてゐる。指導者は没我、奉公、禁欲でなければならぬ。然も國民を愛すると云ふのはそのために死さへも厭はぬとの氣持がなければならぬ。死よりも強き愛を持つて指導してゐるわけである。斯く指導者は一切の自己の名譽利益地位を感じず考へず、唯彼等には將來のドイツが如何に、と云ふことがあるのみである。

五 指導者養成機關

發生當時は少年達は母の勘當を受け兩親の眼をぬすんで結社的な團結をやつたものだ。現今は黨の保護國家の保護を受けてゐる。「青年は未來のドイツであり神から授かつた國家の寶である。」こんな標語が生れる位だから非常なもの

だ。ましてやこれ等の指導者養成はその施設に方針に方法においてすばらしい成果を收め得るものだった。

1 アドルフ・ヒットラー・シュレー

HJの指導者養成のために國家ではなく黨によつて建設されたもので政治的、國家的、民族的教養を施してゐる。

十二歳にしてこの立派な性格、健全なる精神、優秀なる頭腦の所有者にて將來指導者となり得ると認められたものが入學する。こんな條件を備へてゐたならば社會的地位は問題外とせられてゐる。斯くて入學を許された生徒は六年間民族學、政治學を始め血と土とに關聯した第三國家の指導精神により指導者として指導さるゝわけである。教育は嚴格にして立派な性格をつくるを第一主義とする。そして責任を自ら感じる若い指導者を養成するのである。

2 農村學級

廣い意味のアドルフ・ヒットラー・シュレーと略ぼ同じもので、土に親み勞働の神聖なる經驗を持つ指導者を

養成せんとして主に都會の子弟を入れるもの。

3 ナポラ政治學校

八月二十二日ドレスデン近郊のナポラ政治學校を見學した。町の雜音から離れた森嚴の感のする森の中にナポラ政治學校は聳えてゐる。全國に十五、現在建てられてゐるものを加ふれば今年中に十八になる豫定であると聞かされた。廊下の所々には各國領土の産物及化學纖維工場などの産額統計が貼られてゐる。幾つかの教室と化學實驗室を見學する。男子の學校としては珍らしく中庭には珍らしい赤黄色の花が咲き誇つてゐる。生徒が皆で二八〇人これが一棟に四〇人づつ七棟の寄宿舎に分けられてゐた。各部屋はきちんと整頓され現ドイツ國を背負つて立つ指導者の寫眞がかゝげられ、その指導者の名が其の儘部屋の名になつてゐた。そして其の部屋にはその指導者の趣味嗜好や關聯した一切のものが貼られてゐる。朝な夕なこれを眺める事によつて生徒達は指導者への信頼と政治的世界觀を植えつけられて行く。雨天體操場、屋體操場凡て設備は完全に且つ贅澤なものだった。此處外

の生徒は十三歳から十九歳まで六年間をその修業年限とし、現在二八〇人が現制度を組織して心身を鍛鍊してゐる。選抜の條件として體育的精神的智的に見て小學校、HJ及兩親の同意を受け直接申込まれたものゝ中から平均以上のもの、八日共に生活行事を行ひ其の間に試験をする。採用されたものは更に一年間假入學を許される。

此の間學校の要求を完全に行ひ得ないものは何時でも歸される。日課は六時起床、軽い運動十分間、洗顔、ベツト掃除をなし六時三十五分室内點檢、朝會、校旗掲揚、朝禮七時二十分、授業十二時四十五分。終業一時四十五分。外國語としてラテン語、英佛語、選擇課目としてスペイン語、課目としては體育、物理化學、民族學、動物學、生理、地歴、速記術。晝食後十五歳以下休憩十五歳以上自由散歩。宿題は二時間以内に出來得るもの。五時から必須課目としてモーターの組立て、自動車の操縦、防空智識、自由課目としてグライダー、木工、圖畫、製本。運動はボクシング、テニス、乗馬。一週間に一回ゲレンデスポーツ。七時に夕食。一週に一回ハイムアーベ

ント、年長者は一週二回だけ附近のHJの指導にあたる。土曜日自由である。又競技大会も行はる。五年生になると八週間ルール地方の坑夫として労働奉仕と同じ給料を貰ひ同じ待遇を受ける。四年生では四週間乃至六週間附近の農家に手傳に行き二週間以内工場労働に従事することになつてゐる。教育者はHJ又はSS、SAであり茲の校長はゲビーツフューラーとを兼ねてゐる。一九二六年迄は共産黨の巢窟であつたが一九三三年總統が政權を得るに至つて漸次隆盛に赴き、教師三十三人、生徒一八〇人、生徒一人に對して五五マークの金と一〇ヘクタールの土地を政府が負擔する様になつてゐる。授業料、寄宿料は全部生徒の保護者が負擔するが特に優秀なもの兩親の貧乏なものは特待生として優遇される。

我々は全校生徒の歓迎を受けた。生徒の服装は全部HJの服装だ。休めの號令によつて其の一糸亂れぬ脚の出し方で、其の外観だけ見ても驚歎の聲が出た。日本の眼鏡をかけた烏合の衆の様な學生とは較べものにならない。

六 青少年教育と職業

1 講習會

HJの仕事の重要なもの一つとして講習會がある。今までの職業教育を補ひ職業陶冶を行ふと言ふ意味で夫々の休暇を利用して一週間乃至二週間位の間行はれる。年齢は大抵十五歳から二十歳位までの青少年の中から男女を問はず職業を問はず凡ての青少年團員に對して自分の現在行つてゐる職業の講習を施すのである。勿論技術に理論に現在自分が行つてゐる。職業を通しての世界觀教育も含まれてゐる事と思ふ。方法はKDFに從來行はれた通りのものを行ふことになつてゐる。

2 職業競技大會

これも亦HJの重大な仕事の中の一つである。

(イ) 全國職業競技大會

昨年からは始められたもので第一回職業競技大會は三〇種の職業にわたり、参加人員一八〇萬、今年には昨年の効果とか經驗によつて、壯年青年全部を参加せしめ

五〇〇種の種目にわたり二〇〇萬の参加人員を見、非常な盛況裡に終つた。明年は三〇〇種の種目を増加し合計八〇〇種になる豫定であるといふ。

(ロ) 方法

三段に分かれて行ひ第一豫選は各バン(郡)によつて第二豫選は各ゲビーツ(州)によつて、第三回戦が全國大會として決勝戦となるわけである。

(ハ) 採點方法は全國同じ

どんな學校でもどんな工場でも團員のカードがあり平素は本人の態度、技術等を書き入れることになつて居り大會の當日はこれを持參して點數を書きこむ票となる。

(1) 職業の技術

(2) 職業の理論

(3) 運動競技のテスト

(4) 世界觀的民族的第三國家の指導精神に關係した

筆記テスト

(ニ) 結果

この大會によつて各職業の缺陷、優劣を見分け各職業に於ける青少年の状態を推察し従つて自ら其の對策、教育法も講ぜられるわけである。一等の人は一千マークの金を研究費として貰ひ、五月一日の青少年の日にはヒットラー總統に紹介される榮譽を擔ふ。之は青少年に對する教育方針と職業技術との連絡を最も密接にし健全なる精神、健全なる身體、技術の向上と一舉三得をめざしたものである。

3 ランドデイーンスト

職業を持たない都會の青年男女に呼びかけ、彼等の自由意志に基いて募集し農村の手傳をさせるもので、その意志を持つた者は本部指導部でこれを指導し、後一ヶ年間契約をするのである。その給料は極く僅かであるがこれを貯金して置く。そして此の奉仕期間中に他日農業者として獨立するに必要な農民魂、農業技術及び資本を得るわけである。此の資本によつて他日土地の譲渡を受けて農民として獨立するわけである。つまり之によつて國家の農民を造り且つ又農村の後繼者をつくらんと考

へから行はれるのである。

4 徒弟の家

大都會の餘つてゐる労働者で以て地方の労働者の足りない所を補つて行かうと云ふ目的を持つたHJの仕事の中の一つである。徒弟の家にて基礎的な教育を施し大工場なんかで人が足りない場合これによつて補つて行かうと云ふ一つの職業周旋業である。

5 BDMの教育に就いて

立派な家庭の妻たり主婦たり得る婦人の養成。

(イ) 家政學校 日本の花嫁學校に似たものであるが本質的にやり方が違ふ。幾らかの月謝を必要とす。

(ロ) 家政に關する講習會

職業婦人を對象として行ひ何處までも婦人である様亦家庭の主婦たり母たり得る様要求し、誤れる男女同權思想を廢し無料にて行ふ。

七 青少年團と小學校

吾々は一度小學校を見學したいものだと思つて伯林で二

回程交渉したが其の都度色々の理由のもとに失敗に歸した。ワイマールの街で一回自由行動の時見る機會を得た。

暗い學校で設備なんかも全く駄目だと思つた。若い先生は一人もみかけず皆三十歳以上位だと思つた。校長は世界戦争の結果無慘にも片腕は不具だつた。小學校の教師よりも少年團の指導者をやつた方が生甲斐を感じる状況だ。少年團關係者は云ふ、學校との關係は非常に圓滑で、學務部長に相當する人がHJの指導者をしHJに關係してゐるものが學校關係の事務を取るのである。學校は主に智育を掌りHJは訓育、體育を掌る。學校は上から法令的にきめられたものであるがHJは青年の心から内から必然的に湧き上つたものである。従つて青年の心理、律動にびつたりしてゐるのだ。若き青年教育者が全力を兒童の訓育、教授、養護につくしてこそ始めて全人格的教育は行はれ得るのだ。

八 結 び

ズデーデン及びチェッコ問題の眞最中英國に多くのドイツ青年達の入り込んでゐるのを見て今更の様に恐ろしい感さへした。印度洋上でズデーデン、チェッコ問題の圓滿解決を聞いた。世界を呀と言はせ、一時歐羅巴に暗雲低迷の緊張を覺えしめた此の問題も又一滴の血ぬらずして圓滿解決なのだ。今更乍ら思想的統一と經濟政策、青年の統一、謂はゞ戰時體制下のドイツの姿が眼に浮んだ。將來の戦は斯かる形態を取るものだらう思つた。武装せる平和、其れはドイツの事であり、其の武装は思想の統一、民族の結合、青年の結合であると思つた。吾々は將來の斯かる戰鬪形態に勝たねばならぬ。大日本青少年團の糾合統一、これこそ

銃後の國民、延びて行く國民に負はされた使命ではなからうかと思ふ。

日本に近づいて、關門海峡の景色は歐羅巴の何處にも見かけない景色である矢張り日本は美しいと泌々感謝し感激した。二重橋の幽嚴さには思はず涙が浮んだ。日本青年の將來には幾多の荆棘の道がある様に思はれた。吾々はこれを押し破つて進まねばならぬ。

西洋は木の香も新しい新築の家の様な感じがするのに反して吾が國は茅葺の古さびた家である、煙で黒くくすぶつた自在鍵で、奥の方では香の香もしてゐる様な家である。

青年よ、がつちり組まう、ひがみや高慢があつてはならぬ。學生、生徒も給仕も労働者も農村青年も祖國のためにがつちり組まう。斯くして出來た青年團と指導者との協力の下に學校、家庭に村落にと少年團、第二國民の養成に邁進せねばならぬと思ふ。

三 訪 獨 所 感

佐賀縣 稻富早苗

故國を離れて約半歳、盟邦獨逸をはじめ僅か乍ら歐洲の主要なる國々を巡歴し、我が祖國日本を客觀的な立場に立つて省みたときしみじみと感じたことは我が日本の偉大さ美しさ又有難さでありました。

我々は今までかゝることは概念的にしか思つてゐなかつたのであるが外國にあつて我と彼とを照しあはせたとときはつきりと我國の偉大なることを知りました。

思ふに盟友ドイツがいる／＼と華やかに國家をあげてやつてゐることも、ひつきやう統一國家を形づくり、日本のやうなうるはしい國家をつくりあげんとしてゐるに過ぎないのでありませう。

しかし我々は盟邦ドイツが新しき國家をつくりあげ、起ちあがらんがための燃ゆるが如き熱と血のにじむやうなそ

の努力にたいしては心から尊敬をはらひ、その尊き姿はほんとに涙なくてはみられぬものがありました。

ひるがへつて我國をみると、我國は肇國以來今まで一系の天子を上奉戴し、我々臣民は代々皇室のためには己を省りみず、進んで忠誠を捧げて参りました。かゝる忠誠の念が熱烈なる愛國心となり、かゝる愛國心こそこの見事な國家をつくりあげ、且つ永遠のものたらしめてゐることを思ふとき實に我國に生をうけたことに對して衷心感謝の念にたへませんでした。

一貫した歴史と傳統とを持ち、四邊大海に守られ、一度も他國人他民族の足下に蹂躪されたことの無い神代そのまゝの神聖なる國土と、その上につくりあげたる文化とを保持してゐる我國はたしかに今新なる國家建設に邁進してゐる

友邦の大きいあこがれであり活きた手本であると信じられます。

次に私は日本及び日本人といふことが未だ歐洲人には豫想の十分の一も知られてゐないことを日本人として實になげかはしく思ひました。日の丸を胸につけて道を歩いてゐても支那人といふものはあつても日本人といつて呉れる人は甚だ少かつた。これは笑ひごとのやうで實は國家の將來の發展を考へるとき體力の問題と共に見逃し得ない重大な問題であると信じます。

次にドイツの青少年團の狀況を觀て我が参考となるべき點を二三擧げてみます。

一

ドイツに於ては青少年團運動がよく完備した組織と一貫した系統の下に行はれてゐることは大いに學ぶべき點が多く、又うらやましくもありました。ひるがへつて我國のそれをみると、現在發展の過渡期であるとはいへ各種の團體に分散され、それがちつとも連絡が無く互に自己の團體のみを念頭に置き、排他的氣分が滲り、各團が各々自己の團

體をして周圍の者により以上評價せられやうと空虚な努力を續け、みぐるしき勢力争ひをやつてゐることは非常に残念に思つて居ります。各團體の掲げてゐる指導目標や要旨

誓詞をみますと言葉の相違こそあれ大同小異大方一つのものに歸一するやうに思はれます。勿論その目標に向ふ指導の方法や要領は違ひますけれども、同じく國家の發展を圖り日本國民としての立派な人間をつくるものであるならば、この際これら各種團體がすべからず小我を捨て大きく國家的見地から國家的青少年運動として速に誕生されんとを念願致して居ります。

長期戦下非常時のこの際青少年運動の重要性は愈々その度を加へて参りました。

従來の、數からいつても内容からいつても少しく貧弱な我國青少年運動がしかも排すべき勢力争ひをやめ、廣く大きくしつかりとドイツにみるごとく全國的なをして活潑な青少年運動にならねばうそだと思ひます。

又青少年運動の對象が少年團に於ても青年團に於ても一部の人々に偏し全部を包含してゐない。これは跛である。

故に私は是非日本全青少年を對象とし、これらすべてを網羅し、少年から青年へ、又少女から女青へと段階を以て進めるやうに出來たらと強く念じて居ります。

二

次にHJを初めA D、S S、S A等をみて「制服の偉力」を痛切に感じました。これはすべて組織から來ると思ひますが、あゝして全国的に統一されてゐることは實に愉快なことでありませぬ。

私は今まで幾つかの制服を着て参りましたが平常の衣服をすて、そのユニフォームに替へとき、そこに何ともたへやうの無いよろこびを感じました。それがまた多數の者が同一のユニフォーム姿で集合するとき更にいひ知れぬよろこびと誇りを感じるものであります。

日本の青少年が雑多なものから統一されたものへと進展し全國同一の制服へと進む日の一日も早かれと祈つてやみませぬ。

三

次いでドイツ人の體格が立派で態度の堂々たることは一

番感心に思ひうらやましかつた。

これは素質であるといへば返へす言葉はありませんが大戦の慘禍を極めた頃に生れた現在の青年があゝして立派な體をもち、それが年々向上しつゝある原因も日本人としては考へねばならぬことと思ひます。

若い中はだまつてゐても日々成長するものであります。それが、それに適度の運動を課し、よき環境を與へてやると普通の幾倍もの好結果を生むものであります。

その點HJに於て體育を重要視して純粹體育に加へて國防體育を行はせてゐることは年々體位の向上してゐる原因でありませう。何をするにもよき場所を必要とするものであります。ドイツが都市の人口に相應する廣き運動場を有してゐること、それを一般に公開しいつでも誰にでも使用せしめてゐることは、現在日本の現狀からみてうらやましい限りでした。

又次代の國家を背負つて立つべき國民を生む母となる婦人の體格がよく、そして彼女らが元氣のあることには驚きました。私はあの婦人の平常の態度は氣に入らなかつた。

れども女性の本質を思ふとき、日本の婦人も今少しは體の方面も考へてほしいと思ひます。

今までは女子の體育はあまり考へられてゐなかつたやうであるが、數からいつても國民の約半分は女子であるから、いろ／＼の點からいつて女子の訓練は極めて重要なことを此際強調したのであります。

我が同胞は年々その體質が低下しつゝあるそうであります。これは由々しき重大事で國民全部がこのことによくめざめ體位の向上につとめねばならぬときで、ことに發育盛りの青少年のうちには充分運動を行はせねばならぬと思ひます。今までは聲を高くして叫ばれてゐたが、體育方面になると無關心の方が多いやうであつて、今後は何うか團體的體育運動も加へていただきたいと思ひます。



四 國土と青年

熊本縣 有働貫 一

一 國土と青年

建國以來の國家未曾有の非常時を後に致しまして皇國の
彌榮を念じ乍ら、現今世界の注目の的と成つて居ります新
興獨逸の青少年と及ばず乍ら交驩親善の契を固めるべく努
力致しまして無事歸國の出来ました事は一重に神の加護と
國民の皆々様の御熱誠なる御後援の賜と深く感謝に耐えな
い次第で御座居ます。

私が獨逸へ入りまして第一に感じました事は訪獨前に考
へて居た以上に躍進途上若芽の出てる姿には心から一驚
せざるを得ないので御座居ました。此れが大戦に於て無慘
だつた獨逸かと再び認識を新にしたのであります。次にヒ
ットラーユーゲントの國家的運動は物凄いものでありまし
た。第二國民の養成として古代ゲルマン民族の有する尊い

騎士道の精神と民族共同體との確保をうながすものであり
まして、國家の爲に青少年が自から立ち、若き指導者のも
とに建設されてゐるので御座居ます。

各地の天幕生活を見學致しまして青少年一人一人が指導
者にも成りあるひは平團員となり指導を受け其の實狀を充
分見聞致す事が出来ました。其の青少年の楽しみとしてゐ
る、野營生活に於きまして規律正しく元氣潑刺たる若々し
い姿を眺めます時、將來の新興獨逸の姿が連想されるので
御座居ました。亦、彼等が農村を眺め、天地自然に感謝し
つゝ行進する時は祖國獨逸の風物に接しドイツ精神を不知
不識の中に涵養教育せられるのであります。尙世界觀的の
教育は施行され、自然生活を樂しみ乍ら褐色の制服を身に
固めヒットラーユーゲントの腕章を着けてユーゲント魂た

(20)

る團旗を押立てて音楽隊の太鼓の音と共に堂々、勇壯果敢
潑刺として合唱し乍ら大地を踏みしめ行進を續けて行く様
を度々眺めまして、青少年の顔には朗らかにして熱烈なる
愛國心が躍動してゐるのを感じるので御座居ました。そし
て今日では青少年指導統監バルドウル・フォン・シーラハ
閣下のもとで七百萬の青少年が全国的に如何なる田舎に迄
も徹底的に統制歸一されて、一糸紊れざる教育訓練を受け
てゐるのには心から賞讃せざるを得ないのであります。
然し乍ら我國の青少年團の崇高なる滅死奉公の精神と大和
魂の眞髓とは決して獨逸の青少年團に劣らない、否其れ以
上に立派にして清く高大なるものである事を切實に感じた
次第で御座居ます。

次に私が特に感じました事は、ナチス第三國家が如何に
農村を中心として國民教育に或は國家建設に理論でなく實
際に邁進してゐるか云ふ事でありました。勞働奉仕團は
國民の義務とされて、如何なる職業階級をとはず勞働に依
りて國家に報恩感謝の念を捧げると共に民族の團結と祖國
開發、國內經濟充實に努力してゐるのであります。尙男女

ヒットラーユーゲントの中には農村學級なるものが建設さ
れてゐまして、都會の少年で小學校を卒業せし十五歳の者
を九ヶ月間農村に於て農業教育を施し勤勞奉仕をなさしめ
てゐるのであります。そして常に青少年は祖先の開きし土
へ歸れの運動が盛んに行はれ、土への愛着と國家的觀念が
強められてゐるのであります。又學生、軍隊の如きも農繁
期に於ては農家に行つて手傳ひ、老も若きも學生も、青年
も、國民凡べてが一致團結して産業報國にいそしんで居る
のであります。斯の如く全國民が勞働奉仕をして、眞に農
の尊さと眞價を體得認識し土の有難さを感じる姿にはナチ
ス國家の將來の興隆發展がありありと感ぜられるのであり
ました。申上げる迄もなく我國は萬邦無比の瑞穂の國であ
り、此の有難き國體に生を受けました日本國民は産業報
國、國家の興隆に一身を捧げると共に國民全部が國家の基
礎である、土の香に接し眞に農村を充分認識理解して戴き
度いと念ずるものであります。

次にドイツ青少年の體育にはわれわれ大和民族として全
く残念で御座居ました。獨逸は世界大戦後非常なる國民體

(21)

位の低下を見、特に青少年の如きは全く哀れな状態となり其後體位向上の聲が盛んに叫ばれ今日では世界一の體格をもつ獨逸國民として輝いてゐるのであります。青年の士氣の鼓舞に力めると共に心身の鍛鍊を計る爲今日では全國的に如何なる田舎、山中に参りましても青少年塾(ハイム)には必ず立派な運動場が建設され、スポーツ大會、並びに民族の共同を計る意味に於いて團體スポーツが奨励され、益々鍛鍊向上に奮闘してゐるのであります。體育運動の基本としては、團體スポーツに於て同志の團結心を養ひ又勇氣をもたせ忍耐力を養成し常にHJの課程の一つとして一週間に二回の運動の時間がもうけられてゐるのであります。

私共は八月二十七日チューリンゲン地方の或るハイムを見學しまして、其の裏にある廣漠たる緑の運動場で二百名程の青少年が若き指導者のもとに如何にも愉快相にほゝえみ乍らボール運動、梯子くぐり、塀飛越し、横木歩行等をなし、直接軍事教育を施すのみでなく、幼年の頃より年齢にも似合はぬ猛訓練を施し其の隆々たる體格を以て運動に勵み、なす事過べて間接的軍事教育が盛んに行はれてゐる

のであります。又女子青少年團(BDM)の男にも勝る立派な體格と一人として口紅等使用せず、全國的に同一服裝をして太陽に照されて體位の向上に進んで居る姿には全く敬意を表し、第二國民の母性其れを通じてナチス國家の將來がつぶさに感ぜられるのであります。

次に制服統一の威力と云ふ事を痛切に感じました。ドイツに於ては精神の統一と共に全國的に服裝を統一し、粗末なものでもきちんとしたものを身に着け、内外堅實なる青少年を作らうとし、HJ本部内に於ても服の研究所迄設けられ常に其の方面の研究を進めてゐる。褐色の制服を着用して堂々と大地を踏みしめ乍ら濶歩してゐる様を眺めると其の服裝をしてゐない者はドイツ青少年たるの資格がない様に感ぜられ、如何に服裝の統一なるものが大切であり青少年運動の共同體の觀念を養成するに大事なるかを痛切に感じたのであります。特に女性は身の廻り等精神的に統制され、他人と外見に於て比較する必要もなく共同親睦を計る上にも大切な事とされてゐました。

二 ドイツの農業

次に私は田舎の一角に過してゐる百姓としてドイツの農業を充分研究見學致し度いと思つて居りましたが其の意を得ず非常に残念で御座居ましたが一、二感じた事を記す事に致します。入獨後の第一印象は廣漠たる農場で、麥は青々と繁茂し馬鈴薯の花は何十町歩と地平線に續き其の爛漫たる光景は我國に於て味ひ得られない現象でありました。

何十町歩の草原には數十頭の乳牛が首に鈴を架け楽しさうに草を食してゐる。此の地方では牛を夏は牧場に其儘入れて置いて夜も其の中で寝せ、唯、乳を取りに行くだけであります。農家の側には天に聳ゆるエンシレージのサイロが點々と眺めら綿羊の放牧も目に映じ、如何に有畜農業が盛んであるかつぶさに感ぜられたのであります。

農場の中を縦横する、細き三尺巾の道路迄がアスファルトで固められ道の兩側には梨、リンゴが幹高く、栽培、土地の利用に力めてゐるのが見受けられました。農家は廣々とした中に點々と建てられ、家を中心として理想的集團農場が建設され、合理的經營が發揮されてゐるのであります。家の前には小温室が並び、薔薇、ペコニヤの垣根を造

り爛漫たる花の香りは我が鼻をたゞえるのであつた。斯の如く愉快さうな勤勉なドイツ國民の心と姿を充分察する事が出来たのであります。

ドイツの農業は機械を利用する粗放農業であつて、廣い農場には麥刈機を馬二頭に引かせてゐる様も見受けられました。又、恰度、我國の昔の小さな汽車の様な、トラクタで土地を耕してゐるのも見えました。西洋の農業は廣漠たる一枚々々の畑に於て仕事をなし、小農家と雖二十町歩三十町歩を耕作してゐる關係上機械農業が發展、應用されるのは必然的で有ると感じました。

其れに比して我國を眺めますれば全國一戸平均一町歩と云ふ小面積に依る家族中心の集約的農業であつて勞力面積の都合上大々的の機械化經營の必要を感じなかつた。然し乍ら今日の農業經營に於ては複雑化した多角形農業が自然的に發展し、勞働力の合理化を計る爲及び經營の向上發展、能率増進を期する爲に益々我國に適した農具の研究を行ふことが大切ではないかと感じた次第であります。

次に農家の大切なる主婦養成の如きも農村學級に、或は

アルバイトデイーンストに入れて勤勞・忍耐の精神を養はせ、農村の主婦として立派な人物、働く人を造る様努力され、國家としても農村政策上最も肝要なる事項として女子の農村教育は盛んに行はれてゐるのであります。私はドイツ農家が非常に簡易單純な生活をしてゐる事には敬服せざるを得ませんでした。我國の農家は非常な複雑な生活であつて一つ例を申上れば臺所の改善であります。ドイツの農家は清潔で食糧器具、日用品等自分々々に一つ／＼綺麗に整頓されてゐるのであります。我々農村の青年は雨天でも利用してよく研究し、農具の整理臺所の改善に力めねばならないと感じました。我國には我國の尊い傳統的精神があります。決してドイツを其の儘すべてを學ぶのでなくドイツの美點を参考にして我國に適當した方法をもつて實行しなければならぬと思ふ次第であります。畏くも我が皇祖の大理想「八紘一宇」の御精神を奉戴致しまして、御稜威の宣揚に世界平和に貢獻しなければならぬと感じるので御座居ます。私は今度我國の眞の有難さの感をより一層深められ、又我國が眞に世界の指導的地位に立つてゐる事を悟

り何んとも云ひ知れぬ誇りをもつて歩く事が出来ました。私共は今後益々盡忠報國の誠を致し自己の職分に彌々營々として、天業を翼賛し奉りまして一畝、一畝土に深く打ち込み乍ら青少年團運動に一貫した信念に向つて邁進致す覺悟で御座居ます。

三 統制ある青少年團

獨逸青少年團運動の状況を視察見聞致しまして全國的に統合歸一、一糸亂れざる姿には深く感じさせられました。我國に於ては青年團もあり少年團もあり少年聯盟もあると云ふ如く、一つの青少年團運動の中にも多數に分裂して居ると云ふ事は將來を擔ふ第二國民の養成に當るべき國家の目標が分れて居る如く感ぜられ、此の點全國的に統制を計り我國に於ては青年團の中に少年部青年部を建設して一つの目標に邁進する事が國家興隆を計る上に最も大切な事ではないかと思ふ次第であります。

次にドイツの青少年團は指導者の若い事であり、青少年は青少年に依つて指導せよ、と云つてをり、此の原則に向つて指導を行つて居りますが、各訓練所を見學しまし

ても、十八歳位の女子の指導者が六百名程の女子青年を立派に指導して居るのであります。そして指導者は官吏でもなく青少年の指導をもつて職業とし、直接青少年に當る者は前にも述べた様に若き指導者で、其の後を押立て、行く人が老いた人格者の様な方々であります。此の點幾多參考にすべきではないかと感ずる次第であります。

次に我國に於ては女子青少年團の活動が男子と比較して微々たる感が致します。ドイツに於きましては女子(BDM)でも男子青少年團同様に其の運動が完全に全國的に統制せられて活動して居るのであります。我國に於ては中等程度の女學校を卒業した女子はお嬢さん氣取りに成つて青年團に入る人はないのであります。之等も女學校の實際的教育の不徹底ではないかと感ずる次第であります。亦地方に於ける女子の幹部指導講習會の如きは充分に行つて女子青少年團は女子に依りて指導す可く、良き指導者養成の如きも大切ではないかと思ひます。次に女子の體育。今日では我國に於ても非常にこの徹底的運動が行はれ、堂々たる體格が建設されつゝ有りまするが、健全なる精神は健全な

る體格に宿ると申してゐる様に、ドイツでは男子同様に激しい運動を行つて、將來の母性としての素質の向上に邁進してゐるのであります。ベニなどをつけて化粧してゐる浮ついた者は餘り見る事が有りませんでした。そして立派なお嬢さん達が鼻の上は日光に當つてかはのはげてゐるのも度々見かけました。然し平氣で都會等でも濶歩して居るのであります。其れに引換へ我が國では立派な黒い髪迄も赤く色を付けたたり、ベニを付けたたりオシロイをこてこて塗つたりしてゐる者を見て全く外國かぶれしてゐるのを見て残念で御座居ました。女の美、たしなみとして少し位の化粧は必要だと思ひますが女子青少年團の手に依つて之れ等も充分考へる事が大切ではないかと思ひます。又、女學校、女子青年幹部講習會等で充分なる時局の認識と我々大和民族の眞髓を認識する様教育する事が大切だと思ひます。

我國青少年團にもドイツの様に其の年其の年に於ける一貫した目標がさだめられ、此れに向つて邁進すると云ふ様な事が最も必要ではないかと感じた次第であります。獨逸ではナチスの黨大會に於てHJの日と云ふのがあり、HJ

の代表者達は全国土より徒歩にて團旗を押立て、行進、ニ
ユルンベルグに集り、東プロシヤ地方の如きは一月餘もか
かり、大會當日にヒットラー總統より翌年の目標を授けら
れるのであります。ドイツ青少年は山村僻地に到る迄此の
目標に向つて邁進してゆくのであります。斯の如く一貫し
た目標に向つて進み青少年の精神を統一する事が大切では
ないかと感じた次第であります。

次に獨逸青少年運動の渡鳥式旅行の際宿泊する宿泊所の
發達してゐる事でもあります。そして主に國境附近に多く獨
逸はベルサイユ條約の不都合を青少年に實際に於て見聞せ
しめるべく其の教育を自然に行つて居るのです。我國には
其の必要はありませんが、青少年の團體訓練の効果を計る
爲旅行も盛んに行ひ、其れには宿が問題であり、之れ等宿

泊所の如きも各郡部に一ヶ所位でも建設されればよいと思
つて居ります。

服装の統一。獨逸は今日ヒットラーユーゲントの服装を
してゐない者は獨逸青少年の資格がないと迄云はれ亦斯の
如く感ぜられたのであります。青少年は粗末なものであつ
ても其の服を着用する事を大なる名譽として居るのであり
ます。我國にも青少年團の服装の統一も大分圖られて居り
ますが、まだ其の完全を期せず、北海道と臺灣は氣候も異
りますから、其れ等の點は充分考へて一つの基本をもつ
て、其地方に適當した方法で之れが統制を計り、内外共に
立派なる日本青年團を建設する事が大切ではないかと感ず
るのであります。

五 訪 獨 雜 感

大 阪 市 楮 繁 雄

多くの人々は口を揃へて云ふ「獨逸はヒットラー總統が

起ち上らしめたのだ」と。然し私は今回獨逸を訪ねて、青
年運動の旺盛な實狀を知り、「ヒットラー總統は青年に物を
云はした」と云ふ結論を得た。事實一九三二年のポツダム
集會はヒットラー總統を何よりも力づけ活動を潤滑にせし
める原動力となつたであらう。昔から多く偉人は「青年層
を見てその國の將來を知る」と云ふて居る。我國に於ては、
平素兎もすれば青年を見て「嘴の黄色い奴」とか「青二歳
奴」がと云ふ人がある。然しかうした時局になつてからそ
んな事を云ふ人は一人もない。各所に於て「青年でなくて
は……」「青年こそは……」と叫ばれて居る。之を見ても
青年の重要性を知る事が出来るのである。

それでは果して、青年に對して萬全の施設、機關等が講

じられて居るだらうか。

私は獨逸青年運動を見て最も痛感したのはその行事なり
精神なりの立派な事よりも先づ第一はそれが國家的な統一
された義務制團體であると云ふ事である。我國の如く、青
年團あり少年團あり、然もその中に又凡ゆる種類別のもの
があつて、共に磨き合ふと云ふよりも却つて一面に於て何
となく磨滅せしめて居る傾向の多いと云ふ様では到底昭和
の 聖業完成に翼賛し奉る事は六ヶ敷い。かう云う意味に
於て、私は切に青少年の統一強化を圖り、國家的な見地に
立つて勅令團體となる事を望んで居る。

元より、我國青年團は、郷土をバックとして立つた自治
團體であつて、その精神も「俺等の町は俺等が護らう。私
達の村は私達が育てませう」と云ふにあつてその組織機構

が何であらうとも、立派な精神團體である。然しそれも團員のみが知つて居る事であつて、他の一般人は青少年團なるものが如何なるものであるかを知らない。實に残念である。實に惜しい事だ。私はかうした點より察して、義務制團體であることを切望するのである。

國家的な團體化する事は、精神の持ち方を變へるばかりでなく行事に於ても相當變る點がある事を思ふ。

例へばHJを見れば、その事業活動が我國の幼稚なものよりも遙かに大人めいたものがある。然も軍事的色彩の濃厚であると云ふ事は見逃し得ない。

國防軍事(ゲレンデ)スポーツ、乗馬、射撃、通信等が最も異彩ある點であると思はれた。私は青少年團が軍事的色彩を濃厚に持つと云ふ事のみを以て最上としたくない。圓味のある人間を作り上げる意味に於て、又青少年達に楽しい時を持たす事も必要であらう。HJが歌と共に過すラーガー生活、渡り鳥運動等はさうした一面に於ける代表的なものであらう。

六 獨逸雜感

神奈川縣 北川 榮 一

一
HJの立派な組織、諸設備、訓練に依つてつくりなされた所の青少年の體格の立派な事は實にうらやましく感じられました。特に女子の體格の立派な事は日本に比して著しく感ぜられました。彼女等は獨逸少女團(BDM)に依つて訓練される以外に、つとめて彼女等自身野外に出て、太陽の光線を身體一杯に受け、眞黒にきたへられた皮膚を誇つてゐます。こんな事を書くとは叱られるかも知れませんが、早く日本の廣告紙上より日やけよけのクリームの廣告のなくなる事を心に念じました。

二
次ぎに感じました事は獨逸農民の廣大なる農地でありませんが、日本の一農家あたり一、二町歩の農地にくらべ彼は

更に私はHJで感じた事は「青少年は青年によつてのみ指導されねばならぬ」と云ふ事である。我國青年團は特に都會の團體に於て經濟的悩み、社會的地位の悩みが過分にある故、この實現も相當難點がある。同様に指導者の身分保證と云ふ點も六ヶ敷い。又HJは指導者對團員の關係が、絶對的なものである一面と更に又一つ器の中に入つて解け合ふと云ふ嬉しい點もある。之でこそ感化力の強い青少年達を優に指導してゆけるのである。

更にHJには職業競技大會あり、ヒットラー行軍ありで實に多忙である。然もハリ切つてゐる。

何は兎もあれ、我國は青少年運動の先輩國であり乍ら、その進歩が遅れて弟子に學ぶ様な形となつたが、それも今更仕方がない。

要は將來にある。聖戰目的達成の爲に、引いては國家百年の計の上に貢獻せんとするならば青少年運動の充實を圖らねばならない。この點に於て組織の國ドイツの「血と名譽」の團體HJに學ぶべき點が多々あると思ふ。

實に一農家あたり七町歩平均の農地を有してゐるのであります。然るに獨逸國は、毎年五十萬人づつの増人口の爲め増々領土を擴張し、今日ではオーストリア、チェコの一部を合併する事に成功しました。我々はもつと海外に進出しなければならぬと痛感しました。昔の歴史に依つても分る所の大和民族の發展性を増々向上させねばならぬと感じました。今は實に海外發展の好時期であります。片方に滿洲の建設あれば、實に片方には北中南支の經濟建設の任務があるのであります。

三
次ぎは工場労働者の午後五時以後の休業であります。彼等は午後五時以後の休業と、日曜日の完全休業に依つて、増々彼等の體位はこの休業間の諸訓練に依つて向上させら

れます。然し現在日本の工業は、實に三百の需要に對し、
一百の供給より出來ないといつた様な現状にあり、實に勞
働時間の延長はやむなきに至つてゐるのであります。これ
を打破する策としては、實に製産機械のよりよき發明にあ
るのであります。しかし現在日本の發明は實に残念ながら
獨逸には及ばない點が多々あります。我々はもつ
と不屈の精神を養ひ、兎もかくやつて見るといふ意志を養
成したいと考へました。我々はリューゲン島に於て、全長
二里に餘る建設中の労働者休養場を見たのであります。が、
その設計者の方々は出來るかどうかわからぬが兎もかく
やつて見るんだと言つて居られました。實にこの氣持こそ
重大であると心に感ぜられたのであります。終りにもう一
つ我が國の有難さを記したいと考へます。それは實に生ま
れながらにして自然に我々の心に宿る國體に對する信念で
あります。彼等獨逸人はヒットラー總統に對する忠誠を色
々な教育に依つて養成されてゐます。然し我々にはその必
要はありません。我々の信念の堅き事は實に多くの事に依
つてすでに證明されてゐます。

青少年指導上参考となるべき點

- 一、青少年團運動の單一なる事。
 - 二、青少年團それ自身がヒットラー總統に直屬し、國家よ
り大なる經濟的援助を受けるも、あく迄社會團體として
多くの奉仕的人格ある指導者を採用し、いたづらに月給
の爲めに詭ふ指導者を除却し、指導者の人格それ自身に
よる青少年教育に重點を置いてゐる點。
 - 三、國家の經濟的援助に依つて青少年の爲めの大なる設備
を持つ事、即ち青年塾、青年宿泊所にしてもその建築物自
身より大なる教育的効果を上げる様に建設されて居り、
そして青少年教育に際し良き環境をあたへて居る點。
 - 四、制服の統一
これは青少年團體の單一化と青少年運動の認識を深かめ
る事に依つて、各自ある一定の服裝を購入する様にする
事が出来る。
- 獨逸に於てはHJに入らざる事は國家に對して結局不忠

であるといふ所迄HJが認識されて居る結果結局、自分
の子供をHJに参加せしめ制服を父兄が購入して與へる
様になつて居るのである。

五、HJ即ち青少年運動に参加する事に依つて鐵道運賃割
引となり、青年宿泊所料が割引となり、又運動場使用の
上に又各職業就職の上に大なる便を與へる事に依つて、
各青少年は率先して青少年社會運動に参加するといふ様
に、この様に少し正しく考へれば不正の様に考へられる
ことも、この事に依つて青少年を社會團體に入れて訓練
するといふ點は學ぶに足るものである。

六、獨乙に於ては體位の向上を重視し、體格弱少な秀才よ
り體格剛健な普通人の方を良しとして彼等は實に體位向
上に見ざましい活動をなしてゐる。即ち體育章を普及し
青少年の名譽心と愛國心に訴へて全青少年に體位向上を
勸めてゐる。

即ち獨逸に於てはHJの體育章があり三階級で即ち
鐵、銅、銀とする。國家の體育章は三階級で鐵、銅、銀とな
し、このバッヂを普及すると共にバッヂ尊重の習慣を養

成し、バッヂを胸間につける事に依つて其の青少年は國
家の一つの忠をなしたのであるといふ認識を與へて居る。

七、HJの體育競技會には獨乙全青少年の贊助を要求し、
體育が選手のみによつて發展するのを排撃し、一般的體
位の向上に重點を置いてゐるのである。

八、世界觀的教育に依り國際情勢の眞に非常時なるを認識
せしめ、全體主義への一方法としてゐる點。單に非常時
であるから物資を節約しろといふのでなく、國際情勢は
この様であるから節約しろ、といふ時に初めて節約に對
する眞の考へが青少年の頭に根ざすのである。現に日本
に於ては非常時の言語は數十萬數百萬も使用されたにか
かはらず街頭に於ける青少年の態度たるや非常時を理解
せる青少年の態度とは言ひ難い。

九、體育講習會の普及實施

日本に於ては小學校教員とか言つた様な特殊人物に對す
る講習會は國家として大いに開催してゐる様であるが、
社會團體指導者に對する體育講習會は唯各社會團體本部
に依頼せず、國家として一般人の参加をもとめて體育講

習會を開催する必要がある。

一〇、獨乙に於てはヒットラー總統自から青少年に叫んでゐる。しかして青少年の態度の如何が如何に國家に重用であるかを説き覺醒をうながしてゐる。

青少年には大いに英雄崇拜心があるのである。故に青少年は英雄に呼びかけられる時大なる感銘をうけるのである。よろしく日本でも人格者を動員し、團服をつけて各地方の隅々の青少年に國家の非常時を叫んでいただきたい。燕尾服を着て椅子に腰かけて居らず、團服をつけて

内外ともに非常時の態度を示して、青少年によびかける事が必要である。

一一、青少年指導者の海外旅行

獨逸HJは上級の指導者になる爲めには必ず外國一國を旅行する事が條件となつてゐる。

海外旅行する事に依つて日本の世界的地位、日本の眞の實力。國際情勢、日本の有難さを知る事が出来る。かかる經驗は青少年指導者に取つて絶體的に必要である。海外は上海でも北支でも差しつかへないと思ふ。



七 ドイツの理想と青年運動

群馬縣 栗原周作

精神を以て接し、彼は何時も之等の人々を引き着けて置く力を持つて居ります。

一 ドイツの理想

私が見ました獨逸は正しく立派に立上つて世界の一等國の地位に昇らんとして居ります。ヒットラー總統の地位を神の地位に達せしめる事により一民族、一フューラー、一國家を目標にして着々其の理想貫徹に向つて邁進致して居ります。

獨逸はヒットラー總統を最高の指導者にして彼の天才的な部下の運用手腕に依り最も良い支援者を得て居ります。ヒットラー總統は一少年に對しても一親衛隊に對しても彼の次の指導者に對するのと少しも變り無く、胸中に同志的

市井に賣る寫眞に良くヒットラー總統が子供の手を握つて居るのや少女の花束を受けて居るのが見られるのであります。其處にドイツ國民の最高の指導者ヒットラー總統に對するなつかしきは忠誠心となつて現はれ、ニュールンベルグの大會等にはヒットラー總統の演説に熱狂し其の姿を見て涙を流して有難がる光景を見せられたのであります。

かうしてヒットラー總統は一つの遠大なる目標を決め此の目標に向つて國民を引張つて行く所に我々はヒットラー總統の偉大さを痛感致す次第であります。

現在のドイツに於きましてはゲルマン人のドイツ國を理想としてユダヤ人を排斥し、國外居住のドイツ人のドイツ

併合を完成せしむる事により大ドイツ建設を叫び、ドイツ人全部が同志として御互に助け合つて國の發展を策する事に懸命であります。之が青少年教育に於て最も力を入れられる點であります、人類は常に集團して社會を作り相互に助け合つて暮して居るものである。現在のドイツの青少年教育に於きましては此の點を利用し其の年齢層の指導者を養成し青少年の教育は青少年の手で何時も正しい方面へ導いて行くのであります。而かも此の組織の點に於てはドイツ人は天才を持つて居るが如く實に良く出来て居ります。一口にヒットラー・ユーゲントと申しましても其の中には男女の少年部と青年部の全體の總稱の外に狹義のヒットラー・ユーゲント即ちヒットラー青年があります。之等全部の團隊の組織は十人を最下單位とし次が四十人、次が百六十人と言ふ風に段々に四倍されて居りまして最後に全國を三十二のゲビーツに分ち青年指導廳に直屬して其の上に直接總統を戴いて居るのであります。之等青少年の教育に當りましては體育を第一として世界觀的教育が之に次ぐのであります。

ヒットラー總統自身も指導者原理の中に、指導者は心身共に健全なるべき事を入れて居りますが、健全にして其の體力氣力共に他に秀でたものであれば多少の智的方面が缺けて居つても指導者の任は完う出来ると明言して居ります。國家をより以上發達せしめる爲には強健なる精神を必要とし而も此の精神は強健なる身體に宿ると昔から良く言はれる事でありませう。國防の最大の要素は兵役に服し得る男子が最も強健なる體格の保持者でなければならぬ事でありませう。今回の事變に於きまして我が國はつくづく感じて居る所でありませうが、ヴェルサイユ條約の結果軍備を制限された獨逸が其の不足をこの方面に求めたのは又不思議では無いと信するものであります。獨逸に於きましては一般の團體はもとより青少年に到るまで世界の現状と之に對する獨逸の現在の地位を深く認識して居ります。最も感じ易い最も正義派であり迫力のある青少年を國策の線に乗せて活動せしめる所に現在獨逸の若々しさと發展性があるものと思ひます。

二 我が青少年團の反省

一、全國統一せる青少年團體となす事

誰しもが特筆大書する所と思ふ。日本の現状の如く青年團、青年學校、少年團聯盟、少年團協會、學生生徒等種々雑多にして、従つて一貫した指導精神を持たない以上、單に組織の點を參考にするにせよ、幸にして立派な組織を持つた獨逸のお手本があるのですから第一番に採用すべきでは無いかと思ふ。

二、諸設備の完備

我々の三ヶ月間の獨逸滞在に於て誰しもが驚いたのは先づ青少年運動に必要な諸設備が完備して居る事であらう。運動の方面は特に盛で我が國の神宮外苑位の運動場は如何なる町にもある。日本の爲政者及び社會一般の人に青少年教育に對する理解を一層深めて貰つて此の種の各方面の設備の完成を望みます。

1 體育の發達

一個の優秀なる者を引出すのでは無く、全部の者を同じ様な程度に引上げて行く。之が其の國の將來に取つて非常に重要な事である。

我が日本の昔の鎧は今の者には大きくてとても着られないのに反して、西洋の甲冑は小さくて着る事が出来ない。之によつて見るに日本人は段々と小さな體格になつて行くに反して、西洋人は段々と大きな體格になる傾向で今日に至つたことも考へられる事で、若し其が事實だとすれば、將來の大和民族の體位向上に對して大いに邁進すべきであると思ふ。

2 指導者陣の構築

若しも日本の青少年運動が現在の状態であつても、又我々の理想通りに行つても、必ず到來する事は良い指導者を得る事の困難さである。之が對策として指導者學校を建てる事でありませう。

差當り各府縣に短期講習所を設置される事を望む。

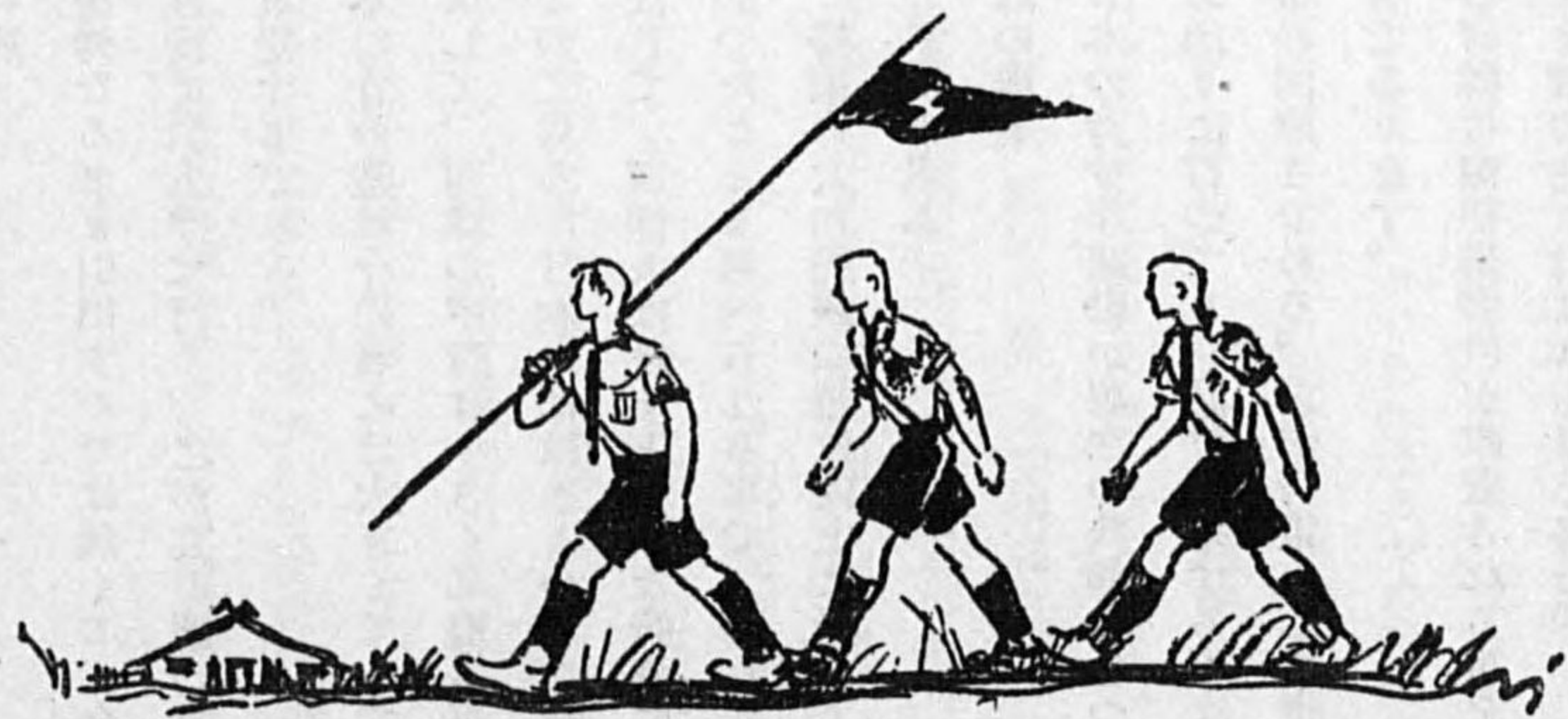
3 農村開發を政治的に行はれん事を望む。



日本は昔より農を本とせる國であると言はれて居りますが、西洋の農村を見ると日本農村の餘りにも顧られて居ない事をつくづく感じました。私は農村青年として將來此の運動に従事する上に於て、我々農村は自力更生も必要であるが外部的にも相當な援助が無ければ思ふ様な更生は出來ないと思ふのであります。

4. 工場青少年教育施設の向上

私の側に中島飛行機製作所がある。工場内には青年學校もあるけれども職工として採用される青年が餘りにも多く、之が各町村に及ぼす影響も又大なるものがあるのであるが之をドイツに於ける職工養成所か青少年保護法の如き方法により善處されたらばと思ふのであります。



八 歸國に際して

岐阜縣 篠崎 秀夫

にも重且つ大にしてその責務のたゞならざることを痛感するものであります。

大戦の結果、完膚なきまでに無残に打ちひしがれたドイツが、ヒットラー總統の政權獲得以來、近々十年を出でずして今日の如き隆盛をなし得たのは誠に驚異といふより外ありませんが、今日あるがためにはヒットラー總統を中心としたドイツ青年たちがいかに大きな役割を演じたかは、今更申すまでもないことであります。脈々として流れるドイツ魂の血に結ばれたヒットラーユーゲントの愈々盛なる發展と共に起ち上れるドイツは再び新なる飛躍へと進みつゝあります。

榮ある日獨青少年交驩の使命を帯びて、五月二十七日神戸を出帆してより半歳、日獨兩國の深甚なる御厚意と御恩澤に依り、茲に無事大任を果して歸國することが出來ました。出發に際して各方面から寄せられました激励の数々また歸國に當つての熱誠こもれる御歓迎、文部大臣閣下始め各御當局より身に餘る御言葉を戴き私の光榮之に過ぎるものはありません。

たまく／＼ヒットラーユーゲントの一行は全國をあまねく巡歴し、國民は親しく之と接觸する機會を得て覺醒されるところ多く、今や青少年運動なるものが國家の一大業務として押し進められて來たことを思ふと、光榮ある代表の任を擔つてドイツに使した私共の今後の進むべき路が、餘り

私共は此の偉大なるヒットラーユーゲントの實際に就いて、三ヶ月間にわたつて見聞を續けて参りましたが、完備

せる系統立つた組織、眞剣味溢れる訓練状況には深く感心されられて参りました。ひるがへつて日本の現状を見るに私共は他山の石とすべき點が多々あるやうに思はれます。然し乍ら我が國とドイツとは國情を異にする如く青少年運動に於ても自ら差異あるものであり、彼には彼の長があり我には私の長を見出すものでありますが、大乘的見地に立つて大いに採長補短の實を擧げて、我が青少年運動を一段と光輝あらしめんと念願する次第です。然し何と云つても言葉の充分に通じない私共が、僅か三月の見學には到底直ちに實を結ばれる筈のものではありません。私共は此の三月の貴重なる體験を基として、今より後大いに熟慮深考以て他日の功を望んで居ります。

此の上とも先輩各位の御鞭撻御叱正を受け、我が青少年運動の愈々健全なる發達に邁進する覺悟であります。

二

ヒットラーユーゲントの組織體系並びにその訓練の實状よりして、我が國青少年運動の現状を見る時、いろ／＼と他山の石とすべき點を多々見出すのであるが、私共は之が

ある。我々は之にしつかりとした基礎を置き、然して我が萬邦無比の國體の尊嚴さと思ひ比べて、ドイツをあらゆる角度から眺めつくして大いに善きをとり悪しきを捨て、明治天皇の御聖慮に添ひ奉り、以て我が國青少年運動を更に新なる進展へと導かねばならぬ。

ヒットラーユーゲントが偉大なる國家運動として大となく小となく全ドイツ國民を揺り動かし得る事が、私共の最も羨ましいと思つた事であるが、その原動力は何と云つてもヒットラーユーゲントの運動が青少年に於ける唯一なる團體であることに基因する。もとより、青少年運動は自治的精神より發せられるべき性質のものであるから、國家の力を以て事をなすのは餘り喜ばしいことではないが、全國土に呼びかけるその核心が唯一つであるといふことは結果に於ては全く同一に歸するものである。ドイツ全土に於ける各地方のヒットラーユーゲントが、都會に於ける山村に於ても、また海邊に於てもその訓練の狀況が總て同一で、一斑を見て全豹を卜す事が出来るのも、ヒットラーユーゲントの組織が全國津々浦々に至るまで行き渡り、その

我が國青少年運動の實際に取り入れんとする前に、何よりも先づ、ドイツの歴史國情を明らかにして我が國體との相異を深く認識 把握せねばならぬ。日本現今の各種教育體系も、三千年の歴史より生み出されたものであり我が國體の上に固く根ざしてゐるのである。旭日昇天の隆々たるヒットラーユーゲントも、過去の歴史より見るときドイツ再興に缺くべからざる一運動として興されたものであることを知る。

日本とドイツ、それは土地が東西に分れ居る如く、國體國情より風俗習慣に至るまで大なる相異のあるものでありしたがつてその採れるところの教育方針、指導方法も我が國とは全くとは言はざるまでも大いに異にするのである。つまり日本人をつくる教育と、ドイツ人をつくる教育とは決して同じやかたではないといふことである。此の點を私共は先づ第一に念頭に置かねばならない。然し乍ら共に歴史を重んじ傳統を尊び崇高なる國家精神に生きるといふ點に於ては我が國と全く相通するものである。此の相通するものこそ教育の根本精神であり、國民道德の總てで

訓練が徹底されてゐるためである。地方色といふものは勿論多分に含まれてゐるが、全國の總ての青少年が軌を同じうして行動を律せられてゐるのはその訓練の効果から云つても、訓練總てが國家の力として啓培されるところとなるのである。

ドイツの子供たちが十才になれば、ユングフォルクに入り、十四才よりヒットラーユーゲント、十八才後にはそのまゝアルバイトデインースト、また軍隊といさゝかの屈折もなく坦々たる大路を進む如くに前途が開かれてゐるのは極めて幸福なことであると思ふ。その所屬する團體の一員たりといふ自覺が即ち國家の一員なりといふ自覺にまで容易に持ち上げられ得るものである。私は全國に劃一された青少年運動の樹立されることこそ、何よりも第一の緊急事ではなからうかと思ふ。

次に體位の向上に關してはつとに我が國に於ても喧傳されてゐる事であるが、ドイツ國民の體育に關心を持つてゐることに比較してはなほ縁遠いものゝ様である。國民が斯くの如く體育に心を用ひることもヒットラーユーゲントに

於ける體育の奨励が大いにあつた力あることで、我々も體育を單に青少年の體育に留めずして之を國民の體育にまで引きあげねばならぬ。なほヒットラーユーゲントの體育の目的が選手を養成するにあらずして、眞に體力の強健を目ざしてゐる事を我々は著目しなければならぬ。ドイツが立派なスポーツの選手を出した事も、國民の總體位の上を持ち來らされた副現象と見てもよいと思ふ。いたづらなる選手の養成は砂上樓を築くの比ひで、ドイツ全國民のあまねき總體位の上に築きあげられた樓閣こそ、眞の姿の選手であると思ふ。ヒットラーユーゲントの指導を見ても體育が世界觀教育と並んでその訓練の總てでもある様に思はれる程、重要視され、指導者の資格三ヶ條の第一條はスポーツの出來る者とされてゐる。指導者學校、國民政治學校、ヒットラーシュニール等の學校に於ては、その體育の徹底さは眞に最後の一人をも捨て置かないといふ意氣込みである。之は普通ヒットラーユーゲントの訓練にも見るところで、各年齢層に應じてその到達すべきレベルを規定し、各人總てがそれに達する様つとめ、また指導してゐるので

ある。
設備に就ては流石體育の國ドイツだけあつて、切りつめた經費の中にも充分な費用をかけられて、各人總て平等な立場に立つて思ふ存分に體操にスポーツにいそしみ得る機會と便宜が常に與へられてゐるのである。然し常に立派な設備と場所を得てのみ運動が試みられるかと云へば、全くその反對で、僅かな土地の然も凹凸のある、到底我々の出來さうもない様な所でも充分にその効果をあげてゐるのである。

設備に關しての心組みはいかにも斯くあつて欲しいと思ふ次第である、我々はヒットラーユーゲントの現状の状況より、尙多くの取り入れるべきものを見出すのであるが、此の組織の統一と體位の向上とは我が青少年の現況より緊急事として取るべきものであると思ふ。此の他の稱々な點に於ては、之等に次いで自づと解決され得ることと思ふ。我々は何よりも先づ一つの大きなところに着目して之を咀嚼し同化して次への段階へと進まねばならない。

九二つの魂

神奈川縣 砂川 恪 三

ドイツを主とした半歳の視察旅行を終へ、久方ぶりに再見た祖國日本は今や文字通り有史以來の國難に直面し、假令百難迫るとも今にして斷乎膺懲の戈を進めずんば、東亞の安定は永久に望み得ないといふ重大時局に進み來つて居るのであります。

今回の視察旅行に於ける收穫は何と云つても神戸出帆以來寄港地を始め歐洲各地の雰圍氣に浸りつゝはるかに祖國日本の姿を顧る事により今迄とは變つた神の國、日本の有難さと、世界無比の國體をもつ國民の幸福さであり、且つ又國を思ふ念を一層強く認識した喜びであります。

彼の地にまいりましてからは歐洲大戰に一敗地に塗れ、疲弊困憊のどん底より起ち上つた、偉大なるゲルマン魂と日本精神、大和魂とがじかに接觸し得た喜びであります。

しかしてそのドイツ精神と日本精神とが實に、似かよつたものを知り得たことであります。どうしても一國家が隆盛に向はんとするには日本精神の如き精神なくんばと云ふ事を強く認識できた喜びであります。

次にドイツに於て實際に體驗し、目にふれた感想の一、二を述べてみませう。ヒットラー總統治下、新興ナチス、ドイツの現状はたゞ一言にしてつきるのであります。即ち「國防國家」の一言であります。政府も、國民も、ありとあらゆるものが國防の確保こそ國家生成發展の大本なりとの認識の下にあらゆる國防要素を戰勝目的達成のために再編成することにめざましい努力をつゞけて居ることであり、また。そうした事實は次の事により充分認識できると思ひます。

敗戦以來ドイツ民族束縛の悩みたりし、ヴェルサイユ條約の鐵鎖を矢繼ぎ早に次々と切斷し軍事制限條項の廢棄、再軍備の宣言、義務兵役制の實施、對英三割五分の建艦着手、ラインランド非武装地帯の進駐等がそれでありました。而してかうした目覺しい國威發揚の半面、國民生活は決して安樂ではないとの話であります。租税は重く物價は高く、そのうへ生活上最も必要な食糧も未だ必ずしも充分ではないとの事、然しかうしたことに忍んでドイツ民族は祖國發展途上の止むを得ない受難なりとして祖國愛のため甘受し、國民が心を合せまつたく一目標に向つて進んで居る。そのために國民生活は却つて希望が湧いて居り、重税、物質缺乏の困苦にも斷然打克つて潑刺として居るには全く感心、敬服の外はありません。

以上の如く彼等ドイツ國民は、國家の爲め、民族のためと云ふ事を常に考へ、それを實行にうつして居るのであります。又彼の國に於てはその實際にうつす迄の過程組織が實にうまいのにも驚きました。

彼のヒットラー・ユーゲントの組織と云ひ、アルバイトデ

イーンスト、アルバイトフロントのいづれにしてもその組織は實に立派なものであります。ヒットラー・ユーゲントはその組織がよければかりでなく内容に於ても又見るべきものが實に多いと思ひました。彼等を見て先づ目につくのは生つ白い弱々しい者、眼鏡をかけたものが見あたらずなことであります。まつたく彼等の居るところ若々しさが満ちあふれ日焼した元氣な顔、そしてかぎりなき希望に満ちあふれたあの顔でハイル／＼と叫ぶ姿は一點のゆるぎもない信と、愛國に燃へたぎつて居ります。かうした空氣が全國に漲つて居るのを見たとき實にうらやましきかぎりでありました。

又BDMに入つてゐる娘達は言ふに及ばず婦人達でも少しの粉飾もなく、服裝などにしても、主に人絹か木綿であるが、それをこざつぱりと身にまとひ、颯爽と歩く姿は實に清潔な感じをいだかしめるものであります。

次にヒットラー・ユーゲントの方から離れて我々の旅行中最も關係の深かつた道路であります。ライヒスアウトバーンや大都市から大都市へ續く蜿蜒たる大道路の壯觀は言ふ

に及ばず如何なる田舎に行つても舗裝してない道路が見あたらぬのであります。かうした道路は事變の時は言ふに及ばず平時に於ては産業交通方面に實に役立つものであることが充分うかがはれます。

最後にドイツ青少年は言ふに及ばず國民一般が日本人にもたらす深い友情と親切には實に感じ入りました。



又青少年が日本といふものをよりよく認識しやうと努めて居ることあります。かうした方面何等かの方法に於て彼等に日本と云ふものを眞に理解させる事が兩國の親密をいやが上にも増すものであらう、と私は考へるのであります。

一〇 世界観教育

静岡県 瀧戸 直正

今やドイツに關する研究熱も高まり、ドイツに關する書籍は巷間に充ち溢れてゐる。ドイツの歴史、ナチス政治形態、ヒットラー・ユーゲントの組織、運動等はそれ等の本に詳細に正確に著述されてゐるから、それ等に委せるとして私はこの度の訪獨旅行に於て感じた事、特に強く印象に残つた事を述べたいと思ひます。

八十五日間ドイツ國內を旅行して先づ感じた事はドイツ青少年が非常に元氣であるといふことである。堂々たる體軀、朗かな顔付、潑刺たるしかも一糸亂れざる步調、盛んなるスポーツ等、彼等の身體にはドイツ興隆の血潮がたぎつてゐるのだといふ感を深くします。

彼の世界大戦の後、ドイツは困窮のどん底に打ち落され思想風紀も亂れ、再興は不可能であらうと世界の一様に目

する所であつた。この時に當り國民社會主義労働黨を引きつれ立つたのがアドルフ・ヒットラーなのだ。「青少年を手に入れる者はドイツの將來を手に入れる者である」と云はれ青少年獲得抗争が盛んに行はれた。そしてヒットラーが政權を握るに及び全國ヒットラー・ユーゲント一色に染められ、青少年は満十歳になると本人の自由意志に依りヒットラー・ユーゲントに入る。男子は十八歳迄、各種の訓練を受けた後、S.A.、S.S.その他の黨の組織に編入される。あの輕快なユニフォームに身を固め、隊伍堂々行進する聲はすでに歐洲を呑むの氣迫がこもつてゐる。

この活氣は實にH.J.に於ける指導者のもたらす所である。「青少年はそれ自身國家をなす」又「青少年は青少年の手で指導されねばならぬ」と、ヒットラー總統は彼の「マイ

ン・カムプ」に述べてゐる如く、指導者教育に非常に努力してゐる。優秀なる指導者を得る爲の學校、塾、講習が常に行はれ、現在、指導者、特にヒットラー・ユーゲントに於ける指導者には若い、しかも實直なる人格者、人材が豊富である。わづか十六、七歳にして五百人、千人の少年の指導者は珍しくない。この活氣溢れる指導者の指導のもとに、ヒットラー・ユーゲントに入つた十歳以上の青少年は教育される。その教育に於て之は面白いと思つた事は世界観教育である。

東プロシアの海水浴場であるクラントツといふ町に泊つた時である。私は新聞を買ひたいと思ひホテルを出ましたが既に夕闇もせまり、又土地不案内でもある爲、さてどうしたものかと迷つて居た。すると丁度十二歳位の男の子と十歳位の女の子が私の前を通り掛つたので呼び止めて、

「私は新聞を買ひたいだが何處に賣つてゐるだらうかと、おぼつかないドイツ語で尋ねると、

「僕と一緒に参りませう」

とその少年は私を停車場迄案内して呉れ、その賣店で

私は目的を果すことが出來た。その二人の子供とはすつかり仲良しになり、私はホテルの室内に入れて、サインしてやつたり、日本から持つて行つた扇子や、繪葉書を與へたり、又富士山の寫眞をやると「オ、フジャマ！」といつて喜んだ。色々話してゐる中に、日支事變に話が移つて行き男の子が、

「何故日本は支那と戦ふのか」

と私に尋ねた、わづか十二歳の子供に何も分るまいと思つたので

「お前は知つてゐるか」

と反對に逆襲してやると、その子は臆する所もなく、

「日本は世界の敵である共產主義を支那大陸から驅逐する爲に戦つてゐるんだらう。」

と答へた。之には私も一本參つた形で、

「さうだ、その通りだ。日獨兩國は共同の敵、共產主義を撲滅する爲に固く手を握らねばならぬ」

と私が云ふと、二人の子供は可愛い頬を紅潮させて、打倒共產主義を口にしながら拳で机をたたくのでした。

わづか十二歳の子供に於てすら既にこれ程の認識を持つてゐるのである。即ち之が世界観教育で、ヒットラーユーゲントの子供は十歳ならば十歳、十二歳ならば十二歳、十七歳ならば十七歳、各年齢の層に適應した、理解し易い、且つ簡單明瞭、國內何處へ行つても全く同一であるといふ徹底した教育法で、之に依り子供と雖も、その年齢に應じた理解を政治問題、國境問題に於て有してゐる。

ドイツのヒットラーユーゲントの訓練は一週間に二日あり、世界観教育と體育が行はれる。一日はハイムアーベント、即ち塾の夕で、その町又は村に建てられた塾に集り、少年達は男子の、少女達は女子の指導者に依り、國民社會主義の世界観教育を中心として、お話、歌、遊戲等に依り所謂詰込み主義でなく楽しく愉快に覺える様な教育を施してゐ、他の一日はスポーツに當てられてゐる。

ドイツ青年の體格の優秀なることは、この間まで内地各所を歴訪してゐた訪日ヒットラーユーゲントを見てもうなすける事と思ふが、數萬集合したヒットラーユーゲントの大會に於て眼鏡を掛けてゐる者を指摘するのは困難な仕事

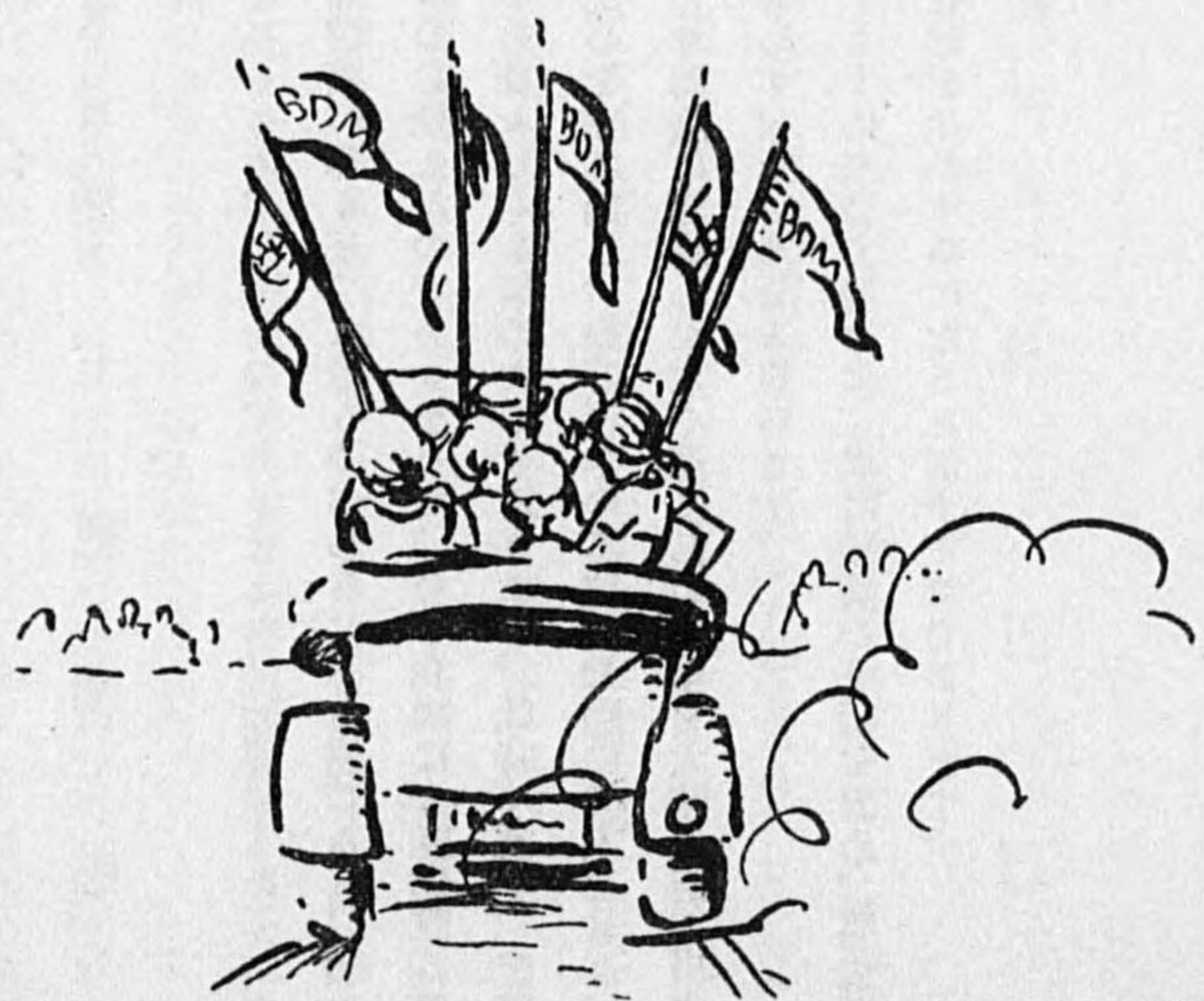
くハイキングを行ひます。百人、二百人と隊を組み、若い指導者を先頭に歩武堂々實によく足を揃へて歩きます。そして國內二千以上もある完備した宿泊所にごく輕微な経費で泊り、徒歩旅行を行ふ。それ等の宿泊所は古城の跡、歴史的に重要な場所、又は國境方面などに建てられ、ヒットラーユーゲントの體育のみでなく世界観教育にも利用してゐる。

である。女子の體格も同様素晴らしいものでスポーツも男子に負けない程盛んであり、同じ様な體操を持つてゐる。そして口紅も白粉もつけない日焼した肌、健康にあふれたドイツの少女は美しいものです。

ドイツは緯度が北である爲太陽光線に乏しく、紫外線が不足して佝僂病になる心配がある爲、なるたけ多く光線に當てやうとし、少年は野營、スポーツ等の訓練に於て殆どパンツ一つで行ひ、少女も同様、袖の短いユニフォーム、又は運動シャツ、運動パンツで日光の中を飛びまはり、鼻の頭が日焼でくるくると皮がむけて落ちるのも意に介せず、友達と互に自分の肌の日焼の黒さを競ひます。

女子は男子と同様盛んに運動する一方情操教育も大いに施され、十七歳から二十一歳迄の少女隊は特に「信仰と美」といふ標語のもとに、將來よき妻となり、よき母となる爲の教育を受け、健康美と共に心の美を兼ね備ふる様に努力する。そして手藝、機織、田畑の耕作等を行ひ、労働の汗と力の有難さをも體驗します。

又ドイツ人は旅行が好きで、ヒットラーユーゲントもよ



一 祖國の使命

東京府 土肥善雄

此度獨逸國に派遣せられました私は、眞に祖國の偉大さを知る事が出来たのであります。只今、獨逸では亞細亞洲の半島の様なヨーロッパの一角に位し、自國民族團結の爲大獨逸建設を唱へ、準戰時體制の下に闘つて居るのであります。即ち、他民族を退ける、殊に、猶太人に至つては其の甚しきものであります。顧て遠く我國を見ます時、位地は亞細亞大陸の東端に面して、五族共和大亞細亞建設の爲勇戦して居るのであります。

歸途我々は、コロンボ、シガポール、香港にそれ／＼多數の支那民族を見、次いで臺灣に渡り、本島人（廣東民族）

を見ることが出来たのであります。此處にもありがたい御稜威が輝き互つて居るのがしみじみと感じられ、頭の下るのを覺えたのであります。今や我國は大陸建設の第一歩を雄々しくも進めたのであります。此時に當り、銃後の民心を呼び起し、勤勞青年の體位、知識の向上を計り、正しき認識に立脚した太く逞ましい青年を大陸に送り出す様専心すべきであると思ひます。

こゝに至つて始めて、眞に護國の英靈を慰め、諸先輩の壯業を生かす事になると信する者であります。

(48)

二 獨逸の印象

熊本縣 林正巳

友邦獨逸國內で受けた印象は非常に多かつたので第一印象と後は大略の極く一般的なるものを述べることにします。

七月二日バリーより壞れかけた不潔な汽車に乗り午後二時獨逸入國第一のアーヘン市に着くに先ち、非常に濶濶な調子のよい行進曲が聞えて来る。車窓より顔を出せばカーキ色の連続としか思へぬ位多くのHJがブラット・フォームに出迎へてくれた。フランス國內で誰からも顧みられなかつた派遣團の今迄の淋しさは何處へやら吹き飛ばされてしまつて丁度日本にでも歸つた様な非常に氣持のよい心強い感じであつた。美しいユニフォームを着た子供達、而も解り切つては居るものゝ白人であると云ふことに一種の不思議を覺え數百の子供が一つの號令で電氣にでも掛けられた機械の様に動き人か機械か分らない様な規律の正しさで

あつた。一度唱ひ出すや今迄の機械は一變して大合唱隊となり全く我々は其の聲にうつとりと魅せられてしまつた。

子供は大したことはないが幹部級になると其の體軀は堂々たるもので到底我々の及ぶものでない。其の堂々たる大男が直立不動の姿勢でナチス式の敬禮をなす時、東洋より遠く離れたヨーロッパに此の様に好意を持つてゐる國があると云ふことを今更の様に感じ、東洋に日本在り西洋にドイツ在り、彼等の眼の奥には大戦後の苦闘より躍り上つた鐵の如き意志の力が潜んで居る様に思はれた。

非常に廣範圍にドイツ國內を巡つた爲其の間に於ける出來事は多く枚擧に遑ないから極く大略全ドイツ國內の印象を述べることにします。

ナチス下に總てがよく統制されてゐる。我々が七月二日

(49)

入獨して以來九月二十五日獨逸を出る迄我々は一時たりとも彼のハーケンクロイツの旗を見ない時はなかつた。勿論外面的な問題であるが雨の日も風の日も街路にはハーケンクロイツ一色で塗り潰された様な町を、往復するHJ、ナチス黨員等が腕章をつけてゐる。町々はカーキ色の制服の氾濫で特にベルリン以外の田舎で制服の多いのに気がつく。而し彼等は制服を着ることにより決して制壓されてゐる様には感ぜず、自ら進んで組織化され統制されて來たのであるから喜んで之に服し組織の一員であることに非常な誇りを持つてゐると考へた。

歐洲大戰に於て一度に低下した體力を挽回すべく獨逸は今體育に非常に力を注いでゐる。HJの目的の一つも體育であつて、食料より來る體位の低下を防ぎ一層強力なる體の所有者となるべく日本以上に猛烈に運動をやつてゐる。特に女子に於てそれは著しく、我國女子體育とは全く雲泥の差がある。國內大旅行に於て多くのユーゲント・ハイムを見學することが出來たが未完成のものは例外として少くともユーゲントが集つてゐる以上運動場には何れかのグル

が非常時の女子の體位向上の爲全體が斯の氣分になることは必要であらう。兎に角我々が外國人の間に交つて一番情けなく感ずるのは體格の貧弱なことであつた。

獨逸は今若さに充ち満ちて居る。獨逸全土は縁の森と草で蔽はれ一番季節の良い時我々は訪れた爲か、將又我々の接する人々は元氣潑刺たる青年に限られて居た故か、氣分は明朗であつた。此の明朗さは白人の通性であるがドイツのそれはアメリカのヤンキー式でもなければ他のヨーロッパ諸國の明朗とも異なるものがある。ゲルマン民族は昔から戰鬥を好んだ爲か剛健味のある明朗である。

HJの指導統監バルドアー・フォン・シーラツハも本年三十一歳の若さである如く、その指導者は何れも年若く十臺の指導者が大部分で若き青年の意氣のみで彼等は青少年の指導にあたり其處には學識經驗の充分でないと思はれる青年の手に委ねられ乍ら而もそれが非常に順調に運ばれてゐる。強ちヒットラー・ユーゲントに限つたことではなく獨逸全體が若い指導者によつて指導されてゐると云ふことは活氣のある大きな原因である。此の様な若々しい環境の爲か

プがあつて、女子の如きは恥しげもなく半裸體にて運動に熱中してゐるのを認めることが出來た。如何なる小さな都市にも大きなスタヂアムが建つて居り、よくも建設費が出ると思はれる位である。日本の運動は記録の爲の運動で決して全體の爲の運動ではない様にさへ思はれた。オリムピック・スタヂアムの巨大なのに我々は驚かされたのであるが、日本と同様持たざる國である獨逸が幾ら外國に見せる爲のものとは雖よくも斯の如き大工事が出來たと思はれる位である。而も總統の言に依ると單にオリムピックの爲のスタヂアムではなく寧ろ獨逸國民のスタヂアムをオリムピック大會に使用したと云ふことである。此の一事のみでも如何に體位向上を圖つてゐるかを物語るものがある。

我々が婦人體力の旺盛なのに驚かされたのは單に運動場に於ける運動のみならず、平時田舎に於て、驛頭に於てよく見受けるのであるがBDMの輕快な服装に恐らく三、四貫あらうと思はれる位の背囊を背負つて歌を唱ひ乍ら隊伍を組んで行進し、又は自轉車にて驅け巡つてゐるの見受けることが出来る。日本に於ては勿論直接眞似は出來ない

老人迄も若くなつてしまつてワイマールで分列行進を見たが白髪の大戦の勇士等が若者と伍して得意滿面に敬禮して通る等日本では一寸見られないことであらう。

青少年團所感

日獨青少年團交驩の大きな目的の一つとして日獨兩國の青年よりの理解とか、防共協定により親交の間柄となりそれに一層の深味を加へるとかの日獨兩國の國交上の役割を演ずるのも勿論重要なことではあるが、我々派遣團員は青少年團の指導の任に當つてゐる關係上又當局者としても同じ様な考であることを派遣團員になつてから悟つた事は、其の他の意味に於て即ち單なる日獨親善のみならず今後の青少年教育を如何するかと云ふ大きな問題の解決の糸口を發見すると云ふ意味に於て大いに意義のあつたものだらふと思ふのであります。

今迄の青少年團と比べて今後如何するか、と云ふことは我々より先に先覺者の叫んだことでもあります。此の目的の爲に全國にわたる二五人の派遣團員が選ばれたものだらう

と思ふのであります。故に團員であつた我々は「自分の使命は交讎終了の故に終了するに非ず」と云ふ固き決心を持つてゐるのであります。HJ出生の時代の苦しみを偲び、今後一生に負ふ自分の使命は水火をいとはず遂行せんと青年の意氣の燃えてゐることは團長殿を始め幹部の方々も船での懇談會の席等で審に承知して居らるゝ通りであります。獨逸に於てHJの現状を見る時、又HJの「血と名譽」によりて飾られた歴史を見る時我々の肉は躍り血は沸き上るのであります。鬭争の後の彼等の勝利を見て非常な力強さを感じた次第であります。

獨逸國に三ヶ月滞在してゐる中私は無数の青年男女と手を握り、其の中に感じたことは實に數多く深く私の頭に印象づけられてしまひ、今後働く土臺に成つたことを確信するものであります。之等のことを一つ一つ擧ぐれば限りないと思ひますから総合的に私の希望と云ひますか抱負と云ひますかを述べて見たいと思ひます。

一 統制された大きな青少年團にまとめること
ヒットラー・ユーゲントの現在の活躍状態を見て我々が

成績を上げる爲、他の少年より數等上位の生徒となる様に中學校、上級學校にどんどん入學出學する様に自分自身もやつて來又子供達を指導して來たのであります。

然し眼を獨逸に轉じて見ますれば小學校、中學校の成績等は問題外になつてゐると思ひました。それよりもつと大きな、少年をして國家の中堅たらしめ國家意識にはつきりと目ざめて自己のものは總て捨て活躍してゐることを認め得たのであります。

現在、將來の日本を靜に考へて見ますと、本當に我々は小さな心で島國根情で左右されてゐるべき時では無いと思ひます。

よろしく、獨逸少年に勝つた日本少年の進む可き所をはつきりと示し、現在の如き行きづまりの状態を打開して少年をして自分の中堅であるぞと云ふはつきりした自覺を持たせることが必要であると思ひます。それには個々分立して互に自己の美點のみを高揚してゐる分立の状態より脱してHJの如く大きな統制された組織が第一に必要であると思ふのであります。

感じたことは、何故に彼等は元氣潑洩と、よく團體訓練の行届いた教育が出来てゐるのであらうか、と云ふことです。之に引き較べて、日本の少年團・青年團はどうしても元氣が無い。地方的の色々な行事等はHJに勝るとも劣らぬ位やつてゐるが、どうしても教育の徹底と云ふ點に於て負けてゐる。又少年一人を引き出して日獨を較べて見る時は日本の少年は何ら劣る所はない。所が集團となると其の行動の様は何うしても羨しく感ずるものがありました。一人一人としては何ら劣る所のない日本の少年が、獨逸の少年の如く國家の一大勢力として原動力として活躍出来ないのは、指導者は勿論一般の社會人が悪いのではなからうかと思ふのであります。社會人が社會教育、小さくは青少年教育に就て理解無いのみならず、寧ろ無用の機關として之を排斥せんとしてゐる人も私は數回過去に於て知つて居ります。子供は唯中學校の試験にパスして、更に上級學校の入試にパスして社會的地位を得さへすれば良いといふ全く知的教育に偏した人々を多く知つて居ります。之等の人々に對して反省を求めると、我々は萬難を排して少年團員の

組織化した規律のある統一體が出来て、それに人格的に知的にあらゆる方面より見て申し分の無い指導者が立つたなら、少年自身は本當に覺醒して自分達の力の偉大なるに驚ろいて、世界進出の日本の青年として何れもが申し分の無い働が出来るであらうと思ふのであります。少年達は或物を望んで居ります、ユニフォームを着て町を行進して少年の偉大さを示したいでせう。又、山野を輕快な音楽に合わせて踏破したいでせう。之等押へつけるに押へられないエネルギーを今の大部分の子供は他の不健全なる方に使つてゐるのであります。従つて不健全な青年になり不健全な大人となるのであります。此の不健全な人が滿支に出る時は恐ろしい結果を招致することは明瞭であります。今の中に覺醒して國家を背景に持つ大きな組織體となるなら、我々が獨逸の各地で見た様に如何なる小さな子供でも世界の動靜をはつきり知つてゐる様に徹底した教育も出来るし、獨逸の青少年が將來恐るべきものである如く、それ以上に日本の青少年も將來恐る可き國民になることは確であります。

獨逸は一敗地に塗れて混亂の中より立ち上つて立派なHJなるものが出来たのであります。然し日本は其處迄行つて居りません。未だ血を見てゐないのであります。故に本當に統一化には困難なものがあると思ひますが、之を乗切るのが我々青年の意氣であり使命であると思ひます。

獨の青少年團教育を見て参考となつたことを二つ三つあげて見たいと思ひます。

(A) 教育の徹底すること

徹底的なる教育、小さくは世界觀的教育の行届いてゐることは羨望に値するものがありました。理窟とか理論によつてではなくて小さい中に、極く軟かい中より大きく國家と云ふ觀念の中に生活してゐることでありました。故に幼少の中から寧ろ常識と見てよい位世界の動靜をよく理解してゐて、又北部に行かうと南部に行かうと同じく教育がよく徹底してゐるのであります。日本は島國で北と南に長い國でありますから此の様に望むことは無理ですが、兎に角ドイツでは國中が其の日には、同じ教題の下に、同じユニフォームを着た、七〇〇萬の子供が一齊

に學んでゐるのを見て非常に力強い感じがします。一日經てば七〇〇萬人の子供の頭が一段向上する。即ち獨逸が一段昇ることになる譯であります。此の子供達が大人に成る時は如何ばかりぞと驚くでせう。之より見ても如何しても統制された大きな組織が必要であります。

(B) 職業的差別の無いこと

現在日本に於ては職業に貴賤の差無しとは云はれてゐるものゝやはり武家政治時代の遺風ですか何ですか、如何しても職業には上下無しと斷言出来ないと思ひます。ヒットラー總統は前身が労働黨より出た爲か、又國家社會主義の行き方として「土と汗」を重んずる爲か、獨逸滯在中貧富の差は勿論、職業的の貴賤の差は殆んど見なかつたのであります。又、アルバイトデイーンストにしても、HJにしても極端に之を排してゐると云ふことです。學生であらうと貴人の子弟であらうと、學者の子であらうと労働者の子であらうと、皆同様に黒パンをかちつて働いて居る所を見て非常に頼もしく感じたのであります。日本では個々分立の状態にあります爲少年團は都

市に、青年團は都市も盛んですがどちらかと云へば農村の方に偏りがちであります。

小さく云へば家庭の状態等も原因して財政的に青少年團にとつては大きな問題が生れて來るのであります。勢ひ少年團はインテリ本位になつてしまふ。とか、色々なことが家庭の状態、職業等とより四分五裂の状態にあると思ひます。此の點より考へて見ても大きな力強い組織、其處には貴賤の差は勿論職業の差も何もない、本當に日本の青少年が打ち解け合つて進んで行くことが出来るものが必要であると思ひます。

(C) 制服に就いて

制服、之は青少年達の憧れの的であらうと思ひます。現に私ですら團服には非常な憧れを持つてゐるのであります。制服はその人の個性を殺してしまふものと云ふ説もありますが決してそんなものではなく、制服によりて名譽を覚え外觀の整つたことにより精神に及ぼす其の影響は大きなものがあるでせう。軍人が名譽ある貴いお上よりいただいた服を着て不名譽な行爲のできない如

く(できる人は軍人でない)、立派な(決して金額の多いのではありません)制服を着せて自分は名譽ある團員であると自覺させたなら、決してつまらない遊びはしなく、子供達は健全なる方向に向ふのは確であります。子供の心をよくとらへて若い者は花やかなことを、變化のあることを望むものですその心をよく捕へて、先づ制服より外觀より青少年の心に迄及ぼして行くことは大切なことであらうと思ひます。

日本は(A)項にも述べた如くに北と南は地理的に距離の大なるものがあります。故に獨逸の如く總ての衣服の地迄統一することは考へ物ですが、型は勿論統一する必要があります。團長殿は派遣團の新ユニフォームを其の参考にすると云つて居りましたが、青年に大人の如き服を着せたら心も縮んでしまいます。青年には許す限り花やかな明朗な服が必要であらうと思ひます。經濟的な問題になります、之も大きな組織體と成れば漸次解消する問題だらうと思ひます。

以上(A)(B)(C)の三項しかあげてありませんが、其

の他あらゆる方角から見て統一體とすることは急務であらうと思ひます。

二 指導精神を確立す可きこと

獨逸HJの訓練を見て居つても、又個人々々の性質を見ても、私は共通なる點を見ることが出来ました。どんな子供でも明朗で、どんな偉い人の前に立つても少しも憶する所の無い點、それに比べて日本の少年は小さな所非公式な所では精一杯いたづらを元氣よくやるが、いざ大舞臺に出ると憶し勝ちでどうも思はしくないのであります。之等には色々の原因があると思ひます。

(A) 島國根性を去ること

ある村のお祭にはきつと青年が殺されるなどと云ふ言葉の時々聞きますが、獨逸三ヶ月滞在中に私は青年達と接してゐ乍ら喧嘩を一度も見なかつたのであります。變化し易い一寸のことにも腹立ち命を懸けても遂行するのは日本人の美點であるかも知れませんが、もつと大きな意志の力が大切で、わが「佛も三度は耐へる」との諺の如く、獨逸の如く、他人を排斥することなくして、大きな

氣持である様に青少年達を指導せねばならぬことを痛感致しました。現在日本の青少年團が個々分立の状態にあるのも此の島國根性が抜け得ず互に他と融和するだけの大きな心が無いからだらうと思ひます。

(B) 封建時代でもなければ自由(個人主義)時代でもない今は封建時代のやうな無理をも押し通すといふ時代ではありません。長上の命令に絶対服従は當然必要なことですが、盲従とは異なるでせう。無理でも何でも押し通すといふ、奴隸時代の主義では青少年は指導出来ないのです。部下よりの絶対的信頼、絶対的責任を指導者が負つてこそ始めて部下に絶対服従を要求し得るものであらうと思ひます。然し明治より大正にかけての自由時代眞の自由でなくて個人主義、我儘時代は既に過去の物です。一部の學生が長髪でマントをかぶり自分には教授でも父でも誰でも何も云ふことは出来ない、自分は自由であると云つて町をのし歩いてゐたのも既に過去のものです。今は全く全體の前に自己を捧げて戦ふ可き時であります。上下の區別は明瞭に絶対服従の前に絶対信頼が必要

であるでせう。現代は奴隸時代にも偏らず、又外國文明を吸ふに忙がしかつた自由時代にも偏せず、一新時機を劃して進む可き時であると思ふのであります。

(C) 明朗なる氣分(若い者は若い者によりてのみ指導される)

獨逸の少年達は全く明朗でありました。外國人が一般に有してゐる様なアメリカのヤンキー式の明朗でもなく獨逸人特有の寧ろ野蠻な剛健なる明朗さでありました。彼の偉大なヒットラー總統の前に少年達が出る時も元氣よく少しも憶する所無く全く明朗なる氣分で出て居ました。

正式な場合には引き緊るが、一度それが解かるればいくらでもはしやく、と云ふ氣分になる如く、はつきりといはじめのついた教育が必要であります。

「青年は青年によりて指導される」のが原理であるようですが、青年の氣持をよく理解した青年が指導してこそ彼の明朗なる氣分も出来、又元氣潑瀾とした人前にも憶さない青年の意氣を以て、例へ知識經驗の不足な青年の

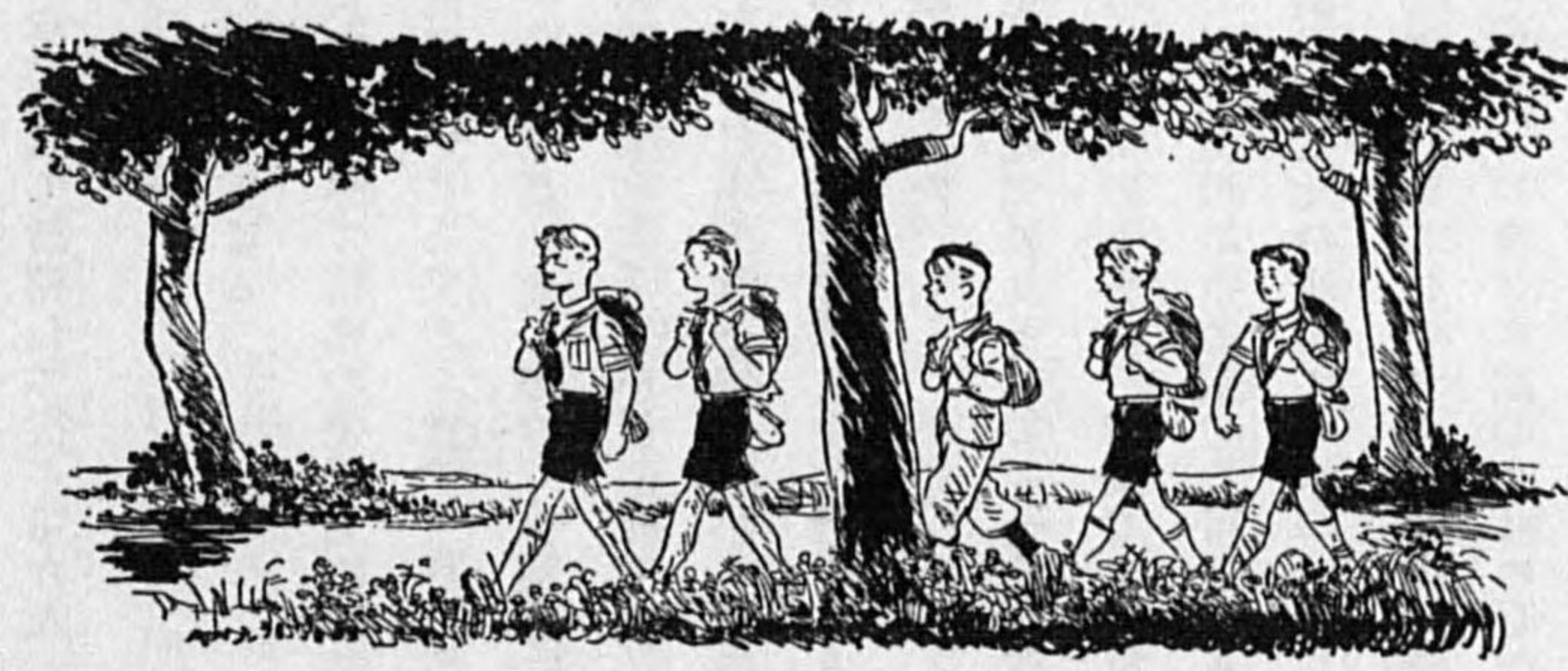
爲すこと言ふことに缺點はあつても、之を許して行くだけの大きな度量を以て指導して行く可き人が必要であると思ふのであります。

(D) 音樂的に指導すること

日・獨の青年を比べて體格の差以上に情なく思つたのは音樂的才能の無いことであります。HJの歌ふのを聞いて居ても、日本で高い金を拂つて音樂會に行かなければ聞かれない様な聲を數千人が目の前で美しく合唱するのを思ひまして、日本でも子供の頃から音樂的氣分の中に情操を養ひ(下級な流行歌でなく)行くことの必要なことを痛感致しました。

キャンプ生活を見て居りまして一日は音樂と體育の中に暮れて行くのであります。音樂でも體育でも課目として學ぶのでなく生活の中に混ざる可きであると思ひます。最近我國で漸次此の傾向に向ひつゝあります。嬉しいことあります。歌では我々派遣團も殘念乍ら負けたのだらうと思ひます。青少年團の會合にしても僅か一つの歌で如何に氣分が軟かくなり打解け合ふことが出来る

かはよく體驗したことであります。青少年の心にびつたり合つた高尚なる音楽が我々の最も望んでゐるものであります。



一三 獨逸魂と青少年教育

栃木縣 廣田耕助

目次	
一 青少年教育の特長	頁
1 工場青少年の問題.....	六
2 農村青少年の問題.....	三
アドルフ・ヒットラー・コーク(乾澤地)	
3 體位向上の問題.....	六
A 國防體育	
B 一般體育	
C 工場青少年の體育問題	
D 體操會、競技大會の實情	
4 女子青少年教育.....	七一
イ ユンク・メーデルの訓練情況	
ロ BDM合宿所訪問	
ハ 農業と女子青年教育	
5 世界觀教育.....	七五
二 訓練の情況	
1 團體訓練と音楽.....	七
2 ユーゲントハイム(青少年塾).....	九
3 同志の夕.....	八
4 青少年宿泊所.....	三
三 指導者養成機關	
イ 政治學校(ドレスデン).....	六
ロ ゴータの上層學校.....	九
ハ BDM指導者學校.....	九
ニ ドレスデン郊外のBDM指導者學校.....	三
ホ 海洋青年團指導者學校.....	三
ヘ 農村奉仕指導者學校.....	四
ト アドルフ・ヒットラー學校.....	五
四 學校教育とHJ	
	七

五 ナチス黨大會……………九

- 1 黨大會開催の意義……………九
- 2 一九三八年の黨大會……………九
- 3 黨大會を見學して……………一〇〇

六 結 論……………一〇六

- 1 ドイツ魂……………一〇六
- 2 日本精神とドイツ精神……………一〇〇

一 青少年教育の特長

1 工場青少年の問題

今日ドイツの何處の工場に行つて見ても見習工養成所なるものがない處は無い程、工場では優秀な工業人を養成しやうと努力して居る。見習工は一つの立派なコンクリートの建物を貰ひ小學校卒業後三ヶ年か四ヶ年間教育させられるやうになつて居る。例を取つて云ふならばズール地方の銃器工場の見習工養成所は三百人位居り態度と云ひその規律と云ひ堂々たるものであつた。實習室も一棟の機械工場を持ち、凡ゆる精巧機械がすらりと並び、彼等は喜びにあ

ふれはち切れる許りに勇んで機械を巧に操つて居た。工場主は曰ふ、

『此の見習工養成所は技術のみ優れた所謂熟練工を養成して満足して居るのではなく、立派な社會人を作り上げるのを目的として居る。故に實習の外、スポーツを樂ませ又世界觀的、政治觀的教育を施して何の方面から見ても立派な青年を作らうと努めて居る。だからHJと提携なしでは一寸教育を行ふ事が出来ない。所屬の指導者が來て教育を行ひ又會社の中にも指導者が居る』と。工場主もHJに理解を持ち、ドイツの國は青少年に休暇が多く労働時間が短いために教育が行ひ易いのである。現在ドイツ國內で労働者と云へば働いて居る全體の人、即ち働いて國家に奉公して居る全部を労働者と云つて居る。日本に於ける筋肉労働者のみを労働者と云ふのと大分違つて居る。

一九三四年労働戦線の成立を見て農民と官吏を除く外の全労働者が包含されるに至つた。労働戦線の根本的な主眼點は何かと云ふと「歡びによる力」即ち歡喜力行の運動である。一體労働者と云ふものは賃銀の値上や労働條件を良く

する丈で満足するものでなく、従つてそれ等のために労働能力が増加するものではない。眞に労働力を最高度に發揮させる爲には労働者に喜びのある生活を與へることが根本的な要素である。

生活の餘暇を利用して文化的施設の恩恵に浴させ、労働者が無知識的階級として上層階級の下敷となる事を防止し、生活に享樂を持たさねばならない。此思想から始まつたのが此の運動だ。

労働戦線は農民と官吏を除いた外凡ての生産に従事してゐる人にとつてはナチス世界觀の「高等學校」である。而して労働戦線は具體的な福利、慰安、修養等の施設を巧に利用して居る。即ち労働戦線はスポーツ、旅行、休暇、ハイキング、觀劇、キネマ、展覽會、音樂會、博物館見學、圖書館開設等によつて労働者とその家族に慰安を提供して居るのである。

元來よりあるドイツの全労働者の休暇を利用して、外國に旅行させ伊太利にアフリカにノルウェーに、各國の事情をつぶさに知らしめると共に民族と民族との握手をさせ、

ドイツを他國から見ても良く認識せしめて居る。参加する労働者達は毎月幾らかの金を積み立てて置いて其の金で旅行を行つてゐる。旅行者のための宿泊所は全國に八千餘、山小屋三千餘、スポーツ場は五百、水泳場は二百ヶ所も設備されてゐる。宿泊所は勤勞者が安い料金で宿泊出来る事が一つの目的であつて、歡喜力行運動の一つの表現である。安價な大衆車に乗つて、休暇を利用して週末旅行や休暇旅行に出る労働者の爲に國家諸機關が便宜を與へて祖國の美しさを知らしめて居る。從來の資本家は自由時間の組織づけに失敗して居る。それは休息の時間を與へなかつた事である。體力を養はうとして作業後に體操の時間を與へ、或は教育者をつけて教育指導に盡したが遺憾乍ら労働者を苦しめる許りだつた。

労働者の身體にも疲れがある。工場から家庭へ歸つて行けばその疲労は癒ると思つたら間遠ひで廿四時間全體を考へて組織的に考慮しなければならない。それが爲に彼等は夜は團樂の夕を作り、休暇も十分とれるやうになつて居て眞に生活に喜びを與へて而も労働時間を少くして最大の能

力を擧げさせるのが労働戦線の根本的原則である。それが歡喜力行運動である。

今ドイツの各工場には「大衆の家」が設備され彼等は此處で音楽の夕、觀劇の夕等に情操趣味を満喫して居るのである。或は又リューゲンの島には四萬人を收容する勤勞者の爲の大海水浴場を建設中であり同じく四萬人を收容出来る大ホテルの建築を急いで居た。

ドイツでは現在貴族のみを偉い人と云ふのではない。「我々は文化を建設し、作り上げて行く人々に尊敬と榮譽を與へやう」と叫んで居る。

私の觀た工場勤勞者達も確かに歡喜に満ちて働き、少ない労働時間で最大の能力を上げやうと眞剣な努力を續けて居る様だつた。

2 農村青少年の問題

先づ最初にドイツの農業状態に就て少しく述べて見やうと思ふ。ドイツは砂地である。日本の農耕地の如き肥沃な土地は少い。故にあの砂地から馬鈴薯、麥等を探るには餘程の苦心を要すると思ふ。大戰に敗れた第一の原因は食糧

問題にある事は否めない事實であり、大戰當時も食糧の不足はドイツの最も悩とする所であつた。

更に大戰後、食糧の寶庫と云はれた東プロシヤは割讓され、國內の食糧は彌が上にも足りなくなつてしまつた。まして冬の陽光に浴せないドイツ國民は多分の脂肪を必要とし牧畜業も怠る事が出来ず、その草地すら足りなくて困つて居る。一九一七年から一八年の戦争時代は、リューベント云ふ大根を食べねばならず、食のない地方も少くなかつたのである。

食糧が不足してゐても平和な時は良いが、又何時戦争が始まるとも解らない。その爲に食糧の源泉を國內に求めると云ふ事はドイツ國の緊急な必要となつて來た。然しその耕地たるや戦前より少く非常に困つて居る。故にドイツは耕地になし得る空地と云ふ空地は殆ど耕やし、沼澤等も出來得る限り中に堤防を築いて水を乾し、最後の一平方米迄耕地にしやうと努力して居る。その仕事はアルバイトドイツが主體となつて行つて居る。

アドルフ・ヒットラー・コーグ

私達一行がフレンスブルグに行く途中、アドルフ・ヒットラー・コーグなるものを見た。此れは遠淺の海の中に土手を築いて海水を防ぎ除いて、耕地としたものであつて、打ち寄せる波は又良き肥料を與へて呉れたと。

一九三四年の春より三五年の春にかけて完成したものであつて労働奉仕團と、國家で傭はれた労働者との協力によつて出来たと云ふ。

約一ヶ年で完成し種子蒔きが始まつた。

最初の一年目には燕麥を蒔いたが成功しなかつた。二年目には野菜を蒔いたが鹽分を含んでゐるために、仲々出来ず、三年目から平常に出来る様になつたと。出来上つた耕地は土地賣買會社に賣り、會社の方から方々に賣り渡される。全體で千百ヘクタールあり、二百ヘクタールの排水堀が堀つてある。

移住して來た人は六二家族と小作三〇家族であり分けられた面積は排水堀の關係によつて十五ヘクタール乃至二八ヘクタールに分擔されて居る。移住宅地は家付一ヘクター

ル二五〇〇マーク(一マーク一圓四十錢)で賣り渡された。

飲料水には水道が引いてある。次に此地方の收入の概算を記して見ると、

小 麥	1ヘクタールに付	
	3300疋	
賣 價	660 マーク	
	(1マーク約1圓40錢)	
	15ヘクタール ならば	
總收入	13500圓餘	
支 出		
肥料代	2000圓	
稅 金	500	
小作人	3000	
雜 費	500	
	6000圓	
純收入	7800圓	となる

而して家族は平均三人の子を持ち七、八〇〇圓の純益を得る事が出来る。

小作人は二ヘクタールの自作と、其他は地主の所に行つて働く。月に一〇〇マークの給料を貰ふ。次に移住家族の集會場を見に行つた。丘の上に建ててあり、相談會、講習會、娛樂場等に用ひる。地主の家も見學に行つた。大きな家の中に、穀物置場、馬小屋、道具置場、牛小屋、自動車ガレージ、食物貯藏所から洗濯場に至る迄、實によく作

つてあつた。自分の家としては、寢室と讀書室がある位で天井にも穀物倉がある。日本のやうに家の半分を占める座敷等作らず共同集會場を作つて家庭の不便を補つてゐる所など流石ドイツ式だと感心した。

農業勤勞者は、自分の仕事を良く理解してゐる。大戦後ドイツが蒙つた被害は甚大なるもので、五百萬ヘクタールの農地と農業者百三十三萬とは其の中でも特に大損害を被つた。その爲ドイツでは大戦直後の食料品輸入は四十億マ

ルクの巨額に達したのである。農地を荒野に化せられたドイツの農民は、食なく職もなく、都會に續々と流れ出たのであつた。然し都會にもそれ丈の人口を收容し得る職業もなく、失業者は路傍に溢れ、密集せる國民の生活は國力を低下し、國民の地位を貧弱に導く一方であつた。

然しドイツ國民が漸く悪夢より醒めて自國を自覺するの時、「土に還れ」の運動が叫ばれたのであつた。

此の運動は土地を愛し、郷土を愛し祖國を愛する爲に湧き上つた運動であり、ヒットラー總統が首相の印綬を帯び

るや否や斷行した。

食糧問題、失業問題解決策の四ヶ年計畫と相呼應して遂に農民を都會より農村に送り返したのである。勞働指導官ドクター・ライは農民に對して、「農民の生活は土地への愛と民族の血統とが土地に對してもつ神秘的な關係によつてのみその生活態に達する事が出来るものであつて、如何なる種類の教育でも教育の力丈で人は農民の土地への特殊の繋りある生活態を作り上げる事は出来ないものである」とし、其の理由によつて勞働戦線から除外せられてゐるのである。もつともな事であると思つた。

現在ドイツはHJに於ても、ADに於ても「土に親ませる」教育方法を樹立し、農村學級を設け、或は又奉仕を通して食料問題の必要性を説き、眞に理解を持つた多くの立派な人材に農村を守らせ、國家も常に農村を保護監督して、農民の生活にも喜びを持たせる事に努力してゐる事は、食料の自給自足に難關をもつドイツ國として當然な結果であり、必然的な指導方針であると思つた。

3 體位向上の問題

商業 一四・八% 學生 一九・七%

其他 二五・七% (農業家多し)

ロ 飛行隊

將來軍事的にも民間的にも、航空に關する仕事を行う人を養成するもので、ユングフォルク(少年隊)の時代から始める。ユングフォルクの希望者を入れ三ヶ年間に所定の教育を終るやうに仕込まれてゐる。最初にグライダーの模型を作り、小さいガソリンモーターをつける。非常にうまく作つた人は、ユーゲンツ(少年隊)の飛行隊に入れられ、その所屬となり、射撃の練習、演習、競技等を行う。習得させる教育部門を三つに分け、

第一 理論、氣象、モーター

第二 設計、組立て

第三 操縦

仕事場は民間の工場でも何處にでも行き、近い處で習練を行う。初歩は自分で組立てたグライダーに乗り、稍熟練するに従つて會社製のグライダーに乗る。

「強兵たるの基礎は強健なる身體にあり」と叫んで早くより體位向上問題に異常な努力を盡して居たドイツでは凡ゆる處に大衆運動場を設け、多くの體操指導者を持ち、青少年の體位向上に萬全の策を講じ來つた。

先づHJの體育局を覗いて見ると、國防體育と一般體育との二つに分たれてゐる。

A 國防體育 國防體育と云ふのは運動そのものが綜合體育であり、更に國民として精神的にも肉體的にも訓練になるやう特に國防に關する技藝を取り入れたもので左のやうな種類に分たれてゐる。

イ 自動自轉車隊

十四歳—十八歳迄のHJの希望を入れ、技術と運轉と兩方に分けてゐる。ドイツの法律に於ては、十六歳迄運轉を許可されぬ爲に、一四歳—十六歳迄は技術的訓練を行う。運轉の方は二五〇フリーセンチを使い、今十萬人の隊員と一萬人の免狀を貰つた人が居る。

機械工 一八・三%

技術工 二一・五%

真直に飛ぶのと、カーブするのと、一定の高さ、一定の距離を飛ぶ等々難しいとのことである。

十六歳—十七歳位で百五十米から三百米も飛んだ者も居るが未だ完璧を期せられないとのことである。優秀なものは十八歳で飛行機の操縦を許されナチヨナルドチャイストに属し、機械も其の方から供給をうける。指導者の中には飛行機の操縦が出来て、競技大会の出場権を有つて居る者もあると云ふことである。

ハ 通信

第一に軍隊教育の前提としてモールスを習はせる。之は素質によつて出来る人と出来ない人がある爲にユーゲントに居る中からその人達を見分け、一分間に六〇字の發受を必要條件とする。モールスの他に電話電線を引きせるとか、ラジオの組立を行はせる。ユーゲントの通信部を出たものは、ナチス黨の通信に従事する。此の隊に屬してゐる者は全員で六萬人居る。

ニ 防空

ユーゲントに屬する男女を以て編成され、女子は負

ト艇長術、ヨットの指導を行はせる。

ト 射撃

戦争に於て歩兵の射撃が最後の決定を與へるものである故に、射撃の上手な巧妙な軍隊を若い内から教育せねばならぬとHJの體育訓練の中に此の射撃を取り入れられた。十歳以上十四歳迄のユングフォルクには空氣銃を利用させる。十四歳以後は歩兵銃(目方、形は軍隊銃と同じで只彈丸の口径が小さい(五、六耗))で五〇米の距離で幅一センチを十二に分けた的を射る。上手になつた者は試験を受け、合格した者は免狀を貰つて指導者となる。

射撃章を貰つた人は一萬五千人居り、千五百人づつ月に増えて行く。今日では其の数が非常に多くなつて來たので上級の射撃章を作つたと。時代と青少年の心理の動作を物語るものとして面白い實例だと思つた。ピストルは上級の射撃章を貰つた人で十八歳以上の指導者のみ試験を受ける資格がある。

チ ゲレンデスポーツ

傷に對する處置を行ふ。

男子は防火、毒瓦斯の對策、種類、焼夷彈の性質等を知る。一千萬の青少年男女が教育をうけ、一年に二〇〇萬の教育をうけたものを出し、そして終には總ての人が學ぶ様にと計畫してゐる。

ホ 乗馬

軍隊に對して後繼者を送る爲に作られたものであつて、騎兵、騎砲兵を主として居る。此の隊には試験に合格したものを入れ今五萬人参加者がある。

ヘ 海洋少年部

海軍、商船の乗組員を作る前提であつて、十四歳の海に興味のある者を入れ將來海洋に活躍したいと云ふ者を入れる。現在六萬二千人入つて居る。優秀な學校はドイツに二つあり、その訓練法は、ABCの三級に分れそれぞれ四週間の訓練をうける。C級が一番程度が高く、免狀をもつた人は海軍に入れる。教育方法は、ボート操縦、帆走、通信航海訓練等他にHJと同じ訓練を行ふ。目標として船の乗組を考へ、ボ

ゲレンデスポーツとはトンネルを掘つて地下にもぐり、地形の研究、地層及地下水の研究をするスポーツで、歩兵工兵の仕事、斥候のやり方を訓練する。杭をうつて居る音を聞いて何をやつて居るか等の勘の訓練を併せて習得させるのである。

其の他地圖の見方や地形の見方も教はり、スケッチして報告する。之には學校が出来て居り、一年千五百人、一ヶ月二〇〇人位教育を受ける。一講習は十四日間學校で習ふ。此の教育は今迄他の教育に比して遅れて居り今迄の射撃の學校を之に充てて居る。又此の指導者を養成する方法としては十四日間の講習會に出席し試験を通過したものは免狀を貰ふ。其の上の一年講習をうけて試験に合格したものは教師の免狀が與へられる。

ゲフォルクシャフトフューラーは少くとも教師の免狀を持ち、自分自身でHJを教育してゐる。

シャルフフューラーは其の下の免狀を持たねばならぬ。今迄講習を終つたものは十一萬五千人居るといふ

ことである。

B 一般體育 一般體育と云ふのは普通の競技體操を主とした體育であつて、先づ基本運動を行ふ。基本運動は大勢で出来るもの

道具を使はぬもの
狭い所で出来るもの

に分たれる。之等の運動の目的は機敏、持久力、強力、勇氣、決斷を養成する。

ランニングは一〇〇米より三〇〇米で、あとは砲丸投、幅飛び、高飛び、水泳、ボクシング等を行ふ。これらは勇氣を養ふために必要であり、一週間に二時間行ふ事になつてゐる。

基本的運動は義務的に行ふがその他に、トラック、フィールド、ホッケー等有りとあらゆるものを行はせるが、之は自由意志で基本的運動によつて成果を収め様としてゐる。

指導者を總ての小團體に送るのは不可能なために、若い青少年の中で優秀なものをその指導者とする。體育指

導者は競技に優れたものを體育學校で三週間教育する。

パン(管區)には本職の教師が居り常に活氣を興へ、青年の體育指導者にはゲホルクシャフトフューラーが主體となつて、若いユージェントがそれを助けて行く。

又體育躍進をさせるため競技大會を五月末に各地で行ふ事となつて居り、此の大會にHJは全部参加しなければならぬ。始めはカメラードシャフトの對抗となり、或る點數に達すると鐵のメダルを授與される。カメラードシャフトで優勝したものはパンの大會に出場出来、次にゲビーツで行ひ、優勝するとニュールンベルグの大會に参加出来る。

十八歳になつた指導者の爲には五種競技、十種競技等があり、パン、ゲビーツ、ニュールンベルグで青少年選手權大會がある。

十歳以上十四歳迄のユングフォルクは普通の體操を行ふ、體操は凡ての運動の基礎であるからである。

C 工場青少年の體育問題 工場青少年と勤勞者の體育向上問題に就いて特に彼の地で實施してゐる方法として

は、見習工の殘業、夜業を禁止し、男子十八歳、女子二十一歳を成年とし、未成年者の夜業を禁じてゐる。

勞働時間は如何なる場合と雖八時間に制限され、一週間の内一日の午後は休業自由となる。普通土曜の午後が自由時間となつて日曜迄ゆつくりと休養するやうになつて居る。休暇は十六歳以下一年に十五日、十六歳以上一年に十二日與へられるのであつて、その期間は勿論俸給は支拂ひ、この期間がユージェントの旅行やキャンプなどに充てられてゐる。

勤勞者のスポーツに對しては最も力を入れ、勤勞者の體力が日に日に低下して行く實情を憂へ、「心身の調和發達」と云ふ事が強調されて居る。水泳、體操、自轉車、拳銃射撃、民謡ダンスなど凡ゆる方面に盛況を示し、運動場も五萬八千五百あり、運動會も一年に十九萬回と云ふ驚くべき數字を見せて、その参加人員も三百萬を越してゐる。

D 體操會、競技大會の實情 九月八日ニュールンベルグで體操大會を見た。丸太棒を振り廻すAD、ボキシング、

騎馬戦を行ふHJあとはナチス黨員の體操だ。

マゲームは何萬人もの参加者が實にきれいに整頓され横を見ても、縦を見ても一線に揃つてゐた。ADは丸太棒をボタンボタンと音をさせ他の或るものは砲丸を持ち、或る者は逆立ちを行ひ、手足の運動をする等肉と肉との踊であり、頭の禿た爺さんから、若き血に燃ゆるHJ達迄實に肉體美のドイツを明かに誇つてゐるかの感があつた。一人の指導者の下に手足の如く動く彼等の一舉手一投足に山なす觀衆は絶贊の拍手を惜まなかつた。

後でBDMの民族舞踊があり、特異な服裝をして赤青とりどりの服を着て、胡蝶の如くに舞ふBDMは之によつて情操の教育を行ひ、體力を練つて居るのである。

九月八日、SS、SA、AD、NSKK、巡查等のカンプスピーレンを見て、先づ目を惹いたのは審判官の非常に多い事でスポーツ場を歩くにしても、二列か一列になつて足並揃へて歩き審判の公正を期すると共に立派なスポーツマンシップを現して居た。

スポーツを見て居る中に、單にスポーツは争ふ丈でなく眞實の意味で體力を練るのだと云ふことを如實に見せつけられた。又スポーツの種類の中に手榴弾投又は障礙物競争の中にも網の中を潛らせたり、高い塀に登らせたりする事等を加へ一寸軍事教練に似て居る所がある。

ドイツ人は雨に強く又平氣だ。MAD(女のAD)は雨の中で殆んど裸體で遊戯を行つて居る。

私は成程ドイツ人の體力は立派だと痛切に感じた。會場もきれいで處々に看護婦が立つてゐて怪我人があると直ぐに手當をする、競技の進行もするするして居らずパツと片附けて行くのを見て居ても氣持が良かった。

九月十一日、バンベルグのBDMスポーツ大會に臨んだ。女乍ら天晴れな體格だ。高飛び、幅飛び、砲丸投、槍投等實に堂々たるもので、中にも砲丸投を行つた女性の體格には僕等の體格は到底比較にならなかつた。障礙競争、百米等もきびきびとしてハンドボール等も實にうまかつた。體操等も鞠を持つたり、木を持つたりして行ひ、例によつて色とりどりの服装で行ふ民族舞踊の如き

ならしめる所以である。

皆さんの大きな勤めはヒ總統を喜ばせる事である。今後共益々勵み良い體格を作つてヒツトラー總統を喜ばせて貰ひたい』云々と云つた。要するに今ドイツでは何事もさて置いて青少年の體育に萬遺漏なきを期して居る。男も女も偉大な體力の發達に心掛け次代のドイツ國を背負ひ立つて行くのである。

4 女子青少年教育

「女子の教育は女子の手で」此の標語も現在ドイツでは非常に叫ばれてゐる。女子廿一歳迄の教育はHJの中に包含されて女子の指導者によつて殆んど男子のHJと同じ位強力な訓練を行つてゐる。

女子青年の教育は立派な婦女子に仕上げるのが目的で工場の女工等もやはり家政に關する教育をして職業婦人型にならぬ様、婦人はどこ迄も婦人である様に教育する。職業婦人の旅行は全然無料であるが、BDMの家政學校では一定の月謝をとる。

次は女子教育の實狀について實例を二、三擧げて説明し

は一際目立ち、如何にして之を體操化し、如何にして此の尊い民族舞踊を保つかに専心の注意を拂つて居るかが解つた。

又體育長官は競技終了後BDMに向つて、『もとドイツの女子の體格は非常に悪かつた。然し現在皆さんの體格を見ると、實に偉大な發展をとげてゐる。ナチスの國策の一つとしては精神丈健全では駄目だ、心身共に健全でなければならぬ。今後共益々體位の向上に努めて貰ひたい』と語つた。

次にシーラハ統監が立つて、

『私は今皆さんの體格を見て非常に嬉しい。僅かの年月の中に皆さんの體格が此れ丈發達したかと思ふと、私は皆さんの努力に對して感謝せざるを得ない。又二三日前ツエツペリンヴィーゼの廣場に於て、皆さんの友達か或ひは皆さんが民族的舞踊を行ひヒツトラー總統を喜ばせて呉れた事に對しても厚く感謝する。ヒツトラー總統はドイツ國の意志の表徴人物である。故に此の人を喜ばせる事は、ドイツ國を喜ばせた事になりドイツ國を強固

て見たい。

イ ユングメーデルの訓練狀況

グラーツのハイムに泊つた時約二百人位のユングメーデルがハイムに泊りながら訓練を行つて居た。先づ二百人を四つ位に分け、一組五十人位となし歌、體育、踊、お話等に分けてやつて居た。一時間乃至一時間半行ふと云ふことだ。歌は圓く集つて一人の指揮者のもとに、氣持よく合せて歌つて居た。

お話、これには種類が多く、政治的、民族的、歴史、歴史的に有名な人の話等をして聽かせるのださうである。私共が見學した時は博物で穀物の話をしてゐた。始めは旅行の話をしなから、麥の話に入り、その穀物から何が出来るか、種類はどうか、どれ程大切なものであるかを教へて居つた。

體育、パンツ一つになつて寒さを克服し暴れて居た。男も斯くやと思はれる許り、胴上げの如き遊戯や鞠送り競技等特に多かつた。

踊り、之れは十四歳以下のものゝ集りであつた爲めに

易しいものを行つて居た。十四歳以上になると難しいのをやると云ふことだ。林檎の木の下で、十四歳位の女の子を指導して楽しげに踊つて居た。

此處に來た子供達の一部は休暇を貰つて來て居るが學校別によつて休が異なるために、其他のものに對しては休暇なく、男のバンフューラーに當る人が「休暇願」を學校の校長さんと親父さんに出し休暇を貰ふことになつてゐるといふ。

費用一人一日一マーク二〇ペニヒかゝり、其他衣服等も相當かゝるが出せる人は出し出せない人はさなくとも良し。

この様な教育施設を處々で行つて居るが十四歳の中で一番成績の良い者を指導者として稱すと云ふ。此の二百名の指導者が僅かに十八歳だと聞き、又實際會つても見て私はその堂々たる應對振りに非常に感心したのである。

□ BDM合宿所訪問

僅か十五人しか居らず、皆喜んで我々を迎へ、直ちに

集會所に案内して呉れた。食事を行ひ、座談會を開く場所だと聞かされて邊りを見ると粗末なテーブルと椅子が置いてあつた。此處の合宿所でも訓育等は全然行はず、自然の中で遊ばせると云ふ事を先づ第一としてゐると云ふ。

日程は

六時 起床、これは歌で自然に起す方法を取つて居る二段になつて居るベットに寝て居るので、上の人達が今朝起すと明日は下の人達が起すと云ふことになつて居る扉等をドンドンと叩くやうな事はしないそうである。起床後二〇分位、軽い運動を行ふ(水邊にかけて行く)其の後此の合宿所に必要なものを用意する(薪、水汲み)

七時四十五分 國旗掲揚、食事、臺所の掃除を行ふ。其の後一時間歌の練習。

二時間 スポーツ

十二時十五分 晝食

一時—三時休養(午睡を取る)

後簡単な散歩、運動、水泳、濟んでお茶の時間、後は

遊びか散歩。

一日に一回話を聞かせる事になつて居る。此の地方の出來事、この地方の起源、砂丘の移動、埋つた村、衛生。更に東プロシヤの事、自分達の出身村の話、オーストリアの話をし、郷土教育より出發して全ドイツの教育を授ける。

七時、夕食、後ハイムアーベントを行ふ。

中心主題(家族、民族舞踊、オーストリア、歌、婦人、習慣等)を定めて聞く。

八時卅分、國旗收め

九卅分就寝

十四日間の休養だと云ふ事だったが、彼女等は歌を愛し、始終唄つてゐる。朗らかな人達許りで手製の菓子コーヒーを出して呉れたが非常にうまかつた。

ドイツは小さい内から女子の教育に努め體育、世界觀教育に力を入れ、眞に母として立派な世界觀を持ち、立派な體格を持たしめんとしてゐる。

ハ 農業と女子青年教育

ウムシュールングスラーガー

各種職業の娘を集めて八週間、農業に關する知識を學ばせ、其の後十ヶ月百姓の所で働かせると云ふ組織になつて居る。目的は農業に興味をもたせて、農業に職業を變へさせる役目もち、農村に人を集める爲めに一ヶ年前から始まつたそうである。一ヶ年學んだ後は何の職業に行つても構はぬが成る可く殘る様にして居る。

十六人の娘の宿舍が構へてあつて、私共の行つた時六人居たが來週切り換へになると十六人來る事になつて居るそうである。馬舎、牛舎、豚舎あり。娘達は臺所の仕事、農業の仕事の外に之れ等の飼育方法をも習つて居る又農業の仕事のために一二〇モルゲン(一モルゲンは約二町歩)の畑があり、その附近のお百姓さんに教へて貰ふ。今迄は十六歳の娘を自由意志にて入れて居る。

畑には監督者が居り、實際指導に當つてゐる。仕事を行つて居る内に娘達は仕事は難かしいものだと考へるが、そこに興味を起させる様にしてゐる。今迄の人は大部分残つたとの事である。

實習をやつて居る所を見ると、ボロをまといつて顔を眞黒にし、目だけ光らして居たが彼女等は「労働は神聖なり」とはつきり自覺し、自分の職業が如何に尊いものであるかを認識して労働を喜んで行つてゐる有様には感激した。尙参考のために、此の教育所へは社會局（ユージュントの本部の）と食糧省から指導に来る。又費用は食糧省の方から出る。

私達は東プロシヤで女子の勤勞奉仕所を訪問した。女子の勤勞奉仕が義務制になつたこと、又その目的は良い娘を良き母に仕上げる爲めと云ふ事は前述の通りである。故に立派な母に仕上げる爲めには成るべく貧しい家に送り、パンの作り方、食事の用意等勤勞の大切な事を悟らせる。又貧しい家の單純な生活振り、通俗的な家事を見習はせる。ドイツには大戦後非常に貧しい家が多いので娘達はラーガー（宿舍）に泊つて、食後其れ等の家に手傳ひに行く。

午後二時には歸つて来て、午睡を取り、お茶の時間の後には運動、世界觀、政治觀教育を受ける。

取り入れる手傳ひをしてゐるのだ』

家の中は清潔、簡單を主眼となし、美しい家にして居る。單純な中にもきれいに整頓されてゐた。額縁等も作り、木の盆に模様を彫り、ランプ等もだんだんときれいにして行くと云ふ。所長の下に三人の指導者があり、一人は世界觀の教育と監督、スポーツ。一人は臺所、家事の世話。一人は庶務、會計。

寢室は二段になつて居り、狭くても良い様にしてゐる。單純な生活に馴れると云ふのが大きな眼目の一つであるからだ。十月から五月迄、ストーヴを必要とする。一週間に二回醫者が来て身體を診て呉れる。十八歳から廿歳位の娘さんが多く、洗面所も食堂も素朴の中に清美な形が漂つてゐる。

5 世界觀教育

ドイツ青少年教育中特異中の特異として重大な意義を持つ世界觀教育とは一體どんなものか。私も非常に關心を持つと共に研究したかつたのであるが、その機會に乏しく、充分研究出来なかつたのは残念だつた。此處に簡單ではあ

夜は歌を唄ひ、手紙を書いたりする。日曜日には森を散歩するとか、周圍の状態を知るとか、或ひは又國境近くに行つて、もとのドイツ國を眺たりする。

女子青年勞働奉仕團

MAD(女子青年の勤勞奉仕團)は五月一日の勞働祭十月の收穫祭、六月の夏至のお祭に参加出来る。

娘は各階級から来て居り、託兒所等を設けて母が安心して働ける様になつてゐる。

市長の話

『此の勤勞奉仕團員は、子供を世話し、家の手傳をする外に、民族的な大きな意義を有して居るがドイツ魂をアルバイト勞働の意味で擴げ様とはして居ない。ドイツ民族の血が流れ、リトアニア、ポーランドの襲撃はあつたが、その度にいつもドイツ人が来て、村を作り一度も外國の土地にならうと思つたことはない。それは一九二〇年の人民投票に、はつきりと示されて居る。手傳ひをして居る仕事は經濟的のものでなく、壓迫、困難に戰つて居る人々に、ドイツのもつて居る文化生活等良いものを

るが、その片鱗だけを述べることにする。

ヒットラー總統がヒットラーユージュントを結成するに當り、

『大ドイツを完成させる爲めには、どうしても廿年や卅年はかゝるものだ。その爲めには小さい内から自國を認識させ、國家觀念を吹き込まなければ駄目だ』と叫んだ事は前述の通りである。然らば此の教育はどの位徹底して居るものか、實見記によつて此處に記したい。私がHJの指導者學校、オーバー・パン・シュールの授業參觀に行つた時校長先生は授業が始まるや否や、突然生徒に向つて質問した。

問 日本とドイツは如何なる點が共通か？

答 ポルシェイズム(共產主義)の打倒。

問 日本が支那を打ち破ることは？

答 支那に於ける共產主義を打ち破ることである。

問 支那と親しい國は？

答 ソビエト聯邦。

問 防共協定の效果？

答 ソビエイトが攻撃すればドイツは必ず起つ。

問 ソビエイト極東の司令官は？

答 ブリユツヘル

問 東洋で起つて居る問題と同じ問題が歐洲の何處に起つて居るか？

答 スペイン。

問 それを救ふものは？

答 フランコ將軍

問 何處の國が世界で親しいか？

答 日本、ドイツ、伊太利、スペイン。

先生の矢繼早の質問に對して彼等は明確に直答した。又 HJ に於てはハイムアーベント(團樂の夕)にも世界觀教育を行つて居る。或るハイム(塾)に案内せられた時、指導者が十三歳になる大工の息子に向つて、「今世界は何うか」「共產主義とはどんなものか」等を質問した處、其の子供は直ちに立派に答へた。

斯様に僅か一、二の實例を示したに過ぎないが、現在のドイツでは非常にこの教育に力を入れて居ると云ふ事は事

る信念を持たせ、苟も民族協同體を破るが如き行動は、絶對にとらせないと云ふ信條のもとに、此の教育は行はれて居るのではないかと私は信ずるのである。

二 訓練の情況

1 團體訓練と音樂

1 團體訓練 HJ が街を歩いてゐるのを横から見ると、足の揃へ方姿勢等は實に良い。又氣を付けをした時の規律良さに上手なものだ。私が旅行中一番感心したのは、ドレスデンの政治學校に行つた時の生徒の態度である。

二百人位の生徒が私達を迎へて呉れたが、一人の指導者の號令一下「氣を付け」とかゝるとピタツと、板と板を打ち合せた如く、身動きもせず、「休め」と云つても一人の動作の如く、バタバタ不揃ひの音等しないで出来る。見てゐた我々は實に感心してしまつたのである。

或ひは又 A D の行進にしろ、軍隊の行進にしろ、外

實である。此の教育も大體年齢層に別けて行ひ、

十歳位……ヒットラーの生立、傳記

十四歳位……國內の政治を狭く

十八歳位……廣くして深く。

尙農村と都會では其の教育方法も異り、郷土的に取扱つて居るやうだつた。

指導者學校の校長は此の教育問題に對してかう云つた。

「政治觀、世界觀教育は前述の如く、何時でも世界の動向に注意し、理解をさせ、自國への認識を誤らせない爲めに行ふものである」と、又ハイムに案内して呉れた指導者は

「此の様に小さい内からドイツは世界のどの様な位置にあるかを良く認識させるのだ。此の教育は學校では殆んど行はず、HJ では塾の夕」或は又訓育材料として取扱つてゐる」と云つた。

歐洲大戰で非常な苦敗をなめたドイツは、子供の内から自國への認識を誤らせず、自己の行手に確りした目標を定めて、「世界を認識することに依つて、自國の立場を知り、自國を認識することによつて、自分の行くべき道に確固た

觀的動作は實に立派なものだつた。

私は何んなに教練を猛烈に行ふのかと注意して見てゐたが、八十五日間の旅行中、一度も教練をしてゐる所を見られなかつたのは残念でならなかつた。けれども彼等は音樂に對して非常に耳が發達してゐる。耳の訓練は實に良く出來て居り、一度び音樂が鳴り出すと足は實に好く合つて來る。つまり彼の國では形式を尊び生活がリズムカルに出來て居るのだと云ふことが解つた。我々は音樂が始まると却つて足が亂れる思ひを感じて恥かしかつた。

又彼等は團體訓練が非常に好きだと云ふ事も一つの原因であると思ふ。二人歩けば歩調が手も、足も合つて來る。大勢で歩く時も足を合せる事が好きであり、楽しみなのだと思ふ。行進の體形を見ると、日本の如く前の人との幅は非常に狭く足を合せなくては歩けないのが。又「氣を付け」をさせるにも、「休め」をさせるにも日本と少し變つた豫令と勅令をかける。例をとつて云ふと。

「HJ、氣を付け」「HJ、休め」と云ふ。

HJと云はれた時に既に此の次は氣を付けが來ると云ふ事を各自自覺させて置く譯である。兎に角ドイツ人は一人で遊ぶことを好まない。總てのものが團體を好み、音樂を好むから規律の良いのも必然的結果であつて決して不思議な現象ではないと思つた。

2 音樂 音樂の國と云はれるドイツは、個人々々が實に音樂を好むのである。カフェー、バー、レストラ等何處に行つても音樂はやつて呉れる。カフェー等に行つてもコーヒー一杯飲んで二時間位音樂を聴いてゐる様にならないと眞のドイツ人になつたとは云へないそうである。我々も同志の夜會等に招待せられて歌を唄ひ共に遊ぶのであるが、彼等が歌を一旦口から出すと二重唱三重唱は樂に唄つてしまふ。そしてつきる事を知らない。次から次へとどんどん歌が出て來るのである。全く歌は彼等の生命だと云ふ程よく唄ふ。鑛山の近くに行くと、鑛山の歌を唄ひ、パスの中でも、道を歩く時でも、一緒に整列して歩いて行く時にも、

供が歌がうまくなるのも無理はない」と思つた。

ましてドイツではHJの歌も、ADで唄ふ歌も、AF(労働戦線)のおぢいさんが唄ふ歌も皆同じである。HJで練習した歌は、ADに行き尙一層研究練習され、それがAFについて唄はれると云ふことは當然で、つまり國民歌を非常に多くもつて居る譯である。

指導者も子供達も腕を組んで、一つのアコーディオンから流れ出るメロデーに合せて共に唄ひ共に遊ぶ事が出來たならどんなに朗かになり、どんなに親しみが増して來る事であらう。

又街をねり歩く時でも、山を歩く時でも、共に唄ひ足並揃へて歩く事が出來たならどんなに楽しいことであらう。

HJでもADでも現にそれを行つて居る。

私は此れ等を考へる時、彼等の樂しげな姿、知らず知らずの中に團結を固めて行く彼の朗かな姿が目にあつたと浮んで來て仕方がない。

尙HJの中の音樂隊の事について、指導廳の中の文

彼等の口から歌の出ない事は滅多にない。そこで彼等は何んなに訓練されてゐるのか、どんなに練習するかと思つて聞いて見ると、

「我々は特別に練習等はしない。常に兄弟や友達が唄つて居るのを聴いて知らず知らずの中に覺えてしまふのだと云つてゐた。然しHJの訓練項目の中で、歌の練習は主要な一部門となつて居り、キャンプに行つても、ハイムに集つた時でも、凡そ一緒に集つた時に歌を唄はない時はない位、歌が好きであり又歌を練習するのである。

又どんな小さな子供がどんなに下手に歌を唄つても上の人は笑はず、又友達も笑はずに聴いてやつて、ほんとうに歌が上手になる迄面倒を見てやると云ふことであるが此の點は羨ましい程の美風だと思つた。

我々が或る所のカフェーに、お茶の招待があつて、行つた時よぼよぼのおぢいさんおばあさんが來て、じつと演奏して呉れる音樂を聴いて居て、終ると一生懸命になつて手をたゞいて居た。私は「成程此れぢや子

化局に行つて聞く處によると、音樂隊の統制は此の文化局で取扱つて居り、娛樂のない僻陬の村には最も優秀な音樂隊が時々出張して村人達に音樂を聴かせて居る、とのことである。羨ましく限りである。

人の多い處にはやはり音樂隊の組織は多く、直接放送に關係のある隊も少くない。音樂學校も多く設立してあり伯林には優秀なものが二つあると聴いた。

2 ユーゲントハイム(青少年塾)

ハンブルグのユーゲントハイムを見學に行つたのは七月十三日だつた。此處に建築中のハイムは郊外のユーゲントの必要を充たすもので、三つ建てられるそうだが一つ完成に近かつた。もとは學校の内部の室とか、空家等を用ひて居たか、やはり環境の良い適當な塾のやうなものが必要なので、ハイムベシヤフングと云ふ規定を設け、昨年より新しい家を建てて居る。赤煉瓦造りの家で屋根も又瓦でふいてあつた。内部の構造は俗悪に流れぬ様、指導廳の文化案の下に、勝手なものでなく素朴なものを作つて居る。玄關に

は旗の安置所が設けられ、部屋の卓、椅子等は木材で單純な
而も趣味豊かなものを作つて居る。

此處では歌を習ひ、又政治的世界觀教育を每晚、各團體
〔幼年隊(DJ) 幼女隊(JM) 少女隊(BDM) 少年隊
(HJ)〕順々にやるそうだ。此の夜の集ひをハイムアーベ
ント、俗にハイマーゲと云ひ、譯して塾の夕、或ひは又團
樂の夕と云ふ。又部屋の内部にはヒットラー總統の描いた
繪を掲げ、手作りの蝶番ひ等の技術を見せて、部屋の部分
々々からも相當な教育をうけ教育的効果を上げようとして
居る。而も兩親から子供が離れない様、特に注意してゐる。

女の部屋に行くといふの製作品が優しく出来て居り、
椅子等もきやしやで戸棚の上には花瓶があり花が挿してあ
つた。男子と女子との室の間に、簡潔な指導者の部屋が設
けてあつた。屋根裏には紡織の機械、糸繰りの機械等が備
へてあり、手工藝の部屋に充てて居る。此れ等は決して商
工業をおびやかすものでなく、自分の美的才能を伸ばすと
共に各々の趣味を出させるためであり、習つて家に歸り家
事の手傳ひをする。部屋は冬の用意のためにガス管が用意

%運動してゐることである。そして五月に行ふスポー
ツ大會には出来ても出来なくとも全員出席すると云ふ事
である。

ユーゲントハイムの中に出て来たハイムアーベントとは
如何なる事をなすか、私達はワイマール市の近くのグラ
フエントナ村のハイムを覗いて見た。此の村には、HJ
とBDMが二百五十人しか居らぬので、小さいハイムで間
に合はせて居る。日曜で全部一緒に集まる時は、手工藝の
室、講義の室、男女の室で間に合はせる。

私達が行つた時折よくハイムアーベントを男女とも行つ
て居た。女子は一緒に歌を唄ひ、或ひは又指導者が
本を読み、外國に居るドイツ民族の話をし、ヒットラー總
統の話等を聞いて居た。

遊びと云ふと皿を持つて来て皿の作り方、價、使ひ途等
を聞くのであらう。質問されて直ちに答へられなかつた者
は皿の下についてゐる墨を鼻の頭につけられる。皆笑ふの
に一生懸命だつた。男子の方では農村の重大性を教へて居
た。此れも一つ都會に人の流れ行くのを防止する爲だそ

されて居たが、時節柄鐵を儉約する爲に鐵管は用ひてな
つた。

三十人位の人が毎晩集り、JV、JM(幼年幼女)邊り
三時—五時、HJ、BDM(少年少女)級は七時—八時頃
集る。

此の様なハイムは自治體、町村に一つ位宛作る豫定にな
つて居るが大都會には仲々作る餘地がなく、伯林には二
〇作る計劃のところ、九月にはまだ三つしか出来ない。ハ
ンブルグは四十作る豫定である處二十一出来て居る。

一ヶ所の經費二萬圓程度、ハイムは今作り出して居るの
で旅行中何處に行つても見られたが未だ完成の域に達して
居ない。然し實にきれいなもので内部は木造が多いけれど
も鐵筋コンクリートのハイムも少くない。

更にハイムには必ずスポーツ場がつく事になつて居る。
其の大きさ費用の掛け方等は金のあるなしの町村の問題に
なつて来るが、大體一萬マークから二萬マーク位で、今は
田舎の子供でも、國境の子供でも皆HJに屬し、以前は各
村でも五〇%しか子供が運動しなかつたが、今では一〇〇

だ。

又勞働者、陸海軍、船乗等をかみくだいて良く理解させ
る。此の指導方針を書いた本は指導者のもとへ二週間に一
回来る。その他、總統の話をし、又政治問題等を教へて行
く。歌等を唄はせても非常にうまく唄ひ、政治問題の事に
なると、わき見もせず一生懸命に聽いてゐた。

ゲビーツフューラーが後になつて我等に云つた。

「此の様に夜一緒になつて遊び又學ぶと云ふ事は前は七
か八%迄なかつたが、今は皆喜んで共に遊び共に學んで居
る。%で云へば今は一〇〇%を示すであらう」と……。

3 同志の夕

同志の夕といはれるHJの會に私達は十度位招待され
た。會に出席すると卓の上に冷肉が出される。腕を組んで
歌を唄ひ音楽に合わせて面白い遊戯をやつて呉れて我々に溝
のない親交を示して呉れた。

軍隊的に教育され嚴格な教育を行はれるHJの反面には
かうした慰安の夕が設けられ、此の夕には指導者も青少年

も全く階級を離れて共に唄ひ共に遊ぶのである。我等は此の夕に招かれて益々HJに對して好感をもつと共に、HJに對して認識を誤つてゐる諸外國も何時かHJを好感のあ
る眼で見るだらう事を想像した。

遊戯等も私達を楽しませやうと氣を配り、自分の歌の本
や街の繪葉書等にサインをして我等に贈り、赤裸々に同志
として萬全の準備と親しみをあらはして呉れたのは非常に
嬉しかつた。

舊オーストリアに行き、グラーツ市の「同士の夕」に招
ばれた時、オーストリアの民族的舞踊を男女で踊つて見せ
て呉れた。其の心遣りは非常に嬉しかつたが、國情や風俗
を異にする我々日本人から見たら大して参考にもならな
かつた。そんな感じは全くおかまひなしに酒場々々では殆ど
何處でも、こんな情景が繰り展げられてゐるのには恨めし
い程でもあつた。それ等の事共を思ひ合はせると未だ未だ
オーストリアのHJの完成には相當時日を要するかのやう
に思はれた。

然しドイツ國を旅行中我々に對して示して呉れた同志と

しての彼等の接待に對しては、私は少なからず感謝の意を
表するものである。

4 青少年宿泊所

ドイツ國民が自國の青少年及外國の青少年に對する多大
の關心が、組織的に形となつて現れたものが即ち青少年宿
泊所である。大都會の喧騒から逃れて大自然の懷に抱かれ、
思ふさま遍歴したいと云ふ青少年の望みが年と共に組織化
されたものが即ちこれである。

現在ドイツの宿泊事業は二千の宿泊所を有し、百萬の青
少年をドイツの郷土に親しませて居る。青少年宿泊所を利
用せんとするものはドイツ青少年宿泊所聯盟の會員となら
ねばならない。

會費は社會政策的見地により決定される。即ち最貧民層
と雖も之を利用し得る様になつて居る。ドイツでは二十歳
以上の大人には年額四マーク、二十歳のヒットラー青少年
は宿泊證明書を持参すれば五十ペニヒ、其の他の青少年に
は二マークである。

ヒットラー青少年は青少年宿泊所勤勞奉仕會員として年
額五マークを團體として支拂ふ。ドイツ青少年及少女は總

て其の他に一月に一ペニヒ、即ちシュールベニヒと云ふの
を支拂ふ。此れは青少年宿泊所と連絡があると云ふ證據で
ある。皆は宿泊所の建設に對し共同して奉仕するを義務と
してゐる。

此の會費とシュールベニヒが青少年宿泊所の經營費の基
礎となつて居る。地方團體及國家が補助する他に年一回の
大會合があつて之を助けて居る。青少年宿泊所は勿論景色
の良い處を選んで三十料位の距離を以て建てられ、よく行
軍すれば一日行程で次の安息所に達する様になつて居る。

かくして青少年は都會の喧騒、いらだたしい忙しさから
逃れてゆつくりと保養する事が出来る。又凡ゆる階級、あ
らゆる地位の青少年と會合出来るし、外國青少年とも知己
となる事が出来る。昨年丈でも二十萬以上の外國人宿泊を
數へてゐる。國境を越えた友情の花が咲き、偏見は除か
れ、自國民のみならず外國人への本質、特徴までも知る事
が出来た。青少年宿泊所に於て外國人がお互に美しく貴く

結ばれる。一日共に暮した丈で楽しい共通感を抱くやうに
なる。

宿泊所を訪れた青少年は先づ入口で證明書を見せ、ベッ
トと戸棚があてがはれる。食事は自炊者もあれば、ペコベ
コに減つた腹を満してやる可く宿泊所のおぢさんおばさん
が奮闘もする。そして此處の世話人の發行した證明書に對
して食事を與へても呉れる。

夕食後青少年は一堂に會して旅行の話をする。世話人は
それを巧みにまとめて歌を唄ひ興じたり、物語りをしたり、
世話人の此の土地の説明に耳を傾けたりして楽しい一夕の
會を催す事もある。

九時に靜まり返つてシーンとなり、十時には御休みとな
る。翌朝早く音楽其の他によつて呼び起され、朝食前の嚴
肅な國旗掲揚を行ふ。朝食後世話人がする室の掃除を、各
人が手傳ひする義務を有するのだ。

其の後再びリュックサックを背負つて次の行程に出掛
けて行く。年々十萬の青少年少女が宿泊所を訪れ又立去つ
て行く。昨年は延數八百萬の宿泊があつた。

一般に宿泊所の寢室には八箇乃至十箇のベットが備へてある。青少年宿泊所のお客さんは團體生活をするのであるから、自分勝手な我が儘は引き込めなくてはならない。ホテルの様なサービスの無い事は勿論である。此處のお客さんは何處迄も徹底的に獨立獨行で教育されて居る。又寢床は自分で作らねばならず、睡眠袋は必ず使用せねばならぬ。持つて居らぬ者には宿泊所で一つ二十五ペニヒで貸して呉れる。清潔、秩序、衛生、規律を重んじる事は各人の義務である。

宿泊所の世話人達のする仕事の第一條件は青少年少女の模範となる生活をする事と云ふ事だ。ドイツ青少年宿泊所聯盟では、此れ等の宿泊所の世話人を更に教育して、この困難な職務を果せる様に努力すると共に、此の世話人の後継者の教育にも最大の關心を拂つて居る次第である。

青少年宿泊所は三級に分れて居る。

A級は一年の宿泊數六千人を越えざるものである。

此の様な小さい宿泊所では世話人を本職で備つて給料を拂ふ譯には行かない爲、小額の恩給を貰つてゐる老人で住

んで獻身的に参加して呉れた事に對して、青少年達は誇りを感じて居る。

新しい宿泊所の建物の如く氣高く明朗で、正しく且つ誇りを持つた奉仕の念に富んだ魂こそ獨逸青少年宿泊所の精神でなければならぬ。此れは義務であり、同時に感謝である。(「青少年と郷土」より抜萃)

次で私の見た青少年宿泊所の内部の構造其の他を参考として申し上げてみたい。

ハンブルク港内の浮べる青年宿泊所たる「ハイン・ゴードンヴィント」

これは一九一二年の帆船を利用したもので、ハンブルクの荷物船であつたのを一九三四年に青少年の宿泊所としたものである。

一泊青少年は二〇ペニヒとかで大集會場には二七〇の席がある。小さな集會場、講義、訓練等の室は六〇の席がある。大集會場には十四歳の子供の作つた模型のグライダーがあり、それは三時間飛んで九一・二キロの長距離を飛んだ記録保持と聞く。

居、電燈、暖房を只で支給せられて忠實に宿泊所を守るものとか、一定の職業を有しその傍ら宿泊所を世話しようとする云ふ者を世話人とするのである。

B級は年々一萬八千人迄の宿泊のあるもので、此の宿泊所の管理人は、一定の俸給を貰ひ、住居、電燈、暖房を支給され、収入の一定の割合を得て居るものである。かかる宿泊所の經費は全く地方の聯盟によつて行はれて居る。

C級は一年に一萬八千人を越えるもので、全ドイツにかかる宿泊所は五十ある。此處の管理人は非常な責任を有してゐる事勿論で多くの手傳人が絶えず働いて居る。此れ等の手傳人は勤勉であり、忠實に奉仕して將來宿泊所の世話人としての役目を引き受ける可く努めて居る。

此處では獨逸青少年宿泊所と云ふ大きい事業の主要の二三を述べたに過ぎない。

此の仕事を今日の盛大に迄持ち來す爲には、不斷の努力と懸命な奉仕とが必要であつた。獨逸國民が、特に獨逸の親達が、此の教育事業の偉大なる價値を充分に理解して進

讀書室も備へてあり、寢室は四七あつて平均一二乃至一四のベットがある。一番大きな室には三四ベットがあり全體で六三〇人泊れる。女子部と男子部とがあつて、船先の方は男子部、艙の方は女子部になつて居た。夏は何時でも満員になり臨時宿泊所を出す。昨年は八萬五千人の宿泊人があり、六、七、八、九月の四ヶ月が最も多く、今年の六月には一萬三千五百人の宿泊人があつた。

ベットは夏は毛布二枚、冬は三枚で、睡眠袋に入つて寢る。ベットは全部金網で足の所に金網の棚があつた。

七ヶ所に便所、洗面所があつて電氣水道は陸から取つて居る。身分證明書或ひは許可證を持つて來ないと泊れない規定になつて居り、個人は三〇ペニヒだと聞く。

朝六、三〇起床、夜九、三〇就寢で世話する人は臺所女七人、掃除男六人だそうだが勿論青少年も手傳ふ。

此の様に船を利用した青少年宿泊所は全體で三つあり、伯林、ザクセン地方にあつた二つがあるが、ハンブルクのが一番大きい。

東プロシヤにあるマリエンブルグのヘアベルグは最も新

しく出来上つた宿泊所である。宿泊せんとするものは玄関の廣間に來て先づ受付をする。然る後に部屋、食事（自炊か否か）が定められる。食堂に入れば卓も椅子も全部木造できれいなものだ。

賄所から食堂に食物を出す壁には二つ窓があり、一つは食事を出す窓、一つは終つた食器を入れる窓になつて居り、手早く準備するのに都合良く出来て居る。

此の宿泊所の特長は、

- 一 快よい氣持で滞在出来る。
- 二 建物として耐久力がある。
- 三 周囲の自然と良く調和してゐる。

此の宿泊所はマリエンブルグの古城と調和をとつてゐる。臺所を覗いて見ると皆ガスでやつて居り、千人迄の人を引き受けると云ふ。それで世話人の数はと云ふに、三人の娘と一人の男と、一組の夫婦が居る丈で、澤山の人が來た場合には宿泊所の中の人が馬鈴薯の皮をむき、それを切る等手傳ひをすると云ふ事だ。今年の七月には最早一萬人の人を六人が中心となつて御世話をしたと誇つて居た。集

或る物は土地の高低の計り方であり、又或るものは重工業品であつた。

ドイツの舊殖民地の地圖や、スフ等も教室との間の壁に見られる様になつてゐた。この壁はあらゆる問題に對して答へてあつた。化學の勉強室は隣りが實驗室になつて居り、黒板を上げるとガラス張りで實驗が直ちに見える様になつてゐた。

中庭で我々は生徒に紹介せられた。二百人餘り居た生徒は指導者の號令一下機械の如く動いた。此の素晴らしい規律の印象は未だに忘れられない。

寄宿舎は四棟に分れ一つ一つの家には現在のドイツの偉人の名をとつてその家の名とし、ゲーリングの家には簡単なゲーリングの言葉が掲げられ、周りの室にはゲーリングの勞働事務を書いた本がある。周りの壁にはゲーリングの仕事である四ヶ年計畫の繪が書いてあり勞働の象徴たる鍬、鋤等が飾られてあつた。

この様な家が六つあるので、十三歳より入學して十九歳迄六ヶ年中に一つ宛變へられ、六人の偉人の仕事を知る様

會訓育の部屋は二階に特別に設けられ、廊下にある戸棚は貴重品を入れる戸棚である。寢室は今は大抵八人位を一部屋としてゐる。何故かと云ふに大勢の部屋にすると騒ぐし、便所に行く人等でゆつくり休めない缺點があるからだ。洗面所も四ヶ所に設けられ、又此處の宿泊所では大勢泊つた時の用意に、屋根裏迄全部一ヶ所の空き所の無い程ベッドがたまつて居た。

此處の宿泊所はヒツトラー總統が自ら手を下したのだと云つたが、成程良く出来て居た。

三 指導者養成機關

イ 政治學校（ドレスデン）

ドレスデンの郊外近く、松林の中に堂々たる白壁の建物がひそんでゐた。これが政治學校で入口には門衛が居り、軍隊と少しも變らぬ嚴重さである。

始め教室に案内せられた。教室と教室との間には政治經濟に關する参考品が壁の中に戸棚の如く食ひ込ませた陳列所に、手際よく並べてあつた。或る物は國境地圖であり、

になつてゐる。

寢室は一室十一人で、全員二百八十人居る。體育には一番意を用ひ、堂内體操場も完備して居り、スポーツに優れた人を作り出す事に腐心してゐる。

先生の學校に對しての説明を聞けば、

入學の條件として精神、體育、性質、何れも平均以上のものが申出る資格を有する。申出は小學校、HJ、親の方から申出る。申出したものは八日間此處に入り、入つてゐる者と同じ様に生活し、凡ゆる方面から試験を受ける。採用せられたものは一ヶ年間假入學をし、その間生徒達は常に完全な仕事を遂行するやう心掛け、完全に出来ないものは追ひ返される。

日課は、

六時起床、十分間朝のスポーツ。

六時卅五分、服装と室内點檢、朝食。

後、校旗掲揚、朝禮、總統の言葉、指導者の言葉等の訓話。

七時廿分、授業始め。

十二時十五分に終る。(一時間四十五分として六時間)時間割、授業のやり方はキムナヂウム、ドイツチエスオーバーシューレに似てゐる)

外國語としてはラテン語、英語、佛語、スペイン語。午前中の學科、體育、體操、化學、物理學、民族學、動物學、生理學、速記、歴史、地理、其他日本の中學校、高等學校位のものを行ふ。

午後一時晝食。食後十五歳以上のものは讀書、散歩、手紙を書く等自由。

十五歳迄は休憩時間。(一時間は休憩時で二時間宿題—豫習、復習)

午後五時からスポーツの時間。

ライダー、オートバイ、防空の方面は誰でも行ひ、木工、繪、製本の方は自由、ボクシング、陸上競技は一緒に行ひ、テニス、乗馬等は自由である。

一週間に一回全部でゲレンデスポーツたる射撃を行ふ。

午後七時夕食。食後自由時間。

一九三四年にこの學校となり、その前は共產主義の學校であつた。授業料は生徒の負擔で、優れて居るもので家の貧しいものは特待生になれる。授業料は一ヶ月五十五マルク、先生三十三人、生徒二百八十人。

六ヶ年授業を受けて卒業試験があり、精神的、體育的に出来上つたものが卒業證書を貰ふことが出来るのであつて、卒業したものは醫者、軍人、先生、指導者、何の方面にでも行ける。

然しなるべく國家の指導者、即ち士官、H J、S S等の指導者になる様にとの希望はある。此の學校は一〇ヘクタールの面積を持ち、アドルフヒトラーシューレ(學校)と大差なく前者は四年前に作られ、後者は建設中である。現在政治學校は全國に十五あり、後三校増設の豫定になつて居る。

ロ ゴータの上層學校

此の學校も軍隊式になつて居り、門には衛兵が二人立つて居た。入口の黒板にはその週の標語を掲げ、揭示板には世界の動向が宣傳ビラの如く報道されてゐた。格言は廊下

十六歳以上の者は夜の自由時間近くのユーゲンツハイムに出かけて指導する。

土曜日の午後、日曜日の午後は一ヶ月に三回丈全くの自由となり、家に歸つても外出してもよい。日曜日は一ヶ月に一回行事があり、行進、ゲレンデスポーツを行ふ。又一ヶ月に一回以上競技の成績を見る。

最上級の者は、何でも出来なくてはいけないので、鑛山に行き、全くの坑夫として働き給料を貰つて生活してゐる。九百米の地下にもぐつて眞黒になつて働く。五年の級の者も四週間乃至六週間收穫の手傳ひに行く、其他二週間工場に入つて實習する。

此の學校の指導者は教育者もH Jに屬し、S Aの方からも教育者が来る。學校としては文部省管轄下であるが、H Jとしてはゲビーツの下にある。政治學校として出来上つてゐる外にH Jの集りでもある。校長は大學の先生であり、H Jのバンフューラーである。外の先生も皆高等學校、中學校の先生であり同時にH Jの指導者で、皆大學を終つた人達である。

の木に彫りつけられてあり、

「お前達はドイツを擔ふものだ、其れ故我々が望む様勉強しなければならぬ」

「ドイツはお前達の爲めに生き、學び、死ぬ」

「常に生活に忠實なれ、忠誠の念を持つて生活せよ」

「よく戦ひ、笑つて死ぬ」

「自分で自分のことを處理しなければ誰も助けては呉れない」

世界觀的教育の授業參觀に行つたが、それは世界觀教育の項に於て述べた。授業參觀に行つて變つたことを見學したのは始めと終りに「ハイルヒットラー」と叫ぶことだ。これは何年生の學級でも皆同じである。

又時間の始めに一人が皆に「標語(月の定まつたもの)を傳へ、次に歌(週の)を唄ふ。これはH Jの歌集から見付け出したものである。

此處の先生も皆軍人として大戰に参加した人達で校長は兩腕に負傷をしたとの事だ。

教育の主眼點は、軍事、政治、知識を一つに集め様と努

力してゐる。この中何れの一つが缺けてもいけないと云ふ。一つを犠牲として軍隊教育を行ふのでなく、何れも同じ様に行はうとしてゐる。

此の學校は男女共學で、男子は衛兵に立ち、規則正しい。政治觀、世界觀は、前述の如く、何時でも世界の動向に注意と理解とを持たせ、學問の方も同時に疎かにせず重要視してゐる。寄宿舎は二百人の生徒を入れ、全生徒の半分は家から通つて居る。總て軍隊式に生活させて居る。五時四十五分起床、九時四十五分消燈、軍隊ラツパと同じ様に行ふ。

運動の特殊種目として乗馬、フェンシング、拳闘を行ひ、上級になるとこれを義務として居る。又ダンスも習ふ、之れは團樂の夕に、或は社交的に必要だ。

他の中學との相違點は、普通四年で中學に行くと早く両親に別れ、家庭教育、經濟にうまくないが、此處は十二歳迄學校に入つて居られるので長く両親の許に居られる。六年で卒業したものを入學試験で採用し、五年間高等學校と同じ教育を受ける。卒業すると大學に入れる資格を有し、

實際にも行ける。主として農村地方の子供を教育し、經濟的の向上に伴つて如何に子供に高等教育を授けるかの研究となつてゐる。

社會的特色としては食事は全生徒一緒に、特別の催し物のあるときは増築中の勞働者と一緒に食事をする。

午後、畑、大工、鍛冶屋の様な仕事をする。

此の學校は四年前建てられたもので百人分の學校として建てられたものであつた爲、四百三十人となつた現今では増築に次ぐ増築である。

フェンシング、體操、拳闘、水泳等を實際に見せて呉れたが、體操丈は實に鮮かなものであつた。

又大學を終へたものが實際の仕事につく前に此處の學校に來て、八週間の訓練、講習を受ける。我々の行つた時は丁度第一回目の終つた切れ目で、大部分は仕事に行き、一部分の人は残つて居た。此の人達は政治世界觀の教育を受けるよりも、教育の研究をしてゐるのである。

寄宿舎も寢室に行つて見ると、生徒達が朝目を覺すと直ぐに國旗が見える様になつてゐる。生徒達は皆H J, J V,

B D Mにし屬教師も何れかの團體に屬してゐる。S AかH Jか、黨とかに屬して居て、制服はその所屬の制服を着て平服を着るものがなく、黨と密接な關係があり、外部に對しての表現がその制服である。

國家と黨とは纏つた一體であり、古くから黨に入つて居る人が青少年の將來を擔つて、將來の國家と個人とを融け合はすものである。故に國家とH Jとは結びついて一體をなして居る。寢室等で目を覺して國旗を見たとき、自ら國家を考へると云ふ教育法をとつてゐる。

スポーツの中の乗馬は、村の乗馬組合の便をかりて、青少年達にスポーツの一つとして行はせてゐる。實際に見せられて巧な手綱さばきに感心した。室内でも自由自在に馬を操つてゐた。教室も寄宿舎の部屋もきれいに整頓され、殊に衣服棚の整頓は實に鮮かであつた。總てのドイツの學校は廊下は暗いが教室は良く光りを取つて明るく作つてあつた。

晝食の時校長は我々に向つて次の様な話をした。

「學校としてはいつも喜び合ひ、又その喜びは小さい子

供達にも世界の動向を知らしめ、軍隊の立派な精神に生きることを目標としてゐる。而して我々の敵を認識させ、學者、軍人等凡ゆるものをして國家のために働かせる。

伯林、ローマ、東京は世界の樞軸であり、世界の共產化を打ち破ることを日本ではもう始めてゐる。ドイツも近い内に始めるであらう。

今我々と食事をしてゐる學校の建築を受持つて居る勞働者連も、曾てはモスコウの毒氣に觸れて苦しんだが、今は協同體の同志として眞に勞働の有難さを知つて働いて居る。

今日は日本のお客さんに對しても働いて居る人として、眞の赤裸々の姿で挨拶してゐるのだ」

雄辯家の校長は片腕の不自由な短い右手を振りながら、左手で机を打ちながら叫んだ。

ハ B D M 指導者學校

グラーツに行く途で女子青年の指導者學校を見學した。日課を挙げると

六時起床、朝食後國旗掲揚。

其の後十時迄半分體育を行ひ、一般體育の向上を計る。

此處に入つて来る人は勿論體育方面、運動競技方面に成績を上げ、その印を持った人が来るのではあるけれど、建物には小さな運動場がついて居り、夏は市のプール二つを利用して體育向上を計つてゐる。

實際的教育として、

一 歌の練習

二 手仕事

之等は正しい感情を學び、家、集會場をきれいにする。學科としては、

一 民族の歴史を學び、經濟學を學ぶ。

二 次に民族的風習、習慣、性質を調べる。

三 運動又はハイムアーベント、其他指導方法を如何に定むべきかを習ふ。

此處に來る指導者の中で十六、十七、十八歳位の人達は幼女隊(J.M.)の指導者で卅歳位の指導者迄來る。長くて三週間、短かくて二週間の講習を行ひ、月謝はとらず、夏は仕事があるので休みである。

此のシレチヤ地方では去年から始まつて千二百人の講習

を終つた。その期間中食費を拂へる人は拂ふ。又十人乃至

二十人を率ゆる指導者は土曜から日曜にかけて講習を行ひ、此處では百六十人から二百人位の指導者を養成する。

幼女隊の指導者は十六歳位で、B.D.M.の指導者は十八歳以上である。地下室には箱作りや、織物を作る手工藝の部屋がある。幼女隊の指導者には手工藝を多く習はせ、刺繍にてお伽噺の繪を縫はせたり、カーテン、テーブル掛け等を作らせる。紡績等も行ふが之等は比較的ドイツ婦人が針を持つたことのない人、料理の出來ない人が多く居たからである云ふ。

學校の先生は五人居り、經濟、會計、庶務、スポーツ等に分割せられると云ふ。教室等は割合にきれいだった。

ニ ドレスデン郊外のB.D.M.指導者學校

ドレスデンの東南部、四、五キロの丘の上であり、煉瓦造りの堂々たる建物だ。居間、食堂、洗濯場、着物入れ、靴磨き所等何れも立派な出來榮えである。此處は家事教育と一般教育とを教育する所で、二百人の指導者を養成する。

寄宿舎があり、一室二十人で八室ある。各室毎に班長が

居り、班長室は別にあつて、仲々完備してゐた。全員百六十人で寢臺と寢室も大變立派である。

家事科の方は一ヶ年で、一般講習の方は三週間位である。洗濯室には水切機、乾燥室等あり、乾燥したものは次の室に各自の名を書いた箱があつて、直ちに配られる様になつて居る。

其の他太陽燈室があり、弱い人、怪我をした者、病氣の人を入れ、ドクターは麓の町の人直ちに來て呉れる事になつてゐる。勿論應急處置の出來る人達ばかりであるから、自分達で救急法は施行すると云ふ。

學校の先生達は此の太陽燈室の機械を取り扱ふ事は出來るが、生徒には扱はせぬと云ふことだ。

ボイラー室は小さな船の機關部程もあつて、全部の室に暖かい蒸氣を送る装置になつてゐる。その蒸氣は料理、洗濯にも用ひられ、送る鐵管は行く場所によつて色別されてあつた。

各部屋等も非常に彩色に注意してあり殆んど綠色であつ

た。

緬羊、鶏等を飼つて居り、生徒の居らぬ時は留守番が飼育してゐる。

食堂に行つて見るとピカピカに磨かれた大きな釜が目をついた。衛生第一に心掛けてゐると云ふ。讀書室には三階の景色のよい室が充てゝあり、屋内體育場も完備し、冬は全く室内で行はなくてはならぬために光線の取り入れ方に苦心してゐる。床はリノリウム張りで一米の厚さがあり、まわりの窓は全部ガラス戸であつた。

家事學校で行ふ教育方法は三十人の入學を許し、或る者は手工を行ひ、或るものは講義を受け、或る者は炊事を習ふとか、種々に別けて教育をして居る。短期講習に來る人は講習中に部屋を裝飾してしまふ。

手工室に行つて見ても道具等も萬全の準備が整へられてあり、立派なものだった。

學校の先生のために特設せられた教室もあり、勉強、讀書、裁縫等に用ひられてゐる。

ホ 海洋青年團指導者學校

伯林より六〇キロ離れた亦松林の中に建てられた白亜館で、一方は川に面し、川は湖水に通じて邊りの風景等も非常にきれいだった。

此處では第一級から第三級迄あり、全國から少年達が休暇を貰つて集り、一回の講習は大體四週間である。今は夏休みのために四十人も集り、第一週目で初級は手旗を、第二級は行進を行つてゐた。

一級終る毎に外に出て、又次の上級に入つて来る。

繩結びの實習を見學したが、日本の少年團の結索法と同じであつた。

訓練を見てゐると、命令一下、二米もある塀に攀じ登り、平行棒を駆け渡り、鐵條網を潜る等、眞黒になつての猛訓練だ。射撃場もあり、五十米の射距離をもつ。可愛らしい銃で一生命狙つてゐる。

教室では海圖の見方、方向の見付け方、時計の読み方等をやつてゐたが、僕等が入つて行くと「ドタン」と足を踏みならし「ピタッ」と氣を付けをして迎へて呉れた。

記念室には黨のために犠牲になつたHJの名が刻まれて

川水を引き上げて畑にまくと自然に肥料が畑に浸み込んで行く。

寢室、食堂、居間も百姓向きで、實に簡單なもので、建物もボロであつたが、その中にも質實な生活振りがうかがはれるのであつた。新しく出來た牛小屋の方は、小便の流し方を考へて傾斜をつけ、食物も乳の具合で與へると云ふ。

此の學校は青少年指導廳に屬し、十四歳以上十八歳迄の者が入る。

現在は男二十人、女二十人居り、四週間乃至六週間の講習を受ける。講習を終つたものは大學生又は中學生が收穫の手傳に五人、十人とグループを作つて来るその人達の指導者となるのである。

學校の費用は、食料委員會の方で出し、今は未だこの學校は試験時代で一つしかない。

昨年出來た學校であり、我々の行つた時は生徒は皆各方面に働きに行つてゐた。指導者になる素質を持つた人が入學し、此處では政治的世界觀教育を施し、ナチス的な指導

あり、帆船の模型等があつた。洗面所も石造りできれいだった。小さいながら、衣服の給與場もある。寢室に行つて見ると戸棚にはいつでも鍵がかけられ、毛布等もきれいに整頓してあつた。指導者の寢室と病室は實にきれいだった。

入つたHJは四班に分かれ、一班毎に指導者がつき、當番は日誌をつける事になつてゐる。

行進等も歌に合せて、非常にうまく、手の振り方、揃へ方は勿論上手だった。

食事は全部一緒で、前には挨拶の如きものがあり、終ると感謝の歌を唄ふ。指導者は全員名譽職である。

へ 農村奉仕指導者學校

質素な建物が先づ目を惹いた。肥料置場もコンクリートの桶で、中には集めた小便が入つて居り、馬糞を集めてゐると云ふ。

牛、豚、鶏、蜂等が居り、豚は二十頭位居た。

飼料は町の残り物を喰はせる。牛も十何頭か居た。

野菜園に行つて見ると、トマト、花キャベツ等良く出來て居た。肥料は町の汚物が川の中に入つて来るので、その

者を作る。

先生は農業専門家であり、一方HJの指導者である。

女子の指導者一人の先生が居る。

給料は一日に二五ペニ貰ひ自分の需要に當てる。

眞黒になつて働く所に何とも云へぬ労働の神聖さが解され、ドイツが農村問題、食糧問題に對してどれ丈關心を持ち、又どれ丈重大視してゐるか、良く解るのである。

ト アドルフ・ヒットラー學校

國家的教育を施して大きな指導者を作り上げる學校で、黨のために働く人を作る。現今國家ではこの様な學校の建設を要望しその工事に取り掛つてゐる。

十二歳からの教育機關で、體格精神共に六ヶ年の教育で健全なものにし、社會的地位はなくとも將來指導者となり得ると保證された者を入れる。

卒業後は黨の仕事をするのであるが、その教育方針はその根本的問題として、思想的及び自ら自分の責任を感じ自己の責任を全うすると云ふ所に主眼點を置く。

將來三十三ヶ所設置する豫定であると(ゲビーツ)につ

位宛)。之等の指導者學校によつて解る如く、青少年の指導には、ナチスの國家は萬全を期し、素質のあるものをほとんど指導者に引き上げる美點を有つてゐる。

特に體育、音樂、手工藝、世界觀の教育に、重きを置き整備して居る指導者學校を、卓越せる手腕を持つ指導者のもとにH Jは續々と立派な社會人に仕上げられ、世界觀政治觀の認識を誤ることなく、或は又實社會の苦しい體驗を覚え、ナチス國家の隆昌を計つて居る。

母への教育には又力を傾注し、指導者學校を特設して、體育、手仕事、織物、音樂を習はせ、眞の主婦としての立派な女性を作り上げる事に努力してゐる。故にH J、B D Mは益々強力な肉體と、健全なる精神を養成し、ドイツを偉大なる國家に發達させてゆくであらう。

眞に次の時代を擔ふもの、それは若き潑刺たる青少年であると強く胸を打たれたのである。

◎勞働奉仕團の指導者たるの資格

勞働奉仕團(A D)の指導者學校は遂に見る事が出来なかつたが、その指導者の資格丈は聞いた爲め、何かの参考に

自分の職務を確實に守ることは必要であるけれども、規則に縛られて、個人個人の立派な芽を摘む様なことがあつてはならない。

四、人の模範たれ。

五、イ 人のために盡せ、報酬を考へて人のために盡すのは罪惡と考へよ。

ロ 功名心を以て指導するな
奉仕團員の尊い奉仕を踏臺にして出世しやう等と假にも思つてはならぬ。

六、實行の人たれ。
意志薄弱なるもの、單なるインテリ、物知り、空想家等は指導者の資格なし。

七、指導者たるものは、新しいドイツ(大戦後復興したドイツ)を良くみつめて新しいドイツの爲めに戦はんとするものでなければならぬ。意志鞏固にして、性格は眞直であり、何時でも實行にうつす準備を持つて居らねばならぬ。

なるかも知れないので此處に追記すると、

一、廣い知識を有する事

A Dの指導者となる者は何でも知らねばならない。間口を廣く、奥行を狭く知れ。

二、人格

A Dの指導者たらんものは勿論人格者でなければならぬ。そして下の者が思つて居る様な事を實行してやる事が大切である。

一九三三年七月、總統令が下されたがその中に、

『勞働者は資本家の能力を知り、資本家は勞働者の人格を認めよ』と云つてゐる。或は又一九三四年のナチス黨大會の時總統は『自らの仕事に勵む人にして始めて部下に忠實を強いる事が出来る』と云ひ『自ら服従出來ぬ者は、人に服従を教へる事が出来ない』、又『自ら同志的結合を破つたものはいつか人に同志的精神の結合を破られる』と、

故にA Dの指導者は立派な人格が要求せられてゐる。

三、悪い意味の官僚主義になるな。

八、經濟的に目算して指導者にならうとする者には其の資格がない。

故に國家では指導者の獻身的努力に對して成るべく指導者に家の方は心配させない様にしてゐる。

例を擧げて見れば、

イ アルバイトラーガー(A Dの宿舍)の近くに家を見つけてやる。

ロ 子供の教育は國家が世話をして充分なる教育を行ふ。ドイツのA Dが偉大なる成果を收め、その指導者に多くの立派な人格者を見出すのも以上の如き指導の自覺と、國家の彼等に對する絶大な援助との賜物である。

四 學校教育とH J

ワイマールのゲビーツフューラーにその片鱗ではあるが學校教育とH Jの關係について話を聞いた。

それによると學校とH Jとの關係は極めて圓滑に行はれ學校の責任を擔つてゐる學務部長がユーゲントハイムを作

つて呉れ、又校長先生も時々やつて来てユージェントに話を
して呉れる。一方學校に何等關係のないゲビーツフユーラ
ーも時々學校に行つて話をする等お互ひに非常に滑かにう
まく行つてゐる。ワイマールでは特に兩者の間に一人のH
Jの指導者を入れ、その關係を特に注目し、兩者の連絡を
巧に計つて居る。

その人はユージェントの指導者であり、又學務部長の秘書
でもある。指導者の中にも先生が多く居る。

「學校教育とHJの教育に相一致する點を見ないが、又
學校は知育に、HJは體育に、その教育の主眼點を置くの
か？」の質問に對し、「一概に學校は知育、HJは體育とし
てしまふ事は出来ないが、學校の主とする處は知育であら
うと思ふ。HJは學校以外の自由時間を利用して青少年の
精神的活動を計り、學校教育を補つてゐる。又自然的教育
を行つて體育を向上させる。云はゞHJは學校教育の補足
と云はるゝ可きであらう」とゲビーツフユーラーが答へた。
「然らばその補足である可き筈のHJの指導者學校から
多くの國の仕事に携はる人を出すのは如何？、將來その指

導者學校は、小學校と變るのではないか？」との質問に對

しては、「この問題については、變るとも、變らないとも云
へない。何故ならばコミンテルンの發動時代は青少年は、
學校を飛び出し、家を飛び出してヒットラー總統にすぎり
ついたのだ。そして新しい社會を作り上げやうとしたので
ある。ヒットラー總統も、將來のドイツは青少年によつて
擔はれるべきものだと思感し、青少年の教育を青少年の手
に委ねてゐた。そしてその成行きを靜觀して居るに、青少
年は實に青少年丈でうまくやつて來た。そこで總統は青少
年指導廳を設け、HJを本格的に組織化したのである。
又この社會教育機關を學校と同一視出来ないのは、現在
このHJは動きつゝある存在であるからであつて、學校と
HJとは同じ人物を他の方面から教育し、工場でも同じ人
を他の方面で用ひてゐる。故にHJは今迄學校と不可分離
的狀態でついて來た。

尙HJは青少年の心の中から生れて來るその力で發達し
て行くものであり、學校は上から作られたものである。故
にこの心の中から今後どんなものが創造され、如何なるも

のが作り出されるか豫想出来ない。そして將來は學校化す
るとも考へられない事もない。然し現在はHJの本部と文
部省の連絡は非常に良くとれてをり、オーバーゲビーツフ
ユーラーは文部省の書記である」と云ふ答であつた。

五 ナチス黨大會

1 黨大會開催の意義

ヴルヘン湖畔のウアフエルドにて九月二日より九月五日
迄、ニュルンベルグで開かれる黨大會に参加する爲め待機
中であつた我々は、或る晩我々の案内者レーデンベック大
佐より「どうしてドイツは毎年黨大會なるものを開催せね
ばならぬか」との開催の意義についての話を聞いた。

「一九一八年歐洲大戰に於て敗れたドイツ軍が軍隊や艦
隊を引き上げる頃には三十三も政黨が出來、三十三年迄の
國情は收拾つかざる状態であつた。

『其の後ヒットラー總統により一九三三年にやつと纏め
られたが、それ以前に於ては總統、若くは誰かゝ纏めて居つ
たならば、もつともつと大きな仕事をドイツ國ではしたで

あらう。然し残念にも其れ迄は大人物が出でず之等政黨も
全く英、米、佛等外國の玩具同様になつて居たのである。

『ヒットラー總統はそれを非常に憂慮し、且以前の如く政
黨が分裂してはとの危懼から毎年黨大會を開催するやうに
なつたのである。

『而して集つて來た各支部長、又は各代表に一定の目的を
與へ、來年の方針を定めさせる事により、常に活氣を吹き
込んで居るのである。

2 一九三八年の黨大會

今年の黨大會は「大ドイツ」と名付けられて居る。又今年
はHJに於ては「國際協調の年」である爲めに外國の青少
年團が多數參加した。

- | | | |
|-----|------|--------------|
| 第一、 | 一〇〇名 | 伊太利の青少年指導者 |
| 第二、 | 三〇名 | 日本の青少年指導者 |
| 第三、 | 三八名 | ルーマニヤの青少年指導者 |
| 第四、 | 一〇名 | スペインの青少年指導者 |
| 第五、 | 二〇名 | イラクの青少年指導者 |

第六、一〇名 スペインの女子指導者

一二名 ルーマニヤの女子指導者

二名 スエーデンの女子指導者

一名 フランスの女學生

第七、一二〇名 ドイツ國外居住者(男)

第八、四五名 バンゼーハルト

「水夫、機關夫、食堂のボーイ等航海方面のHJの指導者(十四歳—十九歳迄)

第九、八〇名 國外居住者の女子指導者

第十、四五名 昔のアフリカ殖民地の女子

外國の指導者中第一から第五迄はアンズバツハ村に泊る事になつてゐた。

我々もその中に入り此處からニュルンベルグに通つたが乗合バスが特別に一臺與へられ、その自動車は警察から許されたマークをつけて、何處にでも走れる様になつてゐた。普通の自動車は十キロ離れた地點で止められてしまふそうだ。

九月五日の朝早く、ウアフエルトの宿泊所を出發した我々はミュンヘンより汽車でアンズバツハ村に乗り込み二人位宛別れて、個人宅に泊つた。

3 黨大會を見學して

第一日 (九月六日)

この日は第一日なので張り切つて出掛けた。十時ニュルンベルグに着いた我々はドイツチア・ホーフ・ホテルのバルコニーの下に集つた。

道の兩側にひしひしと詰めかけた群集はSSの止めるのも聞かず、ワアツと雪崩を打つて前に押し寄せて來たのは壯觀だつた。近くの木に登るもの、屋根に上るもの、隣りのホテルのバルコニーからも、人の眼がのぞき、頭が動いてゐた。今日はヒットラー・マルシュ(行進)と云つて、各團體に屬してゐるHJの代表がバンの旗を持つて遠くは東プロシヤから、其他あらゆる所から行進して來る、その旗手を總統がバルコニーの上から視閲する日なのである。

十時半、突如待機中のバンの旗が行進を始めた。群集の顔が一瞬緊張したかと思ふと、右手をさつと上げて「ハイ

ル」「ハイル」と絶叫した。人々は夢中た。我等もさつと緊張した。始めて總統に見える事が出来るのだと思つた時の

私の嬉しさ、バルコニーに向つて注目した時、總統はニコニコと笑つて右手を舉げて答禮して呉れた。

總統の姿は一瞬間の中に消えてしまつたが、大きな鋭い眼に優しみのある上品な髭、高い鼻が今も眼にこびり付いて離れない。BDMの團員達はもう泣いてゐる。群衆もBDMもHJも感激の極に達して涙ぐんで居るのであらう。

「ハイル」「ハイル」の聲はいつまでも、いつまでも、嵐の如く、旋風の如く捲き起つて來る。

その中バンの旗は肅々と五〇〇本以上行進して來て、「頭右ツ」の號令で敬禮して行く。

若人の顔は總統に對する信頼と偉大なる榮譽の感謝に頬を紅潮させ、鍛へられた、たくましい腕にHJの旗をしつかと握り、潑刺たる堂々の行進を續けて行つた。

行列は僅かに卅分許りで終つたが、視謁の時は、黙つて第二國民の頼もしい行進を見てゐた群集は、又もや「ハイル」「ハイル」と絶叫し、ヒットラー總統がバルコニーから

消えてからも怒濤の如く續いてゐた。

今迄の旅行中で此の日ほど全團員が緊張した有様を見たことがなく、私達は物凄いヒットラー總統の人氣に只呆然としてしまつた。

午後ツエツペリン廣場の傍らに催されてゐたKDFの演技場を見に行つた。凡ゆる階級の労働者が集つて、會社で行つてゐる體操とか、民族的舞踊、スポーツ等を見てゐた。

女工さん達も「我々は労働者なり」と云はんばかりで少しの引け目も感ぜずに堂々と振舞つた。又其處には飲食店も、芝居小屋等もあつて、一大娛樂場となつてゐた。彼等は貧富、貴賤の別なく此處に集つて愉快なる日を送つて居た。そして此處にもドイツ民族協同體の雰圍氣が遺憾なく發揮せられてゐた。

第二日 (九月七日)

七時半ツエツペリン廣場に行つた。此の日は労働奉仕團の行進があつた。

熱心な群集は雨にも不拘續々と詰めかけて、忽ち廣いつ

エツペリオン廣場も人波に埋まつてしまつた。

十時、ヒットラー總統が自動車の上で手を舉げて入口に現はれると、どつと上る喊聲、ハイル、ハイルの聲は相變らず天にもとゞけ、地も裂けよとばかりに轟く。

其の後約一時間に涉つてA Dの分列行進があつた。五五〇人の隊が三つにも、四つにも別れ、先導する音楽隊の鮮かなリズムに乗つて、麥の穂にシャベルを配したA Dの旗を先頭に堂々と行進して行く。

指導者は先頭に立つて、ヒットラー總統の前行き人員の數を報告し、握手を求められる。

シャベルを擔つた若人が何萬となく感激の行進を續けるとき、群集は此の土の戰士のために萬雷の如き拍手を送り旗が前を通過するときは、直ちに起立して、右手を舉げて敬禮する。A Dの連中は足が地についてゐるのか、ゐないのか、飛んでゐる様にして歩調を良く合せて行進して行く。若さは漲り、元氣潑たる彼等は得意の絶頂にある如く、音楽に合はせ足も折れよと許りに行進する。その偉大なる迫力、物凄いままでに整備された訓練には「ドイツ恐る

可し」と思はずには居られなかつた。

行進が終ると廣場に整列し、靜かな哀調を含んだ音楽を奏して、黨の犠牲者を弔つた。

後ヒットラー總統に對して宣誓を捧げたA DはM A D（女子の勞働奉仕團）の入場を待ち、掲揚柱をM A Dが圓くとり圍んで一緒に國旗掲揚を行つた。

群集も全員起立して國歌「ドイツユランド」の合唱裡にスルスルと上つて行く。皆の眼はその國旗に惹きつけられる。

ヒットラー總統はこの國旗を創案する爲に非常に苦心したと云ふ。周圍の壁には數十條のハーケンクロイツがなびいて居た。民族協同體のドイツ將來の盛大なる發展を期する如くに、周りには風になびく數十の國旗あり、中には強力なA Dの集團を見るとき、群集は如何でかこのナチスの國の強さに打たれず居られやうか。

宣誓前後に於けるA Dの節度ある行動は、實に形式の國規律の國、ドイツのトップを行く模範的なものであつた。

ヒットラー總統は僅かに五分間、「余は汝等に感謝する」と云つた意味の演説をなしたのみ。A Dの指導者學校に入つてゐる者達は一歩前列を、雨に打たれ、半裸體の儘整列し、その筋肉の美を見せて居た。

ドイツ第一の人氣を集めてゐるA Dは永遠にドイツ國民のために土にまみれて奉仕するであらう。

第三日（九月八日）

今日はツエツペリオン廣場に行はれた體操大會を見學したが、その感想は前述したから重複を避けたい。

只一つ、此の日民族的舞踊をマステージの如くに變化して行つたB D M群はヒットラー總統を見て泣いてゐた。總統に見える幸福を此處に得た彼等は、偉大なる風采に接して、こらへてゐた涙が一度に溢れ出たのであらう。ヒットラー總統はドイツ國民にとつて、確かに偉大なる存在なのだ、と今更らの如くに痛感した。

第四日（九月九日）

此の日は晝間は休養し、夜は政治指導者の集りを見學に行つた。八時にツエツペリオン廣場に着いて見るともう十

萬人の指導者が集まり、周りの國旗も晝の如く照明され何百、何千と數知れず集まつた旗は壯觀と云はうか、華麗と云はうか、言語に絶する壯嚴な氣分を漂はせて居た。八時ヒットラー總統が到着するや否や、ツエツペリオン廣場を圍んで居た百數十の照明燈は一齊に空高く放光して、八千米の上空に四角を構成した。會場を集つた幾十萬の觀衆は、光の殿堂の中に、只呆然として廣場に集つてゐる政治指導者を見守つて居ただけだつた。

總統は「ハイル」「ハイル」の絶叫に迎へられて入場し太く張りのある聲で次の様な意味の演説を行つた。

『今迄ドイツを馬鹿にし、徹底的にやつけたと思つてゐた諸外國は今この強大なるドイツの姿を見て愕然とし且つ失望してゐるであらう。それはその筈だ。十數年前私がニュルンベルグの黨大會に來た時には、僅かに五千人のみであつたものが、今は斯くの如き偉大なる團結振りを示して居るからだ。今諸君は私を信頼し、私は諸君を信頼してゐる。故に諸君は私の中に諸君を見出し、私は諸君の中に私を見出し、我々は常に一身同體である。此の固き團結を

如何なる國と雖も打ち破ることは出来ない。最後に私は望む。諸君はこのニュルンベルグの固き團結を村、町に持ち歸りて、人々に云ひ傳へ、永久に保持されん事を」

十時廿分ヒットラー總統はSSに護られて歸つて行つた。その後姿を見送つた群集は今更の如く「ドイツは強くなつたのだ」と感激せざるを得なかつたであらう。

第五日 (九月十日)

HJの日

今日は我々にもヒットラー總統の視謁があることとて一層緊張して出掛けた。ツエツペリン廣場の裏の競技場に着いて見ると、集つたHJの大群はもう既に場内を埋めつくしてゐた。「ハイル」「ハイル」の聲で我等は場内に迎へられスポーツ場の一角に頑張つて時の來るのを待つてゐた。やがてシーラツハ指導統監が出て來て、

「私の同志よ」と呼びかければ、HJは「私の指導者よ」と呼び返した。

次に總統が出て來た。

「ジーク・ハイル」「ジーク・ハイル」の聲はいやが上にも場

内のHJを湧き立たせずには置かぬ。

直ちに旗の行進がある。音楽に合せてきれいな旗の行進は我等の眼を奪つてしまつた。行進が終るとシーラツハ統監は總統に向つて現在のHJの状態を告げ總統は満足げにうなづいた。

今年は眞中の廣場に舊オーストリアのHJが集まり、それを總統は一々見廻つて各團體の指導者の報告を聞いてゐた。舊オーストリアの若き二世は遂にドイツ國の二世世として登場したのである。

最後に總統は女子の十種競技の優勝者に對して一人一人親しく握手をした。彼女等は無上の光榮に只々感激して泣いてゐた。

愈々我々の前に歩を運ばれた總統はシーラツハ統監の説明にうなづかれ「ヤーパン」「ヤーパン」と連呼されながら微笑を以て、我等の目迎、目送裡に、前を通過され、團長及び參與と固い握手をされた。

全部視謁し終つたヒットラー總統は、最後に自動車で場内を一周した。實にその時の人氣たるや、實に筆舌にも盡

し難く、「ハイル」「ハイル」の聲は天地を壓し、ドイツ國將來を壽ぐ萬歳とも思はせた。

夜はHJのラーガーに招待せられて、シーラツハ統監、ルドルフ・ヘス幹事長に引見されるの光榮を有した。

簡単な腸詰とスープ丈の夕食であつたが、其の後シーラツハ長官は各團體を廻つて歌を聞いた。イラク、伊太利、日本と來られたので、我々は統監を眞中に圍んで、建國體操の前奏歌、日本青年の歌、愛國行進曲を唄ひ、ドイツで習ひ覺えたドイツのHJの歌を一つ唄つた。統監はにこにことして満足そうだつた。我々は天幕も吹き飛べと許り「シーラツハ統監萬歳」を叫んだ。統監はにっこりと笑つて立つて行つた。

歸りにもHJ達は我々にすがりついて離さず、三ヶ國中第一の人氣で、握手を求めて我々を歸さうとしなかつた。

ニュルンベルグの夜は明るく、天幕村のハーケンクロイツもその光に輝いて居た。

第六日 (九月十一日)

SS、SAの日

ツエツペリン廣場の傍の廣場に着いて見ると、もうSS、SAが整列して居つた。我等の入場と共に、總統の入場があり、何萬と集つた人、旗は一齊に歡呼を以て總統を迎へた。

今日は旗の行進と、ヒットラー總統の演説があつた丈で儀式的なものであつた。

第七日 (九月十二日)

軍隊の日

今日は最終日で、國防軍の演武を靜かに展望した。

午前中非公式の演習を見た爲めに總統の入場は見られなかつたが、フェダー海軍大將の軍隊檢閲があり、此處に大終幕の日は切つて落された。

空を仰げば、全廢を宣言せられた筈のドイツ空軍は、堂々たる編隊飛行に空を壓し、ロケット式飛行機の急角度上昇、高等飛行等の妙技が次から次へと展開し、觀衆は只啞然とせざるを得ない状態であつた。

次に行はれた高射砲隊と空軍の戦ひは、耳をもつんざく數十の高射砲も、疾風迅雷の近代新鋭飛行機にかゝつては

如何とも策を施す術もなく、まるで子供と大人の戦ひの観があつた。

防空は我々の義務にして、實に恐るべき敵は飛行機なりの感を深くした。

装甲自動車の演習、戦車隊の射合ひ、股々と場内にこだまする砲聲、蒙々と立つ砂ほこり、各隊の兵馬等の動きは場内何十萬の觀衆を魅了し去るに充分であつた。

最後の攻防戦の如きは、近代兵器の粹を集めた戦鬪とも云ふべく、戦車、自動車、飛行機、機關銃等、まるで實戦の如く勇敢であつた。

「ドイツは起ち上つた」、現在のドイツを見てかう云はぬ者は居ないであらう。

「事實は無言の雄辯なり」、確かにドイツは起ち上つてゐる。

歐洲大戰、それは自分の生れない以前であるが、私はその戦禍の如何に大であつたかはよく知つて居る。

世界大戰とはどんなものか。戦後のドイツは如何に、と幾度か考へた事である。

の熱から今日の新興國ドイツが出来たのだと思ふとき總統の偉大さを今更らの如く想起するのであつた。

日本に居て想つてゐた總統よりも以上に人望のある總統、肉食主義の獨身總統、上品な温顔、ドイツ國民の慈父の如き總統、自分の頭の中に何時までも何時までも偉大なるヒットラー總統の風貌が残つてゐる。

4 黨大會の追想

オーストリアを併合したドイツに對して各國はもう一言も云へない状態である。その強力なドイツは何のために毎年ナチスの黨大會を開催するのであらうか。

私は先づ一つは外國に對しての宣傳であらうと思ふ。

認められて居なかつたドイツは突如起ち上つた。諸外國の思ひがけない中に起つてしつまた。工場の煙突から蒙々と上る黒煙を英、米、佛國は何と見てゐたか。

自分達に支拂ふべき賠償金の代りの製品だと考へてほくそ笑んでゐたであらう。

然し期待は見事に外れた。軍備を擴張したドイツは、國內の充實を計つた。又民衆の心を統一した。不合理な條約

興味と憧憬の的であるドイツに幸にも派遣せられ、且つ年中行事の最大なものである黨大會に今こそ参加し得たのである。黨大會は確かに民族の心を一致させ、堅く結合するものである。

然し民衆の心を一致させた今日のナチス國家に於て、例年の如く、大金を用ひてナチスの黨大會を開くには、私にはもつと重大なる意味を含んで居るのではないかと考へる。

地上に投げ出されるもの、飛び下りるもの、砲兵掩護射撃の下に突撃する決死の形相物凄しい兵士の顔、顔、顔。兵力はなく、金もなく、手足を奪はれたドイツは今や立ち上つて突撃してゐるのだ。國の爲めに、民族の爲めに、雄々しく奮ひ立つてドイツ國防軍は刻一刻の休みもなく、堂々と大進軍をしてゐるのだ。

午後六時半、我々は三度ヒットラー總統に見えるの機会を得た。

我々は僅か廿秒か一分間位、このドイツ國の元首に見え温顔の中にも、幾多の鬪争を物語る、鋭い眼、あの口、彼

は次々と鮮かな外交政策に依つて破棄せられて行つた。そして終にナチスの國家を樹立した。

然しそのみに依つて世界の人々は眞にドイツ國は充實せりと信ずるかどうか。よつて充實せりと云ふことを國外に宣傳すると云ふ意味で、長年民衆の心を統一する爲めに開催して來た黨大會を續けて居るのではあるまいか。諸外國はこの黨大會を見て眞にドイツの充實を知り、諸外國に居るドイツ國民は一年一年と充實されて行く本國を見て、自ら復歸を叫ぶであらう。殖民地を奪つた諸外國は今更の如く、ドイツの國情を見て戦慄を覚える事は火を見るよりも明かだ、ヒットラー總統の強硬外交政策も、此の國內の充實と諸外國の弱腰とを洞察してのことである、と云つても過言ではあるまい。

今やニュルンベルグでは四〇萬人を容れる大スポーツ場の竣工を急いでゐる。ドイツの國民はこの殿堂の下でゲルマン民族の協同を叫び、ドイツの勢力と、偉大なる發展を自覺すると共に、永遠なるドイツの確立とドイツ國の完成に双手を擧げて参加するであらう。

今年の黨大會の名は「大ドイツ」と云ふのであるが、これは過去のドイツが幾多の變遷を経て、遂にナチス國家を樹立し、民族協同體のドイツに成し遂げたが爲にかう名付けたのであらう。

今日ナチスの政府に反對するものはない。

國民の絶對なる信頼の上に立つヒットラー總統は今や堂の陣を諸外國に張つて進軍してゐる。

ニールンベルグもナチスの宣布都と變り、此處、彼處には大建築を急いでゐる。

然しナチスは「大ドイツ」になつても民衆の心を把握する事は決して忘却しないであらう。A Fの中にK D Fの運動を設け、勞働大衆の福祉を計り、歡喜力行の魂を充分に發揮させて行く。

ナチス政府は今全ドイツ國民を何等かの形でナチス的な組織の中に包含しやうとしてゐる。A F（勞働戦線）の中に、突撃隊の中に、親衛隊の中にと、あらゆる努力を傾注してゐる。

今やドイツに於ては親衛隊或は勞働奉仕團に参加中病氣

になつた者或は犠牲になつたものを同志の力で救はうと云

ふ運動が一般に起り、H Jの中に於ても服を買へないものは、國家がそれを扶助し保護しやうとして居る。兎に角今までの弊害ある民主々義、共產主義に代る眞の國家主義、國民社會主義を斷行したドイツのナチス政策は民族協同體建設のため尙一層奮起を試みることは明かだ、民族協同體はナチス政策年來の希望であり、且つ我が國の家族制度が盛んに研究されやうとしてゐる處よりみても容易に想像せられるのである。

六 結 論

1 ドイツ魂

ドイツに僅か八十五日足を止めたに過ぎない私に、ドイツ魂とは何か、と問はれても説明の仕様もない。

或ひは又其れが何處に現はれて居たかも知る事が出来ない。然し今靜かに過去の淡い夢を追つて行く中に、何かしら「ドイツ魂はあれかな」と思はれるものがある。私はそれをおぼろ氣乍らも擷んで書いて見たいと思ふ。

或る時在留邦人から此んな事を聞いた。

「ドイツ人が一つの家を建てる時は、始め見積りして設計し、金額を大體定めてしまふ。さて建て始めると、豫算に入れなかつた立派な用材をどんどん作つて、凄ひ立派な建物に仕上げて行く。そして金が足りない所はどんどん人から借りるとか、それが大衆の家であつたなら寄附金を募るとかして思つたよりも立派な家を作つてしまふ」と。

或ひは又或る工場では、今年の儲けが少なかつたと云ふと、それでは研究が足りないのだと云つて研究所を二倍の大きさに擴張して大々的に研究を行ふと云ふ。

近くはヒンデンブルグ號の爆破事件がある。飛行船は最早空の使途に副はぬとして各國では匙を投げたが、ドイツでは「まだまだ」と云つて、今度はそうした場合に爆破しないガスを鋭意研究して、出來上り次第に第二ヒンデンブルグ號を作ると意氣込んでゐる。

「七轉び八起き」私は其處だと思ふ。不撓不屈、一度失敗しても「まだまだ」と起上り、何度叩きつけられても「ウーン」と押し返へす忍耐力、私は不撓不屈の魂、それこそ下

イツ魂と云ひたい。

歐洲大戰に於て叩きつけられたドイツは、手足を取られた達磨の如く、各國の壓力をうーんと押し返してしまつたのだ。

戰敗國ドイツの慘狀は誰しも耳を覆ひ眼をそむけた事であらう。七百五十萬人の失業者は路傍に溢れ、社會の風紀は紊亂し、當時の柏林の廢類的な空氣はバリー以上と云はれて居た。其の上多額の負債に苦しみ、國民は皆、愛國、救國を叫ばずして人を妬み、人を恨んでドイツ國の崩壊近しと思はせたのである。

然し偉大なる魂を持つゲルマン人は亡びる國民ではなかつた。一人の熱血漢ヒットラーの下に、彼等は偉大なる粘着力と何度叩き潰されても起き上るぞ、との不撓不屈の魂とを以て實に今日のドイツを構成したのである。

私が泊つて居た、アン斯巴ツハ村の主人は、朝晩三日もかかつて自分でラヂオを修理したのであるが、その忍耐力たるや恐る可きものがある。

又或る邦人は

「ドイツ人は非常に多額の税を納める。五十圓位月にとる人なれば十圓位は納めるであらう。彼等は税金をとられたとは云はない。納めるのだと云ふ。又その人が六十圓に昇給すれば餘計に税を拂ふ。澤山金を取る様になつたのだから多額の金を納めるのは當り前だ、と言つて居る」と云ふ。ADにしる、KDFの運動にしる、國の爲になる事は決して躊躇せず、その務を果す事が民族最高の名譽だと言つてゐる。

私達が或る時ADの開墾した畑を見て、此處は幾許の金がかゝつたかと聞いたら、

「我々はいくらかゝつたか知らない。いくらかゝつてもかまはないのだ。此の畑から何が取れるかが第一の問題で、其れが國家の爲、國民の爲になるのなら、如何なる多額の金額を要しても我々は喜んで其の金を調達するのだ」と答へた。

此の熱烈な、自己を離れて人の爲、世の爲、國の爲に盡くさんとする愛國心と、身は泥沼に落ちるとも或は斷崖よりつき落されるとも、「何糞」と起き上る偉大なるゲルマン

魂こそ私はドイツ魂であると名づけ度い。

2 ドイツ精神と日本精神

ドイツ精神と日本精神とは良く似て居ると、ドイツを旅行中私はしばしば聞かされた。駐獨大使大島中將は言はれる。

「獨逸に來て最も感じたのは精神力の旺盛なことである。新興ドイツは僅かに十六年で仕上つてしまつたのであるから、その精神たるや實に偉大なるものがある。その精神が日本精神と非常に良く似て居るのだ。凡そ一國が榮えんと欲すれば、必ず日本精神に類似したものが出來上らねばならぬ。故にドイツのその精神は日本の精神を眞似たのでなく、榮え行く、新興國として當然な一致を見たに過ぎないのである。然らば如何なる點に於て共通かと云へば、ヒットラー總統は、過去に於て

「歴史と傳統を重んぜよ」と云つて居るが實にこの點に於てである。ローマの文明、キリスト教は餘りに之を重んじなかつたのである。

祖先崇拜、敬老は我が國の美德である。

ヒットラー總統は今、祖先崇拜を奨めてゐるのだ。或は今迄の歴史(神聖ローマ帝國より)を始め、有史以前の歴史研究所を設けて、新歴史を作り出さんとして居るのだ。

「現在は大事でない、過去と未來が大切なのだ。現在は鎖の環である」とヒットラー總統は叫び、實例として系圖を大切にし系圖を調査してゲルマンの血を重んじてゐる。日本には此れ等は三千年來ある考へで、傳統の遺訓を子孫に受け繼いで居る。日本にも其の一例として或る程度迄の系圖は自分の家にある。

國の制度としてドイツは、「一つに團結した國民、一つの國家、一人の指導者」と云ふ標語を掲げ一貫した考へで守つて行かうとしてゐる。」と。

我々も地方を旅行中に、國民の熱狂的愛國心と、民族協同體に向つて進んで行くドイツ精神の中に、少なからず日本精神との類似點を見出したのである。

イ 道路、公園

我々がドイツを旅行中、毎日毎日愉快に旅行出來たのも一つは自動車専用道路の完備して居た賜と云つてもよ

い。兎に角ドイツは如何なる小村に行つても、小町に行つても舗装道路でない所はないと云つても過言でない程道路は完備せられてゐる。

その道は勞働奉仕によるものが多く且つ國內を縦横に走つてゐる自動車専用道路は殆ど、勞働奉仕團の活動によつて出來たと云はれて居る。

全く完備した自動車専用道路は我等に良き印象を與へたのであつた。又公園が非常に多く、一町村では必ず立派な公園を幾つか持つてゐるのである。勿論彼等の大部分がアパート住ひが多い故もあらうけれど。

公園等に行つて見ても非常にきれいだ。紙屑一つ散つて居らぬ。樹木の枝を折らぬ爲かうつそうとして茂つて居る。中に飼はれた動物等はドイツ人の口笛にちよこちよこ出て來て手の上で遊んでゐる。

街に行つても道路掃除人夫が多く居るのか非常にきれいだ。此の點になると日本はもつともつと考へる可きであらう。

ロ 社會教育機關

1 家庭の認識

ドイツの父母達は、自分の子供がHJに入つて居ることを非常に誇りにしてゐる。

「私の娘はBDMに入つてゐるのだ」とか

「私の子供は二人共HJに入つてゐるのだ」等とはアン
スバツハ村に泊つた時幾度か私は聞かされた。

處が日本の家庭では、

「お前は少年團に入つて何してゐるのだ、遊んで許り
ゐるのなら止めてしまへ」とか、

「青年團なんかに入つて家業を忘れて良いのか」等といふ家庭がある。此れ等は非常な誤りで、日本の青少年教育が盛んになつて行かないのも其の點にあるのではないだらうか。

2 體育

「外國人は大きいなあ」と日本人は何時でも感心する。然し自分の體格をより強化する事を忘れてゐる。確かにドイツ人は體格が良い。然し日本人だつて昔の五間柄の大槍をかついだ事もあるのではないか、あの大鎧を着て

駆け歩いた事もあるのだ。

然し今の體格から云つたなら確かに男も女も問題なく劣つて居ると云はざるを得ない。

深く考ふべき問題である。

3 奉仕の精神

ドイツでは民族に對する奉仕は「最高の名譽」とされてゐる。日本では前から奉仕の精神は強調せられて大分各個人で行はれて來たが、まだまだ個人の利益を計るものゝ方が多いと思はれる。

綜合運動場、公設のスポーツ場を作るにしても、計畫は良いが、金の問題になると仲々出して呉れない。然らば勞力を奉仕するかと云ふとそれもしない。

ドイツでは義務的に十八歳より二十五歳迄の間に半ヶ年の勞働奉仕を行ふ事になつては居るが、各人が非常に喜んで行つて居る。

私は此處に於ても日本の方が奉仕の念に乏しいと云はざるを得ないと思ふ。

ハ 音樂

日本の大通りを歩いてゐると、ラヂオはいつもがあがあ鳴り、商店からは音樂が聞えて來るけれど、ドイツに行くと全然聞かれなくなる。

大通りで聞えるものは、車馬の通行する音と人の足音のみである。

然らば音樂等はやらないのかと云ふと家の中で行つてゐる。

カフェーやレストランに行つて見ても、立派なブラバンドがありいつでも美しい音樂を聞かせて呉れる。又個人個人について云つてみても、ドイツ人は非常に音樂を愛好する。二人集まるともう歌を唄つてゐる。子供も大人も一緒になつて何處に行つても歌を聞かされた。處が日本は何うであらう。家で子供が歌を唄つて居ても「うるさい」「やかましい」と怒鳴られる。

音樂と云ふものは自分の心を和かにし、自分の氣持を心から吐露するに最も適した情操教育であらうと思ふ。

日本の子供達は徒らに流行歌を口誦さむが、ドイツの子供達は澤山あるドイツの國の歌を、何の心配もなしに

歌ひ續けて行く。國民歌の多い事と、頭の禿げたお爺さんから小さい子供に至る迄合唱することの出来るドイツの國は幸福だ。

ニ 規律、整頓

外觀丈の規律を云ふならば、到底日本はドイツに較べる事が出来ない程下手だ。然しその内にこもつた精神から云ふならば、日本の方も決して劣つてゐないと思ふ。

次に整頓の問題であるが、工場内でも自宅内でも非常に綺麗できちんきちんと始末をしてゐる。ドイツに行く時或る人より、

「ドイツに長く行つて來ると、非常に整頓好きになるぞうだ」と云はれた事がある。

日本の工場や家屋の不整頓振りは公知の事實だ。精神丈良くとも駄目だ。凡ゆる方面に於て、ドイツより勝らんとするならば、現在よりも尙一層すべての方面に奮闘せねばなるまい。

3 識者に告ぐ

私はドイツに行つて日本の長所の多々ある事に氣付いた

と同時に、ドイツにも學ぶべきものが多ある事に気付いたのである。

私の最も大切な任務の一つであつた青少年交遊は今後も益々行はれる事であらうが、日本の青少年教育に、何故世人はもつと注目して呉れないのであらうか。今後世の識者諸氏の青少年教育に絶大なる關心を持たれる事を切望し、併せて熱烈なる御後援を希ふものである。青少年教育の必要なることは今更言を俟たない。

私は此處に理想とする將來の日本青少年教育なるものを記して、世人の注意を喚起し様とするものである。

現在世界各國は競ふて青少年教育に力を傾注し、その發展に絶大なる期待をかけてゐる。

即ち獨逸にはヒットラー・ユーンゲントがあり、伊太利にはパリラ少年團があり、英國にはボーイスカウトがあり、小國チエツコにもソコール運動がある等、各國とも異常なる關心を持つて自國の青少年教育の完璧を期して居る。

今世界の強國は自國の強化、殖民地獲得に所謂持てる國を巡つて幾多の争闘が繰り擧げられて居る。故に諸國は第

二の國民を養成し、自國の強化につとめ 現世の歴史をより良く光輝あらしめんとして居るのももつともな事で、日本現代の青少年教育の缺陷を、此の發展期に於て矯正しなかつたならば、時期を失するの感があると私は痛切に感じた次第である。

日本青少年の意氣たるや、明治維新に於て、天を衝くの概あり、決して諸外國の青少年に劣るものではない。

私は此處に日本青少年の缺陷を赤裸々に批瀝し、明治維新前後に於ける青少年の意氣を現代に於て再現せられん事を切に希望する次第である。

1 體位向上

私がドイツに行つて一番最初に氣づいた事は前述の通り日本青少年の體格の貧弱だと言ふことである。

精神力、智能力に於て或は優る所ありと雖も、その體格を比較する時、著しい差があることは否めない。

ドイツ人は身長も大きく、肩巾も廣くがつしりして頑健そのものである。

勿論世界一を誇るドイツに行つた爲に、より以上外國

人の體位の立派さが見えたのであらうけれども。

女子の體格の劣等な事に於ては、英佛伊と比較してさへ雲泥の相違で悲觀すべき状態にある。

然らば此の體位低下の原因は何處にあるのであらうか。

イ 小學生の運動時間の不足

日本の小學校に於ける授業時間は五時間もあり、掃除をして歸つて來るともう夕食で殆ど遊ぶ暇がない。

又たまたま早く歸つて來ても、遊ぼうとすれば豫習復習があつて運動する時間は實に少ない。

まして中學に入る者等は試験問題が難かしく、豫習等があり、智識を充分に涵養しようとするとならば運動時間はなくなつてしまふ。故に體格のよい子供の大部分は、成績中以下の者が多いと云はれて居る。

又種々の體育設備も田舎等には完備せず、校外の運動場を持たぬ田舎の小學校も澤山ある。小學校で行ふ一週間三時間位の體操ではとても足りない。其の上話に聞くと難かしい都下の中學校に進む小學校生徒には

その少ない體操時間すら、専門の學科に注入してしまふと云ふ。事ここに至つては實に寒心に堪えざるものがある。

學校で體操時間が少ないならば、家庭に於て運動を充分に行はせる必要がある。ラヂオ體操を毎朝行ふのもその一つであらうし、家の廻りを駆け廻るのも良いと思ふ。現在のドイツでは小學校を半日にして少年の體位向上に不斷の努力を拂ひつゝある。私は其れ等によりても小學生の體操時間の問題は考慮さるべきであると思ふ。

ロ 無駄食ひの排除

日本の母は一般に子供に對して甘い。故に尋常二年三年位迄は朝は目覺しの菓子と與へ又一日に定まつた小遣ひを與へる等を習慣としてしまふ家が少なくない。その結果は腹は害ひ、少年時代よりすでに齒を失つてしまふのである。

間食は實に悪いと思ふ。米飯さへ仲々胃腸でこなせないのに菓子等を食べて小さい中から齒を痛め、胃腸

を害ふといふ事は將來良き體格の素質を有するものすら悪くしてしまふのではあるまいか。又十二歳頃から十八九歳迄は、血氣にはやり人におだてられて、暴飲暴食を敢へてし、すでに慢性胃腸病患者となるが如きは決してなす可き事ではないと思ふ。

ハ 良き校外指導者の不足

子供達が學校から歸り、さて運動をやらうとしても日本では學校の先生以外に良き指導者が居らぬ。故に男の子供等は、野球の流行時代には野球を行ひ、テニスの流行時代にはテニスを行ふ等、流行にのつた運動しかやれない。故に局部的發達はあるかも知れないが全體的に言へば無いに等しい。

體育向上を局部的でなく、全體的發達を齎す爲には何うしても校外の良き指導者の出現を待ち、體格を或る一定標準に發達させる必要が多分にあると思ふ。それを行ふには各團體所屬の指導者が、子供を集めて良く指導してやると云ふのが一番理想的であるが、現在の日本に於ては、青少年團體の指導者は殆んど名譽職

の人達で、その爲に暇もなく、又その指導者も體操學校等を出たものが非常に少く、此の様な企ては不可能である。此の點に於ても一考を要すべきである。

ニ 一般大衆の體育觀不足

我々の父母は我々の成長を見、或は子供の着物の小さくなつた事等を見て非常に體格が良くなつたと喜んで居る。

又近所の子供等の身長が年々大きくなつて行くのを喜んで見てゐる丈で日本人の體格が年々低下し、世界民族に比して大なる差がある事等は夢にだに想つて居ない。

此の父母達は自分自身が小學校に於て體操をやつて居らず、家に歸つて來ても家の手傳ひ計りをしてそれが最大の親孝行であると思つて居た爲に、子供が運動しなくとも一向平氣だ。

子供に無理矢理運動を強ひるのは非常に身體に毒ではあるが年齢に適した充分の運動は與へたいものだ。それにはやはり一般の人が日本の子供の體位、世界の

子供の體位等を良く認識して成長時に「層氣を配らねばならない。

「うちはお父さんもお母さんも小さいから」等と云つて子供の體格の貧弱さを認めて居る様では駄目だ。良く世界に眼を睜いて諸國の状態を注視し、凡ゆる犠牲を拂つても青少年の體位は向上させねばならぬ。

これは一部の者が騒いでも駄目で社會一般の人に體格の重大さが認識されて來ない中は我國の體位向上は決して望まれるものではない。

ホ 一般社會人の體育

我が國に於ては近來、陸軍が壯丁の體格検査の結果その低下を發表して以來、國民の體力向上問題は一般民衆の異常なる關心を喚び起し、都市民、學校卒業者の體力低下については何れも重大問題として善處策を講じられ、衛生、體育の設備も一段と優れて來たのである。

だがその一面には之と反對な傾向を餘儀なくされて居るものもある。其の一つに工場労働者が居る。工場

労働者は日支事變の爲に軍事工業が盛んになり勤務時間は段々と延長せられて來た。かゝる場合に於ては労働者の休養時間を充分考慮に入れなければならない。休養には肉體的と精神的があり、充分なる睡眠は最も重要視せらるゝも、スポーツに親しむとか、音楽を樂しむとか等の精神的休養も閑却する事の出来ない問題で、此れ等は娛樂として精神的休養を與へて呉れる事になる。

吾々は自分の體格を顧て疲勞の多い時には休養し、自分の身體に問ひ合せて労働し、いつも健全なる國民となつて居なければならぬ。

工場生活をしてゐると何時の間にか身體がぎこちなく固つてしまふものだ。それを矯正するには常に軽い體操を必要とする。作業を行ふ時、作業體操を行ひ朝は少し早目に起きてラヂオ體操を子供と一緒に居るはその方法として最も良策ではあるまいか。

體育運動を中心とした健康生活の要素は凡ゆる一般人に對して同一であり、年齢、職業等によつて區別せ

られる可きでない。

我々の健康が國家社會に何れ程關係するかと云ふ事を一般人に認識させ、加ふるに各自治體に一つ位の體育館の新設を見、運動場も諸々に開放せられたら國民の體位向上は只時日の問題であると思ふ。然し個人がその設備はなくとも日々の生活に體育を織り込む可く決心すれば、容易に體育の向上は計れるであらう事を確信する次第である。

2 青少年團の統一問題

我が國現在の青少年團體は支離分裂してゐる。青年團あり、少年團あり、その少年團の中にも、大日本少年團聯盟あり、帝國少年團協會、赤十字少年團、飛行少年團、騎道少年團等種々雑多である。

その各團體の連絡等は望むべくもなく歩調もまちまちで國家的に見て決して整備されて居るとは云へない。更に悪い事はそれ等青少年團に入ることを嫌ふ父兄が居ると云ふことである。その原因の一つとして世の一般人の青少年團體に對する認識不足もある事ながら、眞に

信賴の出来る立派な青少年團體が現在の日本に存しないと云ふことがあると思ふ。

私は未だ日本の青少年團體が社會一般の人から認められて居ないのは、認められる可き優秀な青少年教育の徹底した社會團體が日本に現存しないと云ふ點に大なる原因があるのではないかと思はれる。

私は日本の青少年團體が此の儘進んで行つたならば、必ずや各團體は將來に於て凡ゆる方面に行き詰りを生ずるであらう事を堅く信ずるものである。

私は諸外國の青少年運動の寄せ集めの青少年團體でなく諸外國の青少年運動を參考とした日本の獨創的な眞の武士道精神を基とした、眞に國家的なそして又整備せられた青少年團體の確立を切望する次第である。

それが爲には青少年運動を統一して國家の機關としてさへよと思つてゐる。實に青少年運動の整備こそ新興日本の焦眉の急務であらねばならない。

3 女子社會教育機關問題と母への教育

古代より我が國に於ては年頃の娘を「箱入り娘」等と

云つて家にとじこめ、優しい娘にしようとしてゐる。然し現代に於ては女と雖も國防の第一線に立つ位の氣魄がなくてはならぬ。

我が國の現況を見れば「箱入り娘」等は見當らなくなつては居るものゝ、體育について云ふならば外國の女性の體格とは全然問題にならぬ程小さく貧弱である。

現在我が國に於て學校を卒業した女性に對して如何なる社會教育團體があるか。

地方地方には女子青少年團あり、處女會あり、少年團の一部には少女隊等の社會教育團體が存在はして居るがその實績の問題を検討して見るならば決して成功はして居ない。

少年團の少女隊にしても、發展途上に於てすでに多少の行き詰りを感じてゐるのではないだらうかと思はれる。又日本に於ては大團體に號令して體操等を指導する女子の指導者が居らず、學校の先生以外には女子社會教育團體の指導者すら容易に見當らない現狀は遺憾に堪へない次第である。

女子の社會教育團體の確立と中堅指導者の養成とは、

男子と相俟つて目下我が國に於ける必要事項となつて來た。「女子の教育は女子の手で」とドイツで盛んに叫ばれてゐる事は前述の通りであるが、我が國の現在に於ても輕快なる運動を行つて體力の増進も計り、母への世界觀教育を行ふことが必要であらう。更に又自國の誤らぬ認識も必要であらう。井戸端會議をして誤つた社會問題、三面記事等を論じてゐる日本の女性はたしかに世界のどの女性よりも遅れてゐる。

尙、日本の女性は女學校に於ては體操時間を忌避し、家庭にあつては體育の強化に努むる事を知らず、學校で健康教育を教はり乍らそれを活用するものがない事等を考へると残念でたまらない。

特に女性が世界の文化國の諸制度を誤解して、人生の前途に希望をもたぬ享樂主義へ進みつゝある傾向を多く認められる事は非常に嘆かましい限りである。

享樂を主とする生活は何時か亡びるものである。質素の中に堅實さを持ち、廣い智識の中に確實な世界觀、人

生觀を持ち、我が國を充分に理解すると共に偉大なる體力の發展を全日本の女性が心がけると云ふことはどんなに望ましい事か。

其れには立派な女子指導者の出現と學校外の女子の社會教育團體の確立が一番必要であると思ふ。

今や我が國は大陸政策の第一步を印し、東亞の建設に努力してゐる。今我が國が眞に要求してゐるのは健全なる第二國民、即ち青少年少女である。

その第二の立派な國民を作らんとするには先づ良き母への教育に俟つ事非常に大なるものがある。

世界の危機は何時訪れんとも知れず、諸外國は自國の強化に驀進してゐる此の時に當つて、我が日本も男も女も立派な體格と精神力とを持ち、大進軍を起してゐる世界諸國の追隨も許さぬ國と仕上げねばならない。

私は近き將來の日本に青少年の社會團體の改善と女子教育の徹底、一般國民の體育向上問題等が、必ず重大なる社會問題として登場して來る事を信じて居る。又一日も早くさうありたいものだ。

4 服従の精神と忍耐

HJの訓練を見て居ると實に良く指導者に信頼し手足の如く活動してゐる。何と云はれても逆はない。指導者に絶対の信頼を置き生命をも委ねて居るが如き觀があつた。

ドイツ一般の人にもその氣風は見受けられ、ヒットラーの爲なら一命を捧けても良いと云ふ氣概は旅行中にもしばしば見受けられた事である。小さいユングフオルクが空中轉回等を行ふ時は指導者に絶対の信頼をかけてゐる。立派な訓練と立派な統制とは指導者に對する信頼と服従の精神から來てゐる事は明かな事實である。

指導者に服従し絶対の信頼を寄せると云ふ事は我が國の青少年團の指導精神の中にも夙に織り込まれて居るところであるが、我等はそれを實行して來たであらうか。ドイツ國內を旅行して一回でもHJが指導者の悪口を言つたのを聞いた事がなかつた。私は團體的訓練を行ふ以上此の服従の精神は最も必要なものだと思ふ。

團體生活に於て指導者に信頼せず、指導者に服従しな

かつたならばその團體生活は破滅に陥る事は當然で、團體生活を行ふ以上此の一事は最も大切なものである。

然し盲目的に服従する必要は勿論ない。又悪い指導者には信頼出來ないのが當然だ。けれども指導者になる以上何所かに長所を持つて居る事は私は信ずる。我々はその長所に注目し、未完成の自分を一步一步完成の域に近付けて立派な社會人とならねばならぬ。悪い箇所ばかりあばき立てて自分の短所を棚に擧げて置く等は賢明なる現代の青少年のなす可き事ではない。

次に私は忍耐の必要性を痛感した。私は摺鉢の底の様な山國に生を享け、雄大なる山氣に觸れては居るが實に短氣である。私のみでなく又日本人一般を観察して見ても外人に比して決して氣が長いとは云へない。

私は未來の戦争は必ずや科學戰であり、長期戰であらうと思ふ。忍耐心の乏しい國民は初めは熱狂的に戦ふも後期に於ては必ず熱がさめて敗れてしまふ。

一般的に言つて外人は非常に忍耐強い。ドイツが立ち上つたのも、ヒットラー總統の卓見の素晴らしさにも寄

る事大であるが、國民が不撓不屈の努力で凡ゆる迫害にも打ち勝ち、遂に一等國ドイツにしてしまつた忍耐力の強さである。

人は一生かかつて自己を完成させることが任務であるつまらない小競合から腹を立てて大事な事を仕損じ、又一大事件をひき起す事も少くない。昔より偉人と云はれた人は皆忍耐心の強い、所謂腹の据つた人であつた。私達は青少年に忍耐心を養成させ、全國民に不撓不屈の精神力を旺盛にし、つまらぬ事に争はず關らず確固たる土臺のもとに自己完成に邁進し、小は自己の爲ひいては國家のために大いに貢獻せねばならぬ。

「ならぬ堪忍、するが堪忍」人間は威張る必要は少しもない。遠き人生に一步一步完全に足を踏みしめて行く人こそ眞の成功者と云へるのである。

國外多事多難の折から、小さい競合から喧嘩になり、お互の氣持を損する事等は我等のすべき事でなく、しつかりした腹を練る事は矢張り必要な事だと思ふ。

「青少年よ、須らく自重せよ」

5 滅死奉公の實を擧げよ

獨逸に於ては近頃「公益は私益に先んず」等と云つて社會奉仕の精神に非常に力を入れて居る。

我が國民には古來より「滅死奉公」と云ふ立派な奉仕の精神を持つて居る。個人と個人との場合に於ける我が國民はたしかに人情味のおふれた人となりを持つてゐると思ふ。然しそれが公益が私益に先するが如き事になると良い事とは解つて居り乍ら大抵の人は出し惜しみをする嫌ひがある。例へば公設の運動場を作らうとか、社會團體の施設の一つである集會場を作らう等と云つても仲々出資する人が少ないのはその好例である。

それ許りでなく川に汚物を投げ入れて溝浚ひをせず、共同便所には落書をし、人の造つて呉れた公衆會場の器物は大切にしない。又公園や運動場には紙を散らし、汽車電車の中を汚すなどの事は日本人は平氣である。

日本の青少年の中にも自分さへ良ければ人はかまはぬと云つた行爲をするものが非常に多い。殊に學生の修學旅行の亂暴さを自慢話にするが如きは以ての外である。

して現代の青少年は大人の眞似をして、私益を公益に先する傾向が非常に多くなつた事を吾人は認識せねばならぬ。

故に此等の弊害をなくして、眞に滅死奉公の實を擧げ青少年の中から、子供の中から此の精神を根本から涵養させて行く事に努力せねばならぬ。

「公益は私益に先ず」等と云ふ事は、我が國古來よりの「滅死奉公」の精神に比すべくもなく、我等は此の立派な精神を祖先から受け繼いで居るのであるからよろしく實行し、以て眞に明るい日本とせねばならぬ。

人の高位を妬み、環境の良き友を羨み世を偏見してはならない。

私は將來の青少年教育の目標として「滅死奉公」の實を擧げる事が非常に重大な意義を持つものと信するのである。

大島駐獨大使は何時か我々に、

「日本は今三千年の尊い歴史を持つて居るが、古い國柄故建國の大精神に曇が掛つてゐる」といはれた。

人前では非常に人情あり思ひやりがあり、公益は私益に先んじ、又先輩とか偉人に對する尊敬の態度は實に立派なものがあるが如き言を吐くけれども、それが自分一人になつた時果して實行されて居るだらうか。

私はドイツを旅行中一回も通行人が紙を散らした事を見た事がない。

近來我が國に於ても青少年團體の道路補修の實踐や大災害に對する奉仕等、奉仕精神の躍如たる活動が開始され實に喜ばしい現象を生じてゐる。我々は何時も此の氣持を忘れずに行動したいと思つてゐる。それにはその根本たる青少年の氣持に此の精神を充分浸み込ませ、やがて社會人となつた時、其れを實踐して貰ひ度いと思ふのである。

又登山者、ハイカー等が高山植物を採取し樹木を害し山の美觀を損する等は許すべからざる行爲で、「一つ位は」と云ふ人が多くなればなる程、社會の公益物はこわされてしまふのである。現在中堅層の社會人の公益に對する關心の不足から青少年教育は非常にやりづらい。そ

これを凡ゆる方面から觀察し検討し以て此れを取り除く事は我等青少年の大切な任務の一つである。

6 井の中の蛙となるな

今や歐洲の諸國は互に勢力を争ひ、虎視眈々として一歩つまつても戦争と云ふ一瞬の隙も油断も出来ない状態にある。

ドイツはどん底より熱血漢ヒットラー總統を擁して立ち上つた。伊太利は鐵血宰相ムッソリーニ氏の命令一下古代ローマ帝國を再現せんものと勢力を伸しつつかある。

其の他老ひたりと雖も大英帝國あり、佛あり、赤魔ソビエイト聯邦がある。

海の彼方には米國あり。今や世界は雨か、風か、暴風の寸前にも比すべき重大時期に遭遇してゐる。

世界は將に大進軍を起して居る。軍備に科學に、文化に、政治に、思想に、經濟に一刻たりとも止つては居ないのだ。故に我等は一瞬たりとも安心は出来ない。

何處迄行つても止まる事を知らぬ世界の狀態を我等は絶えず非常な關心を以て見守らねばならぬ。

若しも吾人が日本は世界の一等國だ、日本は決して外國に劣る所はないのだ、と自惚れ安心したならば、それこそ一大痛撃をうけるに相違ない。日本を知らぬ國はあ
るまい等と偉張つてはならぬ。第一等國になつたとは云
へ未だ未だ日本は世界各國人から認められてはゐないの
だ。獨、伊、英、佛を廻つて我等が支那人と間違へられ
た事は幾度あつたらうか。我等の顔を見て胸の日の丸を
見て「シネーゼ(支那人)」と呼んだのも決して少くない。

ドイツ、伊太利では防共協定を結んで居る關係上、殆
んど大部分の人々が日本人と認めて呉れたが、それでも
時々「支那、支那」と云はれ、まして英、佛に行つた時は
上陸から出帆までに幾度、「ジャボン(佛語)ジャバン(英
語)」と正確に呼ばれたか。その數は少い。特別の任務に
與つてゐる以外の一般人は皆「支那人」と呼んでゐる。

此處に於て私は、我々日本人はもつと、もつと海外に
發展せねばならぬと思ふ。

古來より島國根性が強く、山國根性が身に浸みて了つ
てゐる我等は、海外飛躍の志が著しく乏しいのだ。これ
の人口の平均を計れば、それに伴ふ經濟的環境に恵まれ
て、國內の青少年運動の統制ある發展は容易に遂げ得ら
るゝであらう。

日本は古來諸國より一段と優れた寶玉を有つてゐる。
それは日本精神であり、我が三千年の萬古無比の國體で
ある。

我等はその寶玉を、黙つてゐても諸外國では認めて呉
れるものと思つて居た。又必ず中にある寶玉はいつかは
光り輝くであらうと思つてゐた。尙日本は明治維新以後
長足の進歩を遂げ、現在に於ては世界の誰もが、強國日
本を認めて呉れて居るであらうと自負してゐた。そして
又日本は世界の五大強國の一なのだといそかに誇つて居
た。然し我等の期待は眞向から裏切られてしまつた。

世界觀教育を青少年の指導方針の眼目としてゐるドイ
ツ國民の中にさへ「支那人」と呼ぶものがあるのだ。爾
來諸外國は競ふて自國の宣傳に努めてゐる。我々のドイ
ツ旅行中、道路の説明中、女學校の案内を幾度か聞かせ
られた。その宣傳法たるや實に徹底したものであつた。

は一大缺點で、日本が外國に比して自國宣傳を餘りにも
しないと同様、一大認識不足であると思ふ。

海の彼方にはあの廣漠はてしなき大滿洲がある。北支
那、滿蒙の今後の發展には我等青少年の力に與る事頗る
大なるものがある事は今更ら愚言を弄することを要しな
いところである。

我々が此の大陸開發の任務を怠つたならばいかでか滿
洲、支那兩事變に於ける幾多の忠靈に對して申譯が立つ
べきか。

私は現今日本の重大なる政策は大陸政策にあることを
痛感してゐる。一大決意を以て滿支開發に乗り出す青少
年ならば、年々過剩人口となつて行く我國にとつて大い
に禮讚すべき現象ではなからうか。その意味に於て、茨
城縣の内原道場の如き道場が澤山作られ、進取の氣象に
富んだ若人が滿蒙の天地に雄飛することを切望するの
である。

滿蒙に眞の日本人の自覺を以て進出し「八紘一宇」の
皇道を世界に宣揚して、東洋の平和を確立し併せて國內

私は或る程度の宣傳も必要ではないかと思ふ。自國を充
分認識して貰ひ、然る後に批評して貰ふのも必要だ。

又或る在獨邦人は何時か私に、

「外國を見て、或はドイツを見て、最早日本は凡ゆる
ものに於て外國に追ひ付いた。最早や何の見劣りもしな
い等と云つて日本に歸る人があるけれどもその人は只外
國の表面文けを見て行つた人である。例をドイツにとつ
て云ふならば、化學にしろ、精密機械にしろ深くその道
に入つて研究すると、數段ドイツは日本より優つてゐ
る。一部のなものに於て日本は追付き、又は優れてはゐ
るものゝ、その全般の狀態から検討して見ると決して日
本は諸外國の文化より進んで居ると云ふことは出來な
い」と語つてゐた。

我々は決して自惚れてはいけない。自國を評價し過ぎ
てはならぬ。我々はよく外國を見聞し、正確に外國を批
評し、注視すべきである

日本を訪れる外人達は皆親日家だ。一部に危険人物は
居るにしても、佛人であらうと、英人であらうと、大親

日家のみが來訪するのだ。それ故私は尙一層外人に親切な態度で接し、日本の持つてゐる道德の美しさを彼等に良く理解して貰ふと共に彼等に旅行の良き印象と、歡びとを與へねばならぬ。それが間接的に日本國を愛する心の現れとなり、伸び行く日本の宣傳ともなつて我が國を理解しやうと努める外人に影響することは決して少くないと信ずる。

外國を廻り歩いて、日本の正義を認識して居らぬ外國人は相當多く、日支事變を批評して「日本は侵略國だ」と云つた外人が少くない。

こゝに於て私は青少年教育の中に、世界觀的、政治觀的教育を織り込むの必要性を痛感した。偏見的な島國根性、山國根性は捨て、大廣原滿蒙、北支那の野に、青少年の大陸發展を切に望むと共に、島國日本は大陸日本に變りつゝある現状を喜びたい。

我々は眼を大洋の彼方に轉じ、一大進軍を起しつゝある外國を忘れずに、正確なる世界觀と自國認識とを以て自國を評價し過ぎず、井の中の蛙とならぬやう、孜孜營

々として自己の尊い職務に勵み、益々大日本帝國を光輝ある國となし、世界に御稜威を宣揚する事が次の時代を背負ふ我等青少年の重大な責任であり一大任務であると私は信ずる次第である。

世の識者諸氏、前述の如く私はドイツ青少年運動の實際を見て日本の現在の青少年教育とを比較し、日本青少年の缺點の多多あることを感じた。

私は世の識者諸氏がこの日本青少年教育に注目せられ、青少年教育に絶大な後援を與へられんことを切望してやまない。

指導者も、青少年も共に歡ひ、共に遊ぶことが出來たなら、どんなに青少年達は喜ぶであらう。

次の時代を背負ふ青少年は實に國の寶である。

4 起て皇國の健兒

私はドイツより歸つて一番強く感じた事は、青少年の元氣がないと云ふ事である。

ドイツの青少年に較べるとお話にならぬ程意氣消沈して居る。

三千年の尊い歴史を持つ燦たる皇國の健兒諸君！

君達は現在の青少年團を何と感じてゐるか。

私は思ふ。

「日本の青少年達は眠つて居る。眠れる獅子だ」と。

起きろ、日本の健兒諸君よ。

起て、皇國の健兒よ。

君達は尊い此の日本を背負ひ立つ可き、次代の國民ではないか。

諸君等は現在の青少年教育で満足してゐるのか。

指導者に熱がなかつたら自分が代つてやれ、指導者が居

らなかつたら自分で行へ。

總て大事業は若い青少年の心の中から迸り出るその意氣

と力とに依つて成し遂げられるのだ。

あの明治維新の大事業も僅かに二十代の青年の手に依つて成された偉大なる事業ではないか。

老人を敬ふ事は必要であるけれども、萎えんとするもの爲に尊い芽を積まれてはならない。

皇國の健兒諸君よ！

「何事かなさんとする時には必ず迫害のある事を思へ、努力と忍耐の固き信念を持たば必ずや勝利は我にあり」

茨の道、それを切り拓くに若人の力を以てせば何のことかある。

眠れる獅子よ、一度起つて世界を見よ。

實に世界は進みつゝある

一四 獨逸に使用して

山形縣 古澤健太郎

日獨兩國は土地は東西に別れ、歴史は異り風俗習慣は一
致せざるものあれども其の崇高なる國家精神に生きると云
ふ處と、我々民族の敵である共產主義に對しては斷乎とし
て起ち上らうと云ふ精神の現れて居る點に於て、或は又古
き傳統を尊ぶと云ふ點に於て相共通するもの多々ありと信
ずる。今彼の地に於て感じたまゝを簡單に述べるならば先
づ何と云つても徹底せる國家であると云ひたいのである。

此の事に關して縦の線の太い事に關し述べるならば團體
統制、訓練の徹底であると思ふ。此の點に付て詳述するな
らば各種團體の制服の一定されて居る事、團體的スポーツ
が徹底して居る事、大衆的音楽の徹底的訓練が爲されて居
る事であらうと思ふのである。

而して先づ組織の點に關して申すならば社會的、政治的、

或は文化的のあらゆる領域に於て、其の國家の目的を遂行
する爲めの個人の行爲に付きては國家は其の全責任を負ふ
と云ふ譯である、即ち各團體相互の間に於て或は國家權力
者と團體との間は徹底的なる有機的結合が爲されて居ると
云ふのである。然して又其の間に何等の強制も拘束も無い
と云ふ事が特に深く感ぜられた様である。故に斯かる組織
の下に於て爲される教育も德育も誠に徹底したもので、其
の状態如何と單的に云ふならば其れは開口の廣く奥行の狭
いものであると思ふ。然乍ら其の云はんとして居る處の根
本原理を良くかみしめて知つて居るのである。それ故に獨
逸の世界觀教育と云ふものは廣い世界より眺めての自國の
立場、並びに廣い國家より見て自己の立場をよく知つて居
るのである。此點より觀て横の線の太い點であると云ひた

いのである。

次に現れて居る特徴と云ふならば性質の鈍重にして従順
性のある國民である事を強く認識させられたと思ふのであ
る。彼等は何事を爲すにも事前に於て深く考へ、然る後に
斷行し、其の過程に於て同輩中に少しでも自己の有する力
よりも優れて居る者を發見したる場合は自分は喜んで其の
同輩の後援者となり決して其の人間を蹴落す等と云ふ事は
ないのである。

次に體育の優れたる點も述べなければならぬ事であるが
今回我國に訪れたるHJ諸君の姿を眺めて充分御承知の事
と思ふが、一步進んで考へて見るならば彼等の大多數の人
々は歐洲大戰の前後に生れて居る筈であるが、彼等の母親
達は戰敗國として受けたる總ての苦痛を克服して、決して
其の生れ出づる子供に何等の影響をも與へなかつたと云ふ
事よりしても、了解の出來得るものであると考へらるるの
である。

最後に私は一團員として當局者に希望する事は日本には
同様なる内容を有する團體の種類が多すぎる様に思はれる

のである。故に此れを單一なる團體に改め其の教育は現在

の様には青年學校に於て爲し、德育は青年塾に於て爲す可き
であり、而して體育は青年の集團勞働により體力の向上を
計りたいと思ふ。少年團に付て申すならば此れも青年團と
同様に教育は小學校に於て爲し、德育は少年塾に於て野外
生活等を爲しつゝ育てなければならぬと思ふ。

我が青少年團回顧

我國青少年運動と對比して彼の地の青少年を觀て我國の
長じたる點が多々ある事を思ひます。

(129)

第一、皇室中心主義

第二、大同團結の精神

第三、自發的勞働奉仕の精神

第四、死を鴻毛より軽く思ふ精神

以上のやうな例を上げれば數多くありますが、此反面には
色々な短所もあります。此の短所は政府に於て青少年運動
に對して尙一步援助してくださるならば良くなると思ひま
す。

私が歸國して東北の田舎(山形縣、秋田縣)の青少年運動を顧みて困つたと思ふ點を御願ひ旁々二、三申上げます。

一 地方青少年の都會へ集る氣持

之れはドイツに於ても困つて居る現象で今日ヒットラー總統が農村奉仕、勞働奉仕等で救助方法を講じてゐますが仲々良いやうに出来ないと言つてゐます。私は獨逸の方法よりも工場を都會から田舎の町へ移させて命令的に其工場で其地方人に働かせるならば今日の軍需景氣の時田舎にも好き春が向ふのではないかと思ひます。斯くして設置された工場は次男三男の家で働らくことが出來ず、又兄が病弱で父母が心配して家に次男三男を置きたい家で町へ出て遊興してゐる青年等を働かせるには最も好いではないか。そうすれば地方の産業發展により金廻りも田舎に來て都會へ都會へと金に迷はされて行くやうな青年が少くなるではないか、今日ポツ／＼として生じつゝあるが將來はもつと／＼多くの工場を建て其工場に働いて働き切れぬ青年は滿蒙へと送つて東亞の建設に向つて貰ひたいと思ひます。

二 同一内容を有する團體が多過ぎる

藤部長にも木村隊長にも聞いたけれども、隊長は青年團より見た話しをするし、近藤部長は文部省より見た話しをする。それで主眼をばづれるが少年團の青年健兒と青年團との關係も議論した。遂に青年團は其時少年團より無學の人々の如くに言はれたやうな氣がする。それで見ると少年團の健兒は一般に智識階級の者のやうな氣持で居る。それで青年團よりも學問はあるし世に認められてゐるやうに思つてゐるやうだ。然し田舎に於ては少年團は學校少年團だけであつて事實青年の手によりて行なはれた方が數十倍の活動をなし勞働奉仕は元より火急なる場合、防空、出征、適齡兵士凡て青年團の手によるのが大きくて、それで青年團が今日生じたる青年學校を横目で見て言ふわけではないと思ふが青年團と青年學校が開きを生じて居る。之れは青年學校の生徒が青年團員であるのだから、青年團が今後なくなると思つて居る幹部や指導者は「もう俺達は青年團を解散して仕舞はふか」と言つて居る。そうすると町の古い人々が若衆に頼るより外はないのに在郷軍人分會は出征の爲めに人數が少いし、青年團が解散するならば誰れに頼ら

之れは東北の災害に對し吾等青少年が働く場合に大いに

不都合をきたして居る。其根本原因は在郷軍人分會、青年團、地方若衆組、消防組等を例にすれば同一年齡がつき合つてくる。在郷軍人分會が滿二十歳からであるのに反し、青年團は最高二十五歳までであり、若衆組は十八歳より三十歳までであり、消防約十八、九歳以上であり、十八、九歳より二十五歳まで最も青年團の働き盛りの男子が一度防空演習、夜間警備、火災援助、風水害防止等に於て散り散りに各團體に取られて、働くに一寸困難な十五歳より十七、八歳までの少人數の少年團級の青年學校生徒がくるので仕事の足絡まりで仕事が思ふやうに出来ないのである。どうか青年團の年齢を切るか、在郷軍人分會の年齢を切上げるか、消防は壯年だけにし若衆は青年團に合併するやうにして、青年團も在郷軍人分會の行ふやうな訓練動作は平氣で青年學校の教育で出来るのであるから、そこをうまくやつて戴きたい。

三 青年學校と青年團との關係

之れは派遣團内に於て色々同志で口論しても纏らず、近う、と言つて居る様で、それに對し青年學校の生徒では未だ若年の爲め勞働奉仕には無理だし、町民は聞かない。此の爲め私は青年團の幹部を各地方に廻る度びごとに覺悟をうながすが、此間青年學校は青年團の德育體育訓練だけを教へて青年團の教育機關として青年學校生徒及び青年團員は年齢系統が一つになつて和氣霽々の内に平和なる農村を築き上げることが目的でなからうか。

獨逸では一指導者、一民族、一國家等と一つ／＼纏つたものをヒットラー總統が教へてゐる。指導者は吾國に於て地方にあてはめるならば町長、警察署長、校長、各團長を一手に握りしめた指導者である。それで青年學校の校長と團長と二つになつては面白くないと思ふ。それで學校長が團長の下に立つて命令系統を團長が大元の青年團本部なる大日本聯合青年團並に文部省の命令によりて地方の青少年を好く治めることがモットーではなからうかと思ふ。餘りにも赤裸々に苦情を述べ皆様にはさぞ御迷惑のことゝは思ひますが之れが東北の一遇の青少年の叫びとして都會の青少年と異つたことを申上る次第です。

一五 民族と農村

兵庫縣 堀田 孫三郎

獨逸民族の發展を使命とするナチス國家は、常に獨逸民族の傳統の上に立つてゐます。歴史と傳統を有つ獨逸文化を再建設する爲には、ゲルマン民族發祥以來の歴史を知る事が何より重要な事である。此の意味に於て現在獨逸では歴史の研究が盛んに行はれてゐます。七月十六日フレンスブルグよりキールに向ふ途中、獨逸民族發祥の地を見學する事が出来た。

獨逸民族はスカンデナヴィヤ半島より大型ボート片方一三二人乗り「て當地「ハイタプ」に來り此の町を建設した。彼等は不合理な程の小數民族を以て、外國民族を打倒し、彼等の思ふままになる低級な人民達を利用し、東はレニングラードを下り、黒海オデッサ、コンスタンチノーブルへ、南はラインを下りイタリー迄進出發展をしたと云はれてゐる。

。茲に於て、ヒットラー總統はゲルマン民族こそ文化の創造者にして、民族の混血は文化を低下せしめるものであると叫んでゐる。

獨逸に於ける農村こそ、其の血統から見ても獨逸民族の證人であり、獨逸のどの都市よりも古い獨逸道徳と文化との保持者である故に、農村に於て保持された健全なる獨逸精神と文化を抽出し、發展せしめる事をナチス獨逸の重大目標としてゐる。失業者救済より試みたアルバイトデイーンストも、今では之を義務制となし職業貧富の別なく等しく六ヶ月の間同一服裝、同一宿舍により土を通して同一の勞働に従事せしめ、全獨逸の青少年にゲルマン魂を植付け共同精神を涵養し以て忠實、服従、友愛の原則を體得せしめ第三國家の第二國民として、責任を自覺しナチス國家に貢

獻せんとする同士の精神を根強く知らしめんとするのである。

小學校を卒業したる都會のユーゲントを農村に送り特に農村生活と密接な關係を青少年に持たしめ、郷土學、國民學、世界觀的教育をなさんとするランドヤール(農村學級)の制度や、昨年より設け、目下試験中のランドディーンスト(農村奉仕)も、HJに於て試みられ健實なる農村HJの指導者を養成してゐました。

かくの如く農村を認識せしめ、農業を奨励してゐるに拘らず、今日では農民が不足し、其の爲イタリアより數千名の農民を傭入れてゐる状態である。一九三三年以前の數百萬の失業者も、一人も發見する事が出来ず、どの工場も濛濛と煙をはき第二次四年計畫に依り、到る處新工場建設が見られ、獨逸國內は活氣に満ち／＼してゐます。實に若々しい感をいただきました。實力主義の獨逸國民には青白きインテリや空論者は不用になつた。白粉や口紅も殆んど無用になつた。

此の多忙な現下に於て、青少年教育と體育に餘念がない

ヒットラー總統は青少年こそ神が與へたものにして「青少年は青少年の手に依りて導かるべし」と云つてゐる。HJはこのモットーに基き、青少年の心の内より發露し心の動きを現したる自發的青少年團體である。學校とHJ、工場とHJの關係は其の方針に於て同一であり、此等の連絡が圓滑に行はれたので今日の如きHJの一大躍進を見たものであらう。學校教育者は現下の時局に於て、國家的見地よりして青少年の教育指導を獨占すべきでない事を明確に認識し、HJ指導者も所屬團體の活動を爲すに際し學校並に家庭に於ける使命遂行に障害を及ぼさざる様細心の注意を拂つてゐる。現日本に於て叫ばざるを得ないのは何と云つても體位の向上である。遠大なる日本精神を體得し、大陸に進出せんとするには隆々たる筋肉の保持者とならなければならぬ。

青少年團の改善

我が青年團に於て都市と農村とは其の主旨大いに異なり年齢層に於ても前者は大體に三〇歳前後が中堅をなしてゐる。

ますが、目下の時局に於て主要な立場にある者の大多数は召集され人員の関係上増々延期されてゐる状態であります。

眞に青年が相集つて修養すべき筈の團體が從來の悪習から離脱する事が出来ず、薄つべらな内容なき團體となつてゐます。此の點に於て斷然年齢層を樹立確定すべきが目下の急務と思ひます。

長期戦に備へ國威の發揚を計る爲には目下の狀勢が何十年も繼續するものと覺悟せねばなりません。第一第二の補充兵をも全部徵集し大陸に移送する事は、陛下の赤子として單に軍務に従事せしめるだけでなく眞の日本の姿を知らしめ日本民族の無限の發展策上の見地よりして大いに意義ある事と思ひます。茲に於て青少年團組織も根底より改造せねばならぬ事態に直面してをります。私の案として

尋常四年——十五歳 少年部
十六歳——二〇歳 青年部
廿一歳 兵役

都市で目下組織する青年團は此れを解散せしめず存在させ

社會的事業に於ても之を経験せしめねばなりません。青年團としてではなく、他の別個な例へば壯年團とし新たな青少年團とは切り離さねばなりません。

強固な組織の下にあつてこそ青年宿泊所とか、青年クラブも意義付けられるものであつてたゞ出鱈目に新策を欲しても「猫に小判」となるてせう。

一、ヒットラーユーンゲントに於ては現在日本の小學生殊に入學試験の爲に戦々競々とし、無邪氣な子供らしさを失つた五年六年の如き態度は見られません。之は學校の先生達や子供が悪いのではないでせうが入學制度の改善を叫ばれて何年にもなる今日未だに面白くないのは甚だ遺憾に思はれます。

二、日露戦役の時には學生が自發的に第一線に立つた實例を屢々聞かされましたが、現時の學生はなか／＼立とうとしないばかりか、日支事變が如何なる意義のものか知らず、小學校の半ズボンから長ズボンに代つただけに大人になり切つた、天下泰平の氣持に生意氣を振舞ふのは餘りにも「井の中の蛙」過ぎるのではないでせうか。獨逸式

の所謂世界觀的教育の必要は大いに認めます。

三、職業的差別が餘りにも濃厚で、之は「勞働の神聖」を理解出来ない學生には無理のない事かも知れないが、實際に勞働に従事せしめ體驗させるの越したことはない。

四、組織立つた團體がない爲、團體訓練に缺けてゐるが、眞に團體訓練を爲さんとするには相互が理解し合ひ同志的精神を植付ける事が涵養である。

五、我が國に於て團長ならんとするには次の條件を必要とする。

- 1 時間的餘裕のある者
- 2 信頼がなければならぬ
- 3 經濟的餘裕のある者

眞に此の人ならと思ふ者でも經濟的餘裕がなければ團長となる事は出来ない。それは年に約壹千圓程の自腹を切らねばならないからである。實際此の様な状態では眞の指導者を求められぬばかりか益々悪弊は増すばかりである。長年の習慣は中々改良出来ぬもので今更乍ら自分の力の足りないのを歎かざるを得ない。

六、ヒットラーユーンゲントの指導者原理は直接應用出来ないまでも其の内容を幾分改良し大いに参考とすべきである。

今迄の例からして團長一人の責任で團員は何事についても餘り無關心すぎる憂があるが、仕事を分擔し團員相互に責任を持たしめ責任感を養成せねばならぬ。

七、目下都市青年團に於ては餘りにも行事が多く體育の方まで手がとどかぬ状態である。體育については各自銘々氣をつける程度であつた。然しヒットラーユーンゲントの第一に主張する體育問題は我が現状から云つても大いに重要視すべき事であるが、之が徹底を計る爲め又は社會施設にも考慮せねばならぬが、何と云つても年齢層別に分類せられた團の組織化が目下の急務と云はねばならぬ。

一六 國旗と團旗

兵庫縣 松本 惠 輔

私が此の度日獨青少年交驪派遣團の一員として渡獨致しました其の感想の主な部分の一端を述べて見たいと思ひます。

先づ最初に獨逸人の國旗、團旗に對しての敬禮及尊重心がよく行はれてゐると云ふ點であります。而して此の事は我々が團體行動を取つて居る時よく見うけられました。それは我々が團旗を先頭として市中、其の他を目的地向つて行進して居る時、出迎へて居るヒットラー・ユーンゲントの人々は云ふに及ばず、附近に我々を見んものと集つた民衆及び道を歩いて居る人々は皆我が團旗が前に行くとき右手を眞直ぐの擧げあのナチスの敬禮をして居るのを見た時我々は非常に感じた次第です。此の一事を見て日本に於ては紙の小旗を作り之を何の氣もなく破れたのを捨てるのを見

れば彼等は日本人の國旗團旗に對する尊敬心を疑ふと云ふ事實はむべなるかなと思ひました。此の國旗は國を表徴して居るものであり、團旗は其の團を表徴して居るものでありますから之に對するに其の國民である限りは勿論外國の國旗、團旗に對しても同様ですが、之れには當然敬禮をしなければならぬので之を破損したからとて捨てること云ふ事は以ての外のことと思ひます。此の點に於ては大いに我々國民相互の間に於て氣を付け合はなければならぬと思ひます。

次に運動の事ですが、次の時代を背負ふべき第二國民に於ては如何なる職に就く者でも強健なる身體を必要とす、との立前から青少年間に於て非常に盛んに運動が行なはれ又黨の方針から言つても行ふ事を強制して居りま

(136)

青少年と體育

す故、獨逸に於ける男女青少年は非常に體格の良い者が揃つて居ります。然して壯年期を過ぎた様な人々に於ける體格はどうかと云ひますと概して體格は良いとは思はれませんが、而し彼等に於ても矢張り彼等の體に適當した運動をする事を忘れず此れ等壯年期を過ぎた人々も我が國等よりは非常に盛んに行はれて居る様に思はれます。然して彼等が體位向上の爲の運動に主として使用する運動場は其の町の人口の多少によつて大小はありますが全國殆んど市町村に設けられて自由に開放されて居ります。又其の他登山も盛んに行はれ六十、七十の老人が若い者にも負けない様な元氣で登山をして居るのを屢々見受けられました。又老人の一例ですが我々をブレローより案内して下さつた海軍大佐でハウプトバンフューラーのレーデンベック氏ですが氏は最早六十の坂を越した老人で、我々が非常に疲れた時でも氏は我々と同じ行動を取つて居るにもかゝらず疲れ

た様な素振りも見せずにく／＼して事に當つて居られるのを見て非常に我々それに依つて勵まされましたが又一面非常にはづかしく思ひました。

獨逸國內旅行中先づ最初に氣が付いたのは、彼等ヒットラー・ユーンゲント團員の體格です。我が國の古語にもある如く、「健全なる精神は健全なる身體に宿る。」と云ふ事を如實に表現して居る事です。此の事は私の一番氣を付けて見又將來益々獨逸國を榮えさゝねばならぬ現代の青少年は此の様な體格を持たなければならぬと頼母しく思つた次第です。而して私は此の事に注意したのは今日迄の學生々活中選手とはならずとも、ずつと運動方面に關係して來たと云ふ事がしからしめたのであります。それ故此の體格を作る運動の事について説いて見たいと思ひます。

扱て獨逸國內六十餘の都市及び村落を旅行したのですが其の旅行中見學した都市には必ず競技場が作られて居り、之等の競技場も伯林、ハンブルグ、ニュルンベルク等大都市にある觀衆幾萬と入れる大競技場を始めとし、ベスニツク其の他の片田舎にある村落にある簡單な競技場に到る迄、何處の都市、町村に到るも其の人口に相應しい運動場

(137)

競技場が作られ、又黨の運動獎勵の方針として絶対に作らねばならないのであるが、然し全國內に斯くの如き多數の運動設備を施して居る状態を見て我が國の此の様な設備に付いて考へて見るにどうであらう。勿論大きな都會に於ては彼等のそれに對應出来るだけの設備はある。然し田舎の方はと云ふに近年國民の體位向上が盛んに呼ばれて來て、幾分出來つゝあるには違ひないが、私の少い國內の旅行に於ては殆んど見る事は出来なかつた事を思ひ起すのである。勿論學校にある運動設備は彼等のそれと比較して決して勝るとも劣るとは考へないが、此れは殆んど其の學校に通學して居る學生生徒のみの運動場であつて一般人（既に職についてゐる青少年であるが）に於ては使用出來ず、又使用して居ないのである。

之等の事を思ひ合はせて然らば彼等は多數の運動機關を持つて居るが、之を一般人が利用して居るや否やと云ふ事になるが、老人、壯年はさて置き、青少年（學生以外）は殆んどヒットラー・ユーゲントに入つて居るのである（勿論學生も入つてゐる）。而して此のヒットラー・ユーゲント團

い事實である。此の様に盛んに行はれてゐるヒットラー・ユーゲントの運動に於て然らば此のヒットラー・ユーゲントの人員は全國青少年の幾何なりやと云ふに現在に於ては約九十九パーセント以上である故、全青少年が體育運動に邁進して居ると云ふ事が出來得るのである。

其の他、ユング・フォルク、ユング・メーデル等に於ては彼等の興味を起し同時に相等運動にもなる遊戯も盛んに行はれて居り、其の種類は我が國の青少年團の行ふそれと大差はないが、然し郊外のハイムの附近に設置された運動場、海岸、山等の常設野營地の廣場等に於てうすら寒い冷氣の中で嬉々としてランニングシャツ一枚となつて飛び廻つて居る様は躍進獨逸の少年として相應しい光景でした。

又青少年の間に於て夏其の他の休暇を利用して必ず國內を旅行し各地の風光、名所、古蹟を究り、自己の體力増進不撓不屈の精神の養成にあづかつて力があるのであつて、其の上風光、名所、古蹟に接し其の見聞に依つて獨逸國內の狀態を知り、自然的に國家に對する自覺、總統への忠誠心を涵養されて居るのである。此の青少年の旅行はリユー

員は各々其の年齢層に依つて達しなければならぬ各種運動の標準が定められその標準迄自分の技術が進まねばならず、又毎年行はれる全國競技大會（之は地方それ以下の十名の同士隊より順次豫選を行つてそれに優勝したものが全國大會に出て最後の勝負を争ふのである）には必ず團員は参加しなければならぬのである。此の様にして青少年間の運動を獎勵し、指導して居るのであるが、團員の間に於ては自分等は將來此の新興獨逸を背負つて立たなければならず、其の爲には自分の身體を壯健にすると云ふ事が何よりも必要缺くべからざる事であるとの自覺を持つて居る、此の事は私共各地旅行して彼等と寢食を共にしたり、歡談したりしてゐる中に自然に感じた事なのです。

斯くの如くして彼等青少年の間に於ては體育運動は非常に盛んに行はれて居るのですが、之に加ふるに青少年指導廳と全獨逸スポーツ指導本部との間が提携して、全獨逸スポーツ指導本部より前者の如き競技場、並に運動器具を提供されて居るのであるから、彼等の運動は之等の機具の提供と相待つてより十分な運動が出来る事は疑ふ事の出來な

ゲン島、ナイセ、グラーツ等の青少年宿泊所に泊つた時に於ても殆んど其處が滿員となる位男女青少年の宿泊して居るのを見、又數人乃至十數人の者が制服に身を固めて徒歩或ひは自轉車で歌を唄ひ乍ら愉快そうに旅行して居るのに各地で出くわしたのであつた。

斯く青少年が大なる國家的なる團體の運動に参加し其の進むべき方針に従つて勇往邁進して居る状態を見學し、靜かに我々青少年運動の事を想つて見るに、其の精神的訓練は彼等に決して負けて居るものではないが、然し或一部の者を除いてつゞさに我が國內を旅行し、其の國狀を實際的に經驗したる者は、彼等のそれに比ぶる時非常に少數に過ぎない事を痛感するのであります。然して此の青少年の旅行に際しては我が國に於ては彼等の如くとのつたる設備を持たず、高い宿賃を拂つて旅館に泊らねばならぬと云ふ事より我々の其の負擔が非常に重く、到底一週間、二週間の様な長い旅を少額のお金ですると云ふ事は出來兼ねる事なのである。故に彼等のそれに類似したる宿泊所が全国各地に作り青少年間の旅行に便宜を與へらるゝならばもつと

一層強き自覺が我が國の青少年間に於て生れて來るのではなからうか。



一七 獨逸國の興廢を擔ふ青少年

愛知縣 松井保行

先づヒットラー青少年團の發達に就て申上げます。ドイツには以前渡り鳥式(ワンダーフォーゲル)の青少年教育があつて、之等の青少年は野に山に或は街にと渡り歩き、社會を知り身體を鍛練して社會的に立派な青少年を作り出そうとし、此の青少年の團體は非常に澤山獨立的に存在して居たのだそうです。

大戦後悲惨な運命に陥つたドイツには共産黨の青少年團や其の他幾多の青少年團が勢力争をして居たのです。ヒットラー總統は黨を組織するや否や「將來のドイツ國の興廢は青少年によつて定まるのだ」と叫び、青少年教育に非常な力を入れたのであります。「大ドイツを完成させるには何うしても二十年や三十年はかゝる、その爲めには小さい時から自國を認識させ國家觀念を吹き込まなければ駄目

だ」と云ひ、「老ひた者に起てと云つても駄目だ、眞に國家を完成させるには青少年に限る」と申して居ます。

「青少年の教育は青少年の手で」との鐵則に隨つて青少年の教育は青少年の手に任せ、その指導者は一切の責任を負ひ青少年はその指導者に對し絶對の信頼をよせて居ます。

ヒットラー總統は政權をとつた後全ドイツ青少年團を統一し、宗教には何等關係のない純ドイツ的な青少年團を作り上げたのであります。

共産黨の青少年團に加つて居た青少年も、他の青少年團に加つて居た青少年も、眞の大ドイツ建設のため、政策を誤まらず立派な指導精神を有するナチス治下のヒットラーユーゲントを見た時、欣然として悟る所がありました。皆來つてヒットラーユーゲントに投じたのであります。現在ユ

ーゲントは女子をも含んで七百五十万人に及んでゐるそうです。

ヒットラー總統は早くより、現青少年指導統監バルドウル・フォン・シーラハ氏を將來の大人物と見て引き上げ、彼は總統の絶對の信頼のもとにその以前より學校に活躍し、學生を引き入れると共に反對黨の邪魔をも、ものともせず凡ゆる苦難と闘ひ、總ての青少年をユーゲントに引き入れる事に成功し、今三十一歳の若さを以て指導統官の重職につき、ヒットラー總統は此の青少年の團體を國家の最高機關部に引き上げ、將來を擔ふ可き青少年を世界一立派な社會人に仕上げ様と努力して居ます。彼等は若き血を國家に捧ぐる事を誓ひ體力に知識に萬全を期して居るのは力強くも頼しい限りであります。

HJの組織を申上げます。ヒットラーユーゲントはドイツ男女青少年團の總稱であります。先づ男子部ですが一〇—十四歳迄、少年團、十四歳—十八歳迄青年團、以上十八歳—廿歳迄の間に國家から召集を受け六ヶ月間國家に勞働奉仕を行います。これをアルバイトディンストと申します。

於ては競技に關する訓練を行います。十四歳—十八歳迄のユーゲントを入れ、技術部と運轉部に分けてあり、ドイツの法律に於ては十六歳で運轉を許可されるので十四歳—十六歳迄は技術的訓練を行ひ、運轉の方は二五〇フリーセンチ米を訓練して居ます。今此の生徒は十萬人で一萬人は免状を持つて居るそうです。

飛行隊 將來飛行機に關する仕事を行ふ人を養成すると云ふ軍事的、民間的にユングフォルクの中から指導するそうです。最初は飛行機模型を作せたり、射撃の練習など行はせ次で運轉を指導するそうで、十八歳ぐらゐで飛行機の操縦の出来る者も居ます。

通信 第一に軍隊的教育準備前提としてモールス信號等を習はせる。一分間に六十字發受を必要條件としてゐます。又電話、電線を引かせるとカラチオの組立をやらせるそうです。ユーゲントの通信部を出た者は黨の通信に従事するので、今全員六十萬人教育を受けてゐます。

防空 はユーゲントに屬する男女を以て編成され、女子は負傷者に對する處置を行ひ、男子は防火防毒瓦斯の對策

アルバイトディンストに行かぬ者は上級學校に行けません。

次に女子部を申上げます。十歳—十四歳迄少女團、十四歳—二十一歳迄—女子青年團(BDM)と申します。其の内十八歳—二十一歳迄グラウベン、ウント、シェーンハイト(信念と美)と云つて家事を主に指導して居るのです。大戦後獨逸の婦人が家事の出来ないのを總統が知つて、進んで此の指導を行はせたのであります。

次でヒットラーユーゲントを職業別にみますと、學生二十一%、商人五%、技術者三%、農業者二十三%勞働者四十二%、其の他六%になつて居ます。

ヒットラーユーゲントの體育を申上げます。先づ獨逸では身體を良くする第一歩としては消化の良い食事を八分目にして體操を十二分と定めてゐます。體育には自動、自轉車隊、飛行隊、通信、防空、乘馬、海洋少年部、ゲレンデスポーツ、一般體育に分れて居ます。次に指導目的を簡單に申上げます。

オートバイ 自動自轉車隊は軍隊に入つて傳令、一般に

種類焼夷彈の性質等を知り、一千萬の青年が教育を受けてゐる。一年に二百萬人を指導してゐて、終には全國民に教へるそうです。

乘馬 軍隊に對して後繼者を送るのである。騎兵、騎砲兵を主としてゐるのです。ユーゲントで合格したる者を入隊させる。

海洋少年部 は海軍、商船の乗組員を作る前提であり十四歳位で海に興味のあるものを入れ、將來海軍か商船の乗組員に成たい人を入れるのです。現在六萬二千人入つてゐるそうです。訓育、ボート操縦、帆走、通信、航海を行つて訓練してゐるのです。

ゲレンデスポーツ トンネル掘つて地下にもぐり地型の研究、地下の研究をするスポーツで、兎に角歩兵の仕事斥候のやり方を訓練するのであります。又地圖の見方地形の見方も教はり斥候の時スケッチして報告するそうです。一年千五百人一ヶ月二百人位教育を受けるのです。

一般體育 體育に關する方面は三つに分けて行つてゐる基本運動と云つて大勢で行ふものと、道具を使はぬもの狭

い所で出来るものに分けてゐる。此等の體操は早く持久力
強力、勇氣、快斷を養成するのです。

以上申上げました體育は青少年が進んで又喜んでやつて
ゐるのであります。

最後に獨逸魂の一端に就て申上げます。

私共七月三日ケルン市の青少年運動大會に招待されまし
た。其の時私共一行がグラウンドに入場しました時は本當に
雲一つない天氣の良い運動日和でありました。私共は指定
の席に入つて私はヒットラー・ユーンゲントが日頃どんなに精
神的に又運動訓練を行つてゐるか一つしつかり見て日本に
歸り、皆様に報告申上げ様と思ひまして見て居ました。そ
うすると三千名ぐらゐの男女青少年が入場して來ました。
そして整列が終つた時でした。急に眞黒な雲があらわれて
一天をおほつたかと思つて居る間に大粒の雨が烈しく降つ
て來た。だが青少年は少しもあわてず、指導者の命令の下
さる迄きちんと列んで居るのには感心してしまひました。
そして指導者が「本日は取止」と傳へたが、青少年はまだま
だあわてず、四列に並んできちんと門の外に出て「解散」の

命令で歸つて行く。青少年はべたべたであつたが、私共本

當に頭がしらすしらす下る様な感じがしました。これが獨
逸魂ではないでせうか。其の他獨逸國內で同じ様な事に出
合ひましたが、青少年ばかりでなく一般の人々でも私共見
習ふ點が多いとつくづく思ひました。

然し矢つ張り何と云つても我國程有難い國はない。

歸つて二重橋前で皇居を拜したとき何とも謂はれぬ感に
打たれ涙の出るのを覺えました。

私共は獨逸、伊太利の人々よりも體は多少小さく貧弱で
はあつたかも知れませんが、「意氣」に於ては何物にも負け
ないとの自信が常に胸中にあふれてゐました。

此の意氣も、我國古來の大和魂も、武士道も皆之れ有難
い我國から滲み出て來るのだらうと思ひます。

だが彼の長所を取り我の短所を捨て、大和魂をよりよ
き様磨き上げ、そして日本、獨逸、伊太利としつかり手を
握つて世界平和の礎とならなければならないと思ひます。

その重大任務こそ我々青少年の肩にあるのではないでせ
うか。

一八 獨逸の力

岐阜縣 宗廣力 三

私共は八十五日間の獨逸に於ける交驩の旅を終へて、パ

リーを経てロンドンに渡つた。在獨間にも少しは兵員や軍
用車等の移動を見、其の常ならぬ緊張を覺えたのだつたが
パリに入つて、全く事態の悪化してゐる事に氣づいた。
先づ日本人俱樂部できけば、今朝〇〇〇萬の動員があつた
とか、小學校は休業し避難準備を爲てゐるとか、中々内地
等では一寸味はれぬ様な緊張を呈して居り、ロンドンに
入れば全く今にも時間の問題で第二の世界大戰が始まらう
との氣配が強く直感せしめられた。

先づ公園は日夜兼行で塹壕を掘つて居り橋とか高層建築
物の上には、高射砲高射機關銃が威かめしく備へつけられ
所々には消火用の砂が置いてあり、各戸には防毒マスクが
準備され、又有名なイートン學校を訪れた時も、大切な運

動場を堀返して居る程でした。

またアメリカ人を始め外國居留民のボツ／＼引揚げを敢
行して居り、新聞紙も可成危機を傳へてゐる有様で、私共
も重き使命のある身なので、萬一の時の事もお互ひ決意し
合ひ身の廻りの整理もして休んだ程でした。

又歸りにパリーのルーブル博物館に寄れば、すつかり地
下室に片付けてあるとかで見學不可能の始末でした。ヒツ
トラー總統が政權を握つてより漸く數ヶ年、今漸く起ち上
つたばかりの新興獨逸を、何故斯くまで世界の老大國が恐
れたのだらうか。

私共は獨逸を限なく廻つて多少は國內の情勢を見聞して
來ただけに、彼の地に在つて其の感は一層深いものがあ
り、うなづかれるものがあつた。

恐らく世界何れの國と雖も戰を好む國とてはないが、これ程までに彼等を動かした其の力こそ、超時代的の英雄ヒットラー總統一人の力でも又全國を貫く自動車道路でも又獨逸の誇る機械化兵團でもまた富の力でもないと思ふ。

唯彼等をかくまで刺戟させ、又チエンパレン首相をして二度までも獨逸の土を踏ましめ、竟に平和裡に歴史的外交の成果を收め得た、其の偉大な力こそ、青年運動に依り獨逸精神に鍛へられたる青少年を始め、國民がヒットラー總統を中心に打つて一丸となり、何時でも祖國の爲ゲルマン民族の爲に死なんとする尊い犠牲心と其の鞏固なる民族其れ自體の信念決意の然らしむる偉大なる底力、即ちどん底から起ち上つて、名譽、平等、自由の爲めに、自己を滅却して、敢て伸びんが爲めに祖國の行手の荆棘を進んで破らんとする其の一大念願に燃え起つた、國民の就中青少年の總ゆる結晶力が然らしめたのではなからうか。

斯くして英佛にあつて、ハツキリと眞のドイツの力を知る事が出来たのである。又私共は私共先輩の未だかつて與へられた事のない大使命を充分認識し、大目標の前に國策

の線に副ふた生活目標に進み、自己の持場を確守し大日本青少年打つて一丸、一層實力を養ひ發揮して行く時、支那問題も一層好轉又日獨伊の親善も鞏固なるものとなるものと信ずるものである。先づ「體」を練り健全な精神と身體をつくつて長期建設に備へる事こそ國策の線に副ふ私共の一義的な務ではなからうか。

他山の石

一 施設

1 體育施設の完備

運動場、運動器具の整備

體育種目の研究決定

體育と塾生活を一日に適當に織り込む

2 博物館と圖書館

塾を一般社會の利用に供する目的で

過去を明らかにし現在を物語り明日の進方向

理想世界を想像せしめる様配備する事

二 教育

1 内外情勢學

雜誌青年輪讀、新聞學實施、恰も世界維新史の一頁を彩りつゝある最近の事態より活教材を求む。

旅行熱を旺盛にし祖國を識り見分を廣くすると共にお互に理解し合ひ小さく團結する氣持を改め大きく皆が國策の線に歩調を合せるの氣分を醸成せしむる。

2 集團勤行に依り時局に應ずる青年團の發足を促す事

一、期間 十日間以上

二、勞作 なるべく直接國家に貢獻する如き内容
目的を持つ仕事、併も誰でも可能なる
肉體勞働たる事。

三 指導者(幹部)養成の完備

四 合宿訓練

五 町・村・郡よりの補助

大體以上の條件を具備し、一つ目的に皆が全身全靈を奉仕する事に依つて第一線勇士の勞苦に對して酬み又此の間に於て今までの極めて自由的な小團結的な非統制的な青少年團の皮殻を破り、新時代に適應する青少

年團の徹底的訓練を施すこと。

(統制ある團體として活きる訓練の徹底)

斯くする事に依つて又青年大同團結の威力を自他共に認識し、眞の青年團生活を體驗する事に依つて有史以來未曾有の青年層に與へられたその大責務遂行の點火的役割を果す。

六 音樂の普及

眞美を養ふために團體行動に活かし、實生活に結びつけるが如く大衆的實踐的な音樂として活かす事。

七 餘暇の善用

命令者なくとも又何時何處でも精一ぱい働き得る訓練をする爲に餘暇利用活用の訓練をなす事。

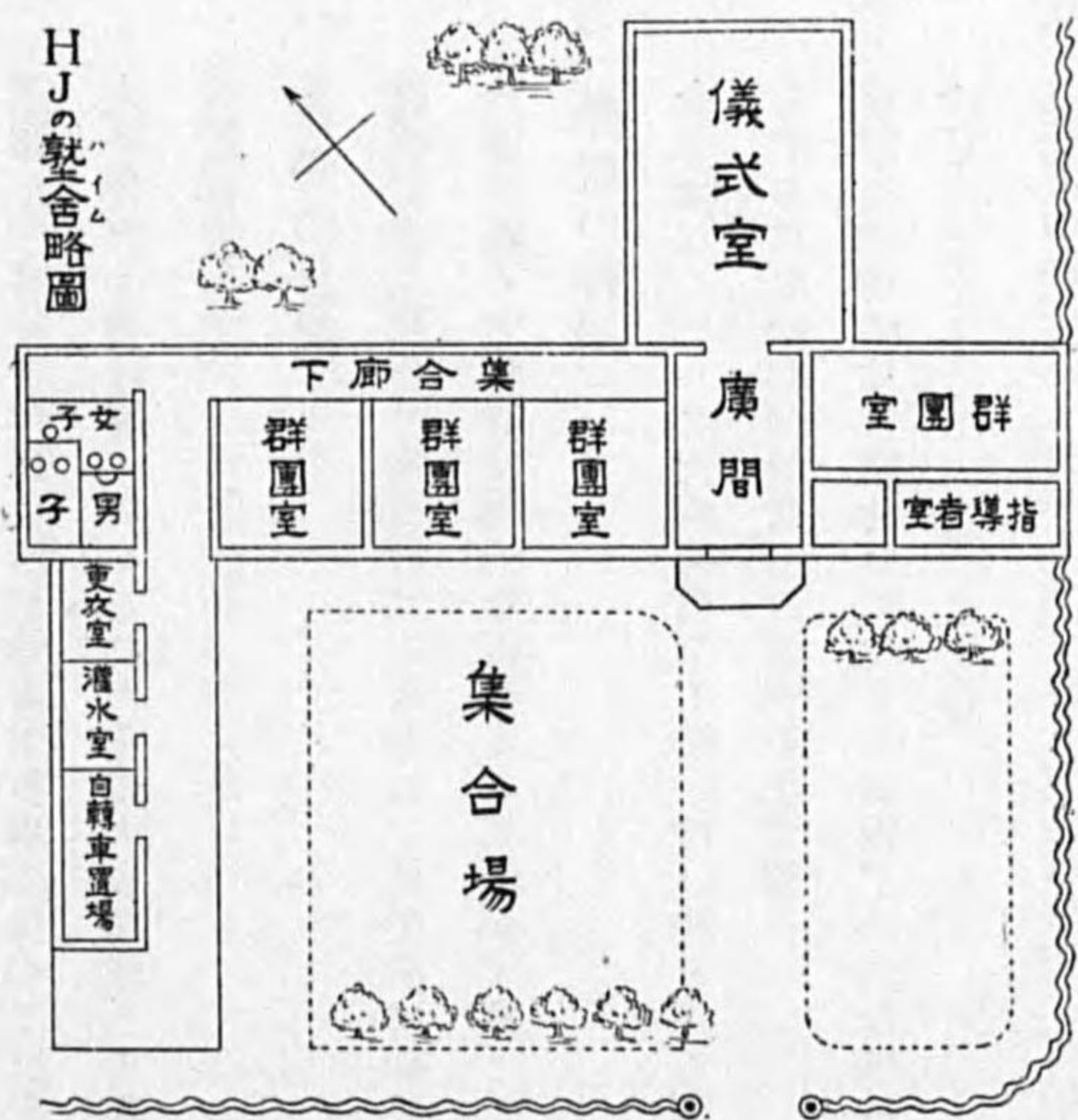
日常の持場に於て犠牲心に生くる修養、小さな犠牲が必要。

八 體育の徹底

先づ大衆的、徹底的である事
體育の指導者並に施設を完備
鍛練上の注意

年齢層の標準に向つて努力
一般の體育觀念の認識

九 あらゆる角度から一つの人物を練り上げる事
一〇 幹部の訓練及び各團との連絡提携を密にする事



一九 質實・勤勉・明朗

廣島縣 村上二四夫

私が此の度の重大使命を帯びて、渡獨中一番感心した事はドイツ人は質素で働き者であると云ふ事である。

一つ二つ例を挙げれば一般民家に二三羽の鶏を飼つて居るとすればその鶏から取れた羽毛を二年でも三年でも蓄へて居て多くなれば羽蒲團を作るとか、又はドイツには公園に類する物が非常に多いが、母親は子供をベンチの附近で遊ばせて置き、自分は編物とか刺繍をやつて居る。使ふ糸を見ても一度使つた物を使ひなほすとか糸くづ等を使つて居るのである。又それで子供は一人でとてもよく遊んで居て見て居ても氣持の良いものである。

これも入國當初感じた事であるが労働者とか店の使用人が營々と而も楽しく、朗らかに働いて居るのである。彼等は生に、勞働に、食に大いなる喜びを感じて居るかの様に

見えた。生の爲には身體と心を健全にする様心掛けて居る。休養があれば遠足をするとか又は自轉車、自動車旅行をやり夏の郊外では良く男女の日光浴を見るのである。しかも男女青少年の爲には旅行に又は國境の情勢見學に便なる様多くの青年宿泊所を作り世界一のドイツ民族を作るべく心掛け、又勞働の有難さを知らぬ爲に、都市の青少年の農業奉仕とか、農民の都會進出を防ぐ爲、農に歸れとかを強調して居り、又は都市の子弟には一週中何時間勞働、何時間勉學とか、その時間を國法によつて定め、その後の時間は自分のあらゆる方面の研究に有効に生かす様に與へて居る。

次に食に關してはすでにその重大なる事は先の歐洲大戰と云ふ、まれに見る時局に出喰はして居る爲に、よく民衆

の知る所である。いざ戦と云ふ時には先づ食料が問題であるから農がいかに大切であるかと云ふ事を切に教へて居て、又農業指導者學校等も置いてある。

これ等の點を考へて見ると一二の事項を上げただけでも大いに我が國青少年の學ぶべき所が多々ある様に思へるのである。

短文ではあるがこれが私の第一の着目點である。最後に申す事は大和魂は世界の優秀民族たる日本國民の體内に秘められたるものであつて、此の魂は世界のどの民族の何物にも劣らない。しかもそれは國威のしからしめる所であると云ふ事である。

青少年運動所感

一、高級團員が下級團員とよろしく面識に成る事である。つまり幹部、大臣級でもよい、地方に出て來て團員と共に語り、又いくら小さい團大會にでも高級指導者が出席すべきで團員に青少年團に對しての望みを持たすべきである。

一、大日本聯合青年團の制服が決定してゐるのならばそれを速く廣く團員に詳細報告し又その制服に對して敬意を持たさねばならぬ。

一、青少年指導者學校の設置或は大學校、中等學校、青年學校生徒中の優秀青少年の指導者講習會を開き、その者に對しては指導者としての證明をすべき事。

一、小學校、中等學校、青年學校共に一週間中一回乃至三回講習會とか、色々な行事に出席さす事、又一日も早くその設備をすべきである。

一、各學校制服の外、大日本青少年團團服なるものを制定する事、それも夏は半ズボンが好い、衛生、思想、體格發育上大變良好だからである。

一、青少年の指導方法は軍隊的に規律を重んじる様に教育する事。

1 絶対服従を望む。此の點日本の青少年の缺點とする所である。然し夫は軍隊に入れば訂正されるがそれでは遅い、少年時代から服従心を植付けるべき事。

2 行進も歩調をそろへる事、此の事によつて人間の氣

分が引締まる。

3 少年時代より軍事教練の初歩を教へるべきで、きちんとさす事。

4 青年學校、中等學校に出來れば軍隊用小銃を一日も早く配布し、それを使用さす事。

一、一般民衆に青少年團と云ふものを良く理解さすべき事我々の今迄行つた仕事に對し各町各分團より色々の不服が出るがそれはよくない。中央よりその事の一日も早く實現する様努力する事。

一、青少年旅行宿泊所を作る事。

今頃鐵道省所有の山の家と云ふのが出來て居るが、それより安價に宿泊出來る様にする事。

一、青少年機關誌を印刷發行する事。

今迄雜誌「青年」大毎新聞社の「大日本青年」等が發行されて居るがもう少し、しつかりした機關誌を中央より安價に迅速に發行する事。

一、中央指導機關を文部省外に新設し、官僚主義ならざる機關を設置する事。

とかく今迄の青少年指導者幹部級の人々は官僚主義者が多かつた、今後は指導者たる者と團員が共に手を取り合ひ共に語り合はなくてはだめだ。

今の我々の指導者は主として小學校の先生であるがその人等は學校の事務が一仕事ある、その點中央でも考へてほしい。

此れ迄男子ばかりの様にして書いて來たが此れは女子青年團に於ても同様である。ことに女子の制服制定は急を要するものである。又女子青年團の服装は上はエプロン掛けだが下は派手な着物である。

又女子青年團の事業の一つとして看護法、救急法に關する書籍を編纂するか又は國家としてその方面の指導方法を確立すべきである。

二〇 青少年指導に就いて

茨城縣 柳橋 伊右衛門

(一) H Jの勝利は結局政治の勝利だと思ふ。近々十ヶ年内外の短日月の間にあれだけの組織を築きあげたのは、背後に強力な政治があつたからであり、國家社會主義に依つて鍛鍊された強力な指導者陣があつたからである。これは誰でもが知つてゐる當り前の事であるが、餘り明白な事だけに却つて見逃され易いのではないであらうか。

(二) 云ふ迄もなくH Jはナチスの一部門として發達して來たし、現在に於ても亦ナチスの一部門である。従つて其は常に政治と密接な結合を持つてゐた。ナチス政權獲得前H Jは純然たる政治運動の團體であつたし、政權獲得後は青少年の國家的訓練機關として質的變化を遂げたが、依然政治との密接な結合を失はず、國家社會主義建設の一部隊として、其の運動は常に強力な政治性を持つてゐるのである。

H J最大の特色は國家が青少年のために作つた團體ではなくして、青少年が國家のために作つた團體であり、運動であると云はれてゐる。従つて其は廣範な青少年層に依る一大愛國運動として押進められてゐるのである。勿論其所には國家の強力な指導があるのであるが、其と同時に何處迄も青少年自身の手による自發的愛國運動であると云ふ事が強調され、指導者(彼も亦青年である)も團員も共に熱情的に事に當つてゐるのである。然かもその運動の一つは常に政治との密接な連りに於て行はれ、彼等の一舉一動は常に政治的、國家的にどんな意義があるかを自覺し、自覺させながら行はれるのである。

この事を別な反面から云へば、H Jは國家社會主義と云

ふ唯一無二の指導精神を有し、その指導者は總て同一の世界觀に依つて訓練され同一の政治的目標を持つてゐると云ふ事でもある。運動が政治性を持つと云ふ事この事あつて初めて可能なのであり、これこそはH J最大の強味でなければならぬ。

翻つて我が國青少年運動の現状をみるに、その究極の目標に於て一致してゐる事は日本人である以上當然の事である。然し世界觀的に一致してゐても方法的には或は其の行動綱領に於ては同一團體内部に於てさへも決して一致してゐないのではないだらうか。例へば農村の青年を本當にひきつけてゆくためにはその指導者は農村問題に就て正しい理解を持つ者でなければならぬ。所が農村の青少年を相手にしてゐる指導者の中果して其の何%が農村の問題に正しい理解を持ち、熱情的な關心を持つてゐるであらうか。亦持つてゐる人にしても假りに、農村問題の最も基本的問題である土地問題、農村生活者にとつて必ずしも専門的特殊的問題ではないに就て見解を問ふたら、その大部分はしどろもどろの解答より爲し得ないであらうし、その大部

分の人の見解は恐らく極端に相違をみせるであらう。こんな事で農村青年の間に強力な統一的青年運動を展開する事は決して出来るものではない。例へば我が青少年にとつて大きな課題である滿蒙開拓青少年義勇軍の運動を押し進めるにしても土地問題に就ての正しい理解を持たぬ者が果して効果的に其をなし得るであらうか。

それが如何なる意義を持つものであるかを自覺し得ずして、決して青年は熱狂的に起上るものではない。然かも青年運動に於て、若しくは青年教育に於て、最も必要な事は、青春期の熱情の昂揚の中に行動させ、その行動、實踐を通じて訓練する事にあるのではないだらうか。そうである以上青少年運動は單なる精神運動の域を脱して常に廣義の政治との密接な聯關の下に運動を押し進める事が必要であり、従つて團體は明確な指導精神行動綱領を持ち、指導者亦確固たる世界觀、政治觀に依つて訓練されねばならない。このためには強力な政治の確立が大前提となる譯であるが、然しその確立のためにも青少年の組織化は亦一つの大きな礎石を提供するものと云はねばならない。

(三) HJの運動が強烈な政治性を持つてゐる事は、一國一黨のナチス政治あつて初めて可能なのであるが、其と同時に世界觀の具體化されたものとしての組織構成が然からしめるものである。

HJには幹部と指導者の區別がない。日本青少年運動、特に青年團運動の指導者は大部分團體に密接な關係は持つてゐるが、實質的には團體外のものである。府縣に於ては府縣の職員が之を指導し、郡、町村に於ては學校長其他の有識者が指導者となつてゐる。従つて一般團員は當然之等の指導者を目して團内部の者であり同志であるとは思はない。團員(幹部)は何時迄も團員(幹部)であり、指導者は初めから指導者である。HJに於ては幹部が即ち指導者なのであつて、カメラードシャフト(班)の指導者は、その班長のカメラードシャフト(班)であり、バン(郡)の指導者はバンフューラー其他バンの幹部である。即ち團内部の人間が指導者なのである。彼等は其の地位に従つて、指導されながら、指導してゆくのである。かくてHJには五十萬と云ふ膨大な指導者陣を有してゐるのであるが、

の原則によつて貫かれ、その指導者(幹部)は特殊の技術者を除き、殆ど總てが下部組織からたゞき上げた生え抜きの人間であり、團員も指導者も同じ團體の成員として同志的感情に依つて結びつけられ、共通の目標に向つて邁進してゐるのである。

(四) かゝる組織を作る爲に、HJは整備した指導者養成機關を持つてゐる。團體の活動を強化する爲には良き指導者を得ると云ふ事がアルファでありオメガである。従つてHJに於ては指導者の養成と云ふ事に就ては實に大きな努力を拂へ極めて計畫的に之を行つてゐる。

HJには満十歳の春入團する譯であるが、優秀な團員は十一、二歳にして拔擢され誰を拔擢するか最後の決定は十日間位の共同宿泊訓練(キャンプ亦は青年宿泊所等に於ける)を通して爲す事が多い。バン(郡)のバンシュールに送られ、其所で何週間かの指導者たるための訓練を受ける。私達はドレスデンの郊外にてバンシュールを見學する機會を得たが、六十人内外の團員が收容されて居り、何れも十一、二歳の少年であつたが、其の中の最も優秀な者

之等五十萬の指導者の活動は、決して團外部の活動でもなければ、學校の活動でもなく、HJ其物の活動なのである。然かも之等指導者の大部分は青年であり、これ等の青年指導者によつて、自發的の一大愛國運動がまき起され、團員はその空氣の中に捲きこまれてゆくのである。従つて團員は決して明確な政治意識を持つてゐる譯ではないが、これ等の中心分子によつて起される愛國運動の雰囲気の中に育まれて、遂には自發的に愛國運動の中に突進してゆく様になるのである。かくして彼も亦指導者となり、後進を導いてゆき、昨日の團員は今日の指導者となるのである。此所にHJが國家的青少年訓練機關でありながら、その運動は常に青年運動であり、愛國運動であると云はれる根據がある。

HJは國家的青少年訓練機關たる點、町村組織のやつてゐる事は日本の青年學校と非常に似てゐる。然し青年學校は最後迄青年學校であるに反し、HJは青年學校としての役割を果すと同時に、全國的な青年運動の團體なのでもある。然かも其は「青年は青年によつて指導されねばならぬ」

に此を指揮させる等出来るだけ自主的自發的に行事を行はせ、上から與へる所謂詰込教育でなしに、中にあるものを伸ばせると云つた方法がとられてゐる。實踐を通じての訓練と云ふ事は一貫した方針で、この訓練が終ると實際に幾等かの團員の責任者として仕事をさせ、更にその後の成績に依つて上級指導者學校に送つて訓練する。この指導者學校は學校其ものは常設であるが、實際團の責任ある事をしてゐる者を收容するのであるから、方法は講習會式で短期間の訓練を何回も行はせる。この學校に依る訓練とあいまつて、會議の形式に依る訓練が行はれる。例へば全國のバンフューラー(郡團長)以上の指導者は毎年一回、一定の場所に集合して種々方針を練るが、これは十日間の永きに汎り、然かも單なる會議の繼續ではなしに、合同キャンプをなし、HJの成員としての生活訓練でもあるのである。

(五) かうして指導者を養成すると共に、養成した指導者に對し國家は充分な保護を與へ、昇進の途を開へてゐる。日本に於てはたま／＼熱心な團員があり、幹部があつて團の經營に努力しても、その努力を通じて人間的に鍛へら

れると云ふ以外何報酬へられる事はない。其の上社会的にはものづきであるとか何とか必ず陰口を云はれるし、家族からも青年團に其だけ努力する力があつたら、もつと家業に勵めと云はれるのが常である。かくして如何に熱心な團員、幹部でも其の努力は永續せせず、次々と團活動から脱落してゆく。私だけの狭い短い経験でも幾多の優秀な共働者とかうした理由で袂別しなければならなかつた。青少年運動は奉仕を以つて精神とする。従つて何等かの奉酬を以たとへ精神的なものでも求めめるのは間違であらうが、然し國家的な立場から考へた場合、努力すれば努力しただけの事がある様にしない限り廣範な大衆を動員するのは無理である。この點HJはうまくいつてゐるのではないかと思ふ。HJの總ての事業は、團員の名譽心に訴へて此を爲し一定の能力に達した者に對しては、其の能力に應じた技能章を與へる。(スポーツ、ゲレンデスポーツ、射撃等數多し)人間的に優秀で團活動に努力した者は次々と階級があがつてゆく(軍隊式な階級制がとられてゐる)。従つてこの階級に依つて團員としての成績が明にされるのであるが、HJ

時代の成績は、ナチス其他に加入する際は勿論、一般社會に出てからも、非常に大きな力となる。更に階級が進んでパンフューラーに達すれば有給となるし、ナチス及官界への昇進の路も開けてゐる。

(六)次にHJの組織はナチスの所謂指導者原理に基く組織であるが、軍隊式編成と相まつて、統制が非常にとれてゐる。我が國の青少年團運動は青年團にしても少年團にしても、沿革なり指導精神なりの結果として、非常に組織の全國的統制が弱い。自發的自治的な活動をすると思ふ事はもう少し強固な組織體制をとる事が必要であると思ふ。亦組織内部の統制も弱く、下部組織の幹部の權威、統制力がないと思ふ事は日本青少年團の大きな弱點ではないかと思はれる。若衆組時代には年齢層に依る階層がはつきりしており、良きにつけ、悪きにつけ強固な統制力を持つてゐたのであつたと思ふが、其の後自由主義の洗禮によつて、この統制が弱められ、現在に至つた。其は確に一つの進歩であつたには違ひないが、現在の狀態に於ては再批判されねばならぬ。特に十代の青少年に對しては相當強固な統制を

持つ團體が必要であり、亦其が彼等の氣分にも合致するのではないであらうか。「友みがき」と云ふ事は勿論必要なものであるけれども、其は整然たる機構と統制ある團體に於てこそ眞に効果的になされるのではないであらうか。

HJは階級制の施行と軍隊的な編成によつて、亦指導者原理に基く、責任と義務の觀念の絶へざる強調に依つて、下部組織から全國中央部に致る整然たる一元統制が確保されてゐる。

そして團員は一度指導者が決定すれば、其を信頼し、絶體的に服従し、指導者亦責任を持つてその任務の遂行にあたらねばならぬ事を、實踐を通じて訓練し、その徹底を計つてゐる。HJの精神的訓練はこの責任と義務の觀念に歸着すると云つても過言でない程、それは繰返し々々強調され、亦實際に其を行はせてゐる。この點自由主義的現狀に足ぶみしてゐる觀ある我々の狀態は確に再批判されねばならぬ。

(七) ドイツに於ける青少年に對する社會教育機關はヒットラー・ユーゲント及勞働奉仕の二組織に系統化され一

元化されてゐる。然かも其は國家的訓練機關としての要素と青年運動團體としての要素が混然と融合され、HJはドイツ唯一の青少年運動團體でもある。従つて青少年のエネルギーはHJに對して單一的に注がれ、亦國家的社會的各種組織よりする青少年に對する働きかけも總て一應HJの組織の手を通じて爲され、ドイツ青少年はHJに屬する事によつて、青少年としての總ての任務を果す事が出来る。

所が日本に於ては青年學校と青年團(ドイツに於ても職業補習學校が存在するが、日本の青年學校と青年團の如く任務活動が重複しない)の關係はしばらくおくも、青少年の團體は亂立し、其所に何等の連絡も統一もない。特に青年團と少年團は當然連絡があつて然るべきにも係らず、現在に於ては全く連絡不十分である。亦各團體からの働きかけも、農村の例をとれば、農會、産業組合、宗教團體等其の上層組織の異なるに従つて勝手に青年に働きかけて来る。この事實は青年のエネルギーのおびたゞしき濫費を意味する。

(八) 尙以上の事と關聯して感ずる事はHJに對する

國家、社會の關心及援助が非常に強いと云ふ事である。主務官省の努力は云ふ迄もないが、他の諸官衙との連絡も極めて良好にいつてゐる。例へば農村奉仕は食糧省、勞働省との協働に於て行はれてゐるし、その一分野である職業轉換教育(?)のラーガーは食糧省とHJとの協力に於て行はれてゐる。かくの如く各省は極めて密接にHJと連絡をとり其の援助をし、然かも青少年に對する働きかけは總てHJの手を通じて行つてゐる。

亦社會一般のHJに對する關心、援助も強い。其の一例として、あの立派なユージェント・ハイム(青少年集會所)の建築をあげる事が出来るであらうし、工場その他の經營とHJの關係にみる事も出来るであらう。亦私はリニューベツクの附近で見た海洋少年團キャンプ場の一連の風景を忘れる事が出来ない。私達の參觀したのは丁度家族招待デーであつたが、キャンプ地から團員の家庭迄は非常に遠いのも拘らず、實に大勢の父兄母姉が來場し、團員と共に一日を楽しんで居たのであつた。

かうした官民の關心援助の強い事と共に、HJの活動に

のたらしめる事が必要ではないだらうか。

(十) HJを語る時誰もがその團體的訓練の徹底せるを云ふ。従つて夫に就て多くを語る要はないと思ふが、唯日本の青少年團として考へねばならぬ事は、HJは部隊を組み號令に依つて動く場合も極めて上手だが、號令なしに自然隊形の儘で動く場合の訓練もよく出来てゐる事である。

これには號令もなく隊伍も組まぬが、全員同じ目標に向つて行動する自然隊形の儘の集團的行動と各個人が全く自己の意志に依つて動く、例へば街の雑踏の如き場合と二つの場合があるが、前者の訓練がよく出来てゐるので、後者の場合も非常に困難を避ける事が出来るのである。日本の團體の共通の缺點は號令に依る行動はよく出来てゐても、一度指揮者の手を離れると全くの無秩序、無統制ぶりを發揮する事だと云はれて居り、亦事實をうでもあるのでHJの自然隊形の際の集團行動の訓練がうまくいつてゐる點頗る感心させられた次第である。

(十一) 最後にHJに於ては文化的活動が極めて高く評價され、指導廳本部にも文化局が設置されて極めて活潑に

便すべき、及團員の保護のための社會立法が整備せる點もうらやましき限りである。

(九) 轉じてHJの内部施設に目を注ぐ時、第一に感ずる事は制服の偉力と云ふ事である。HJの制服はドイツに於ては必ずしも立派と云ふ程の物ではないが、我等の日本の常識からすれば非常に立派である上に青少年の注意をひくに足るものである。従つて青少年は好んで之を着る。そして團員以外の者は之に類する制服を絶體に着る事が出来ない。

従つてこの服裝に依つて團員、非團員の別は一目瞭然であり、然かも組織別さへも明白である。團員は之を着る事に依つて、團員としての義務と責任を要求されるが、其の反面彼等は之を着る事を最大の名譽とも誇りともしてゐる。かくして彼等は團服に依つて團員たるの自覺と同志的感情を常に養はれてゐるのである。制服は單に活動の便たるために着るのでもなければ、費用の經濟と云ふ點から着るのでもない。精神的要素こそ重要なのであると思ふ。かく考へる時日本の青少年團の團服はもう少し權威のあるも

活動してゐる。青少年運動其の物が一つの文化運動であるとも云へるのだから、之は當然の事であるが、日本に於ては少年團聯盟は別として、青年團に於てはその文化性が非常に低い様に思はれる。

HJに於て特に盛なのは音樂である。之はHJ其れ自身の特色と云ふよりも國民文化の特色であらうが、その團生活に占める音樂の時間は極めて多い。我々がブレッローで參加した青年部の野營の行事をみても、其の三分の一は音樂であると云つてもよい位であつた。青少年團に於ては音樂を強化すると云ふ効果があるので、日本の團體に於ても音樂(合唱)をもつと熱心にとりあげてゆく事が望ましいのではないかと思ふ。

(十二) 尙云ひ落したが、HJに於ては「宣傳」と云ふ事が非常に重要視されてゐる様である。大衆を一定の方向に向つて熱狂的に起上らせるためのアジテーション及活動の目的なり方針なりを大衆に徹底させるためのプロパガンダは大衆團體に於ては絶體に必要な事であり、その技術的研

究を常におこたつてはならぬと思ふが、ナチスに於てはこの點非常に熱心に行はれて居り(黨大會の如きも其一例)、従つてHJに於ても重要視されてゐる。例へばアドルフ・ヒットラー・マルシュの如きは其の良き一例であると思ふ。縣(ゲビーツ)毎に郡(パン)の代表が團旗を掲げて集合し、隊伍を組み、九月の黨大會を目指して、全国各地からニュルンベルグへニュルンベルグへと徒步行進を起し、全國の各部隊が合して一大行進を展開する事に依つて黨大會の幕は切つて落される。自分達の同志がハンブルグからザクセンから、更にケーニスベルヒからもウィーンからも全國あらゆる土地より、同じ目的に向つて、同じ旗を掲げ、歩一歩と前進して来る。何だか考へただけでも青年の血潮は湧きたつて来る様な氣がする。この一事に依つても明らかかな様に一つの集會、一つのキャンプを行ふにしても、團員の若き血を湧きたせ、民族的感情を昂揚させる様な配慮が極めて計画的になされてゐる。従つてHJ本部に於ける宣傳局は最も重要な且大きな局の一つとなつてゐる。

日本に於ては宣傳の技術的研究が不充分と云ふよりも、

未だ宣傳其の物の重要性に對する認識が不充分なのではないかと思ふ。この點大に反省の要があるのではないだらうか。

(結語) 要するに我々がHJより學ばねばならぬ點は、其が常に大衆的規模の上に於てなされてゐると云ふ事、即ちナチスを先頭とする民族的理想追求の國民運動の一翼として活動が押進められ、常に團員の自發的意志に依つて活動を遂行するやう誘導されてゐる事、従つて青少年を青年期の感激、熱情の昂りの中に實踐を通じて訓練してゐる事、其のための組織機構が極めて合理的に整備されてゐる事に盡きるのでないかと思ふ。體育が盛であり、團體訓練が徹底してゐる事等は以上の事があつて初めて可能なのであり、云はゞ如上の結果なのである。

二一 反 省

東京府 山 口 千 里

六ヶ月に亘る旅行を終へ、無事に愛する故國に第一歩を印した時、私の眼前には否母國の全青少年の前には生死を賭して爲さねばならない大きな仕事と義務とのある事を深く深く認識した。自分は青少年運動に参加してから幾年かを過した。勿論現在のまゝの青少年運動ではいけないと云ふ事を常に聞かされ又自分もそうだと考へてゐた。しかし今回如何に我が國に於ける青少年運動が彼等のそれに比べて劣つてはゐないかと云ふ事、又青少年運動が如何にその國家に對して重要な意義を持つてゐるか云ふ事に就て感じさせられた事はなかつた。

獨逸入國當初アーヘン驛頭に於けるHJととの交驩により先づ第一に彼等が如何にも青年らしい物事にこだはらぬ元氣さと意氣と又祖國愛に燃る瞳とに接し、獨逸の青少年

の非凡さを直感した。同時に我等も彼等と同じく青年でありながら我々の青年らしさが或は教育或は社會的反映とかなよつて、彼等のそれに比して如何に消極的であり又早老的であるかと云ふ事を直感したのである。

我等卅名の團員等はドイツ巡遊中獨自の方法によりて島國的な教養を打破りて團の活動を行へる結果、こゝに始めて潑刺たる青年の姿に立ちかへる事を得た。而も我等は決して彼等にそれについて劣りはしなかつたのである。即ち粘り強さの點に於て或は場所にのぞみてその眞劍なる事に於て、又その元氣さ意氣の強さに於て、動作に魂を入れる點に於て、將た又幼少の子供を愛する點、全ての利害ごだはりを捨て、一致する點に於て又國家と 天皇陛下の御爲には全ての事を捨て、奉公の誠を致す點に於てである。私

は初めて獨逸に於て日本の青少年の眞の姿を知り得又自身のかくれたる姿を見出す事が出来たのであつた。

彼等獨逸人は現在の如く一學校に於て何百何千の學生生徒を相手にする教育組織は、決して寺小屋又は村塾が與へたやうな人格教育をよく爲し得るものに非ざる事に氣付き、眞にドイツ人を作り上げ得るのは青少年運動、即ちH J以外にはないと云ふ事を知つた。ここに於て學校は單なる知識の傳達機關にしかすぎなくなつた。見方によれば非常に進歩せるやり方だと思へる。獨逸に於てはH Jの團體即ち學校になつてゐるのをしばしば見る事を得た。彼等の日常生活は即ちH Jの訓練の生活である。この様な事が獨逸の到る所で見受けられ、種々なるものによつてゆがめられざる眞の青年らしい、即ち彼等の社會に於て其の思ふ所、正しとする所に向つて恐れなく邁進する有様を具さに見る時、ドイツの前途はすばらしいぞと思はざるを得なかつた。

獨逸の學生生徒は喜んでその訓練の日常生活に服して居る。又彼等は何の爲にその様な生活をして居るかを簡單明

瞭に知つて居る。即ち彼等はその青少年時代に服従の精神を學び、規則的生活を學び、統制的なるものに對しても喜び參じて奉仕する事を學ぶ。これ皆ドイツ國家の爲であり明日のゲルマン民族繁榮の爲である事を知つてゐる。特に學生としては學生たり得ざる青少年に先立つて、良き模範を示す爲にも爲すのであると云つて居た。彼等は又總ての困難を排しても青少年運動に參加せる一員なる事に非常なる誇りを持してゐる。あたかも青少年運動の一員たる事によつて己れ一人がドイツ國全體を一人で背負つてゐるかの様な顔である。

自分が最も羨しく思つた事は彼等はその青年時代に於て活躍すべき又自らを訓練すべき、機關と場所と時と、そして一貫せる指導精神をもつてゐる事だつた。これ等の事は彼等が眞に青年らしく又積極的になり、其の生活に對する又自己存在の意義を明かにするわけだつたと思つた。

一度ふりかへりて我國を見るに我々學生生徒は全てその活躍の方面を禁止せられ、例へば選手とか特種の人々の犠牲になり又無意義なる知識偏重の重壓をその小學生時代か

ら大學に至るまで強ひられて居る。自分は日本青年の知識の奴隸的姿を發見する。彼等は其の方法が悪いとは知りつゝもその重壓からのがれ利那的青春謳歌をせんと町に出づればさては不良狩となり、その上自由主義的個人主義的思想も手傳つて、その日常生活に愛國心の愛の字の意義すら發見するに苦しむ有様となつてゐる。しかして不當なる非難を學生は各方面からうけてゐる。我々の學校の氣風が消極的ともなり早老的となつて眞の青年らしさが蔽はれ又ゆがめられてしまふのは當然である。彼等がその青年らしさを充分發揮して活躍する日常生活が即ち愛國的生活である様にしむけられてゐる事は羨ましき限りである。又我等は決して彼等に勝るとも劣らぬ實質を持つてをりながら、彼等に劣らねばならぬ様に生活機構、學校制度がなつてゐる事は残念に思はれる。我々は一刻も早く社會によつて與へられるか自から作りだすかして農村の青少年にも商工の青少年にも又學生生徒にもその活躍すべき時と場所と機關をあたへ、全日本青少年はその若々しさと愛國的生活を取り戻さねばならないと信ずる。

我々は歸途船中に於て此の數ヶ月間に於て如何に我國內が緊張して來たかと云ふ事と又如何に多方面に於て變化したかと云ふ事を知らされ、出來得るかぎりのチャンスをつかへて、現在の日本の動きを又状態を知らんとつとめ、港に着く度に日本の新聞をもとめて讀んだ。これによつて日本に於ても學生こそつてアルバイトディーンストに參加した事を知つた。即ち眠れる獅子の立ちあがつたかの力強い感じたのも感じを我々にあたへ、日本の青少年の眞の青少年らしさを取戻して、大行進をやり出す前夜の様な氣がして血湧き肉躍つたのであつた。

我が青少年團に關する所感

自分は青少年運動に參加してから幾年かを過したが訪獨後の現在程、青少年運動が其の國家に於て重要な意義を有し如何にその結果がその國家に大いなる影響を及ぼすかと言ふ事を感じた事はなかつた。自分が青少年運動に參加

した時は何らその重大なる責任を考へず、ただ何物かに憧
がれて入つて來た事を思ひ出す。或哲人曰く「其の國の青
少年を我に見せよ、さすれば我その國家の將來をトせん」と
此の詞の眞意にうなすける。勿論以前から日本に於ける青
少年運動はこのまゝであつてはならんと聞かされ、又自分
からも感じてゐたが、是非とも自からの良き物を取り又諸
外國のその良き點を他山の石とし、より立派なより國家
的の物にならん事を心から祈る者である。

一 日本の現状と青少年團

1 時間 第一に現在の日本をかへりみるに實に青少年
運動の發展しにくい時代に當面してゐる事を感じる。特に
青少年は青少年運動に参加する時間を持つてゐない徒弟職
工がその仕事に追はれ、學生生徒はその勉強に追はれ人を
集めやうにも集める事が困難だ。ドイツに於ては先づ第一
に訓練に参加出来る時間を彼等にあたへてゐる。

イ 學生生徒の場合 大學生から小學生に至るまで學問
に追はれてゐるのを見る。特に小學生に於ては、最近

宿題の爲日曜すら外出し得ないあり様で、親が少年團に

理解がありながら學校第一主義を取る爲少年團にその愛
兒を出さない。小學校に於ける補習を禁じた學務當局は
宿題をも禁じてほしい。それでは入學試験に應じられな
いと云ふならば入學試験を全廢するか社會訓練の成績に
よる試験にすべき事を國家の急務と感ずる。然らざれば
體格は低下し小國民をして利己主義にならしめ勉強の本
義を誤らせる。ドイツの學校は一日の大體半分は休みで
一日午前中で終る。午後その他の時は全部社會訓練だと
云ふ。知的なるものは全て附屬物であると思ふ。日本に
於て今迄の勉強時間の半分をやめて社會訓練體育に用ひ
たとして、一體どのくらい智的レベルが下るか。勿論そ
の當座は下るにしても大局から見た時如何。知識人を作
ると云ふより日本人を作ると云ふことが國民教育の目標
でなければならぬと思ふ。社會訓練五〇點、學問五〇
點とすべきである。

ロ 徒弟職工其他勤勞青年の場合 獨逸に於ては青少年
を雇ふと云ふ事はその青少年の教育の全責任を引受けた

事と等しいと云はれてゐる。日本に於ては青少年を教育
する事を忘れ、自からの利益の爲にのみ使用してゐるの
を見る。商店法により十時となり工場法により十時間制
となつたと云はれる。けれどはたして青少年運動に参加
する時間があるだらうか。尾久の一例を上げれば來年度
から義務制になる青年學校に於て在席三百名、しかし出
席者百名を缺くと云ふ。來る時間がないのか。雇主がよ
こさぬのか。自分が來ないのか。青年學校が無味乾燥で
アピールしないのか、不明である。少くとも毎日曜は又
毎日の午後六時以後は休みとする必要ありと思はれる。

2 機關

イ 軍隊 軍隊は國家に於ける國防機關であると同時に
青少年教育機關なる事は明かなる事實である。勿論その
動作、規律に於ては我々の及ぶ處ではないが、何故その
軍隊のみにとどまつてゐる社會に於て來ないのかが疑問
である。それでは軍隊に於ける青少年教育の價值も半減
する。同じく服従、奉仕の精神をまなぶが、はたしてそ
れが社會に於ては生きて來ない。そこに青年教育の缺點

があるのでではないか。

ロ 青年團 郷土愛にめざめる事を目標に進んではゐな
いと云ふが、若者の寄り集りによつて成る團體で全國的
ではあるが青少年運動即ち青少年の訓練機關であるかと
思ふとき大いに疑問である。

ハ 青年學校 青少年の訓練を目的として立てられた物
だと云ふが、農村はしらす都會に於ては、高等小學校の
延長にしかすぎぬと云ふ。そして青年團との全く年齢的
事情を考へず立てられてゐる事は全く殘念で、これは全
く學生生徒を度外視した物で一方的な物である。

ニ 少年團 同じく青少年の訓練を目的としてゐるもの
の、少年を相手にして青年の方をかるくしく見てゐる
傾向があり、中に少年團の眞意をはきちがへてゐる指導
者の多いのは殘念である。

今回訪獨して機械的な組織による青年運動は全くその意
義なく訓練をのぞいたそれ、世界觀教育、政治觀教育、宗
教々育をのぞいた青少年運動は全く存立の意義がなくなる
事を知つた（體育的訓練も勿論必要である）。

3 場所

我々は少年團、青年團の爲の家を特別にもつてをらない事を痛感する。即ち皆のあつまり場所へヤベルゲである。又外へ出てハイムのない事を残念に思ふ。その足場、中心地のない處にはなかなか發達しない。

4 一貫せる指導原理

勿論これを作らうと思つてもテーブル上の考へにてはちよつとやそつとは出來上らないが(色々の經驗の後にはじめて少しづつ出來上るものと思ふが)、ドイツに於て又これか／＼と思ふ程山に於ても谷に於ても同一の指導原理によつて總てが行はれてゐるのを見た。そこを出て來た人の意見思想が少くとも同方向をむくのは當然だと思ふ。我國を見るに各團各様に實に思ひ／＼である。勿論良き點は各々にあらうがより良き一貫せる指導原理の確定せん事を望む。

5 時代の要求

我々此の非常時に於て一大時代の轉機に當來してゐる事を聞く。我々の青少年運動も又新しい見地、新しい思想の下に大轉換し、邁進する事を要求されるのである。殊に國家的見地に立つ時にそれは一大必要時なる事を發見する。我々個人が望む以上に國家が望み時代が

要求してゐる事を知る。

二 青少年團の將來

1 將來の青少年運動

思想、規律、體育の訓練はもとより政治教育、禮儀、宗教教育等を行ひ、若者が若者を指導する様に、又世界の動きを知り世界の青少年と手をにぎり合つて行く物、一貫せる指導原理を有し日本に於て唯一の物である様に、そして學生も生徒も徒弟も農業にしたがふ者も全てをふくむもの、その中に於て眞に日本人を作り得る物である事を信ず。

2 青少年運動の宣傳

獨逸にその足を一步ふみ入れるや如何に宣傳が上手であり又大がかりであるかと云ふ事に氣がつく。唯ビラばかりでなくあらゆるチャンスをとらへる事を研究してゐるにちがない。黨大會など見方によれば一大宣傳大會の如き物と思はれる。特に青少年運動に對しあれ程立派に行はれてゐるにもかかはらず一時たりとも宣傳の手をゆるめない。至る所に於て青少年運動の重要性を親しく知らしめてゐる。

る。しかるに日本に於ては青少年運動自體さへも目鼻がつかず／＼してゐるに實にドイツの宣傳に比して宣傳の方はおとつてゐるかと思はざるを得ない。社會人の中に學生の中に教育にたすさはつてゐる教授、教師の中にすらこれを白眼視する人の多くある事は残念だ。まして子をもつ親の不理解は當然であると存する。青少年運動自體の宣傳認識を高める心があると思ふ。

3 大學生の總動員

現在の學生を見るに青少年の一部でありながら、青少年運動に對して特種の立場にたつてゐる。即ち有閑的立場にゐると思ふ。少年團に關係せず青年團、青年學校にも關係しない。そこでいくら小學生を訓練したところで、青年團にのみ力を入れたところで、社會の指導的地位にたんとする學生を残しておいたのでは、青少年運動は決して發展しない。現在全國に於ける大學生を全部動員して大學生みずから青少年運動の先頭に立つ時、百萬の味方を得るより有力なる事と信ず。英國の大學生が世界大戰の時進んで參戰した事は英國人等をして大いに動かしした事は有名であ

る。又ナチス黨が六名をもつて始まり現在の如くなり得たのは先づ大學生聯盟に於て大學生を左右し得る力をにぎつた事が重大なる原因なる事を知る。少年團聯盟が出來て廿年、いまだにその力稚々としてゐるのは小學生ばかりを相手にして大學高等學校生を相手にせず度外視してゐた事によると考へる。故に現今の急務は各大學から自由主義的なものを排除して訓練統制を喜びむかへる考を植ゑつけ大學生自體が大學生自體が青少年運動の本體たる事をその推進力たらん事を、そして他の青少年の模範となつて他の青年をひきずつて行く事を望む。

4 指導者學校

軍隊に於て士官が必要で士官學校があり軍隊に於ての指導者を作つてゐる。同じ様に我々青年運動の指導者學校を是非必要とする。獨逸に於ては實にこの種の學校が進んでゐる。單に青少年指導者のみならずして社會の士官を作る政治指導者學校なるものすらある。

實に指導者を養成するのに力を入れてゐる。我々現今に於て實に良い意志の強い立派な指導者のない事を痛感す

る。現在指導にあつてゐる人の實力をもたず、唯指導的地位にすはつてゐる人の多くを知る。彼等の言動は青年にアピールするどころか青少年をして不確實なる消極的な早老的なものとしてゐる。おそるべき事と思ふ。どうかして若いしかも力強い元氣のあふれた指導者を作り出す事を望む。即ちその道の權威者を動員して指導者學校を作り出す事が急務なりと信ず。

そして若者に對するに立派な實力のある若い指導者が指導にあつた時積極性に加ふるに積極性をもつてすれば必ずや青年同志はどれくらい事をしでかすにちがいない。現在の急務は若き指導者の缺乏、實力經驗のある人の缺乏をおぎなふ事である。

5 統一化に先だちて

青少年團の統一化は絶対に必要であると信ず。ドイツに於て同じ事を至るところどぎつい位にまで見たと云ふ事は、ドイツの全青少年が同じ方法により同じ思想により全く同一の方向にむけられて訓練され進んでゐると云ふ事を知つた。その様な同じ系統の團體から出て來た者のみずし

を必要なる事と思ふ。いくら雇主や親が青少年運動に無理解であつても青少年運動の出來得る機構を作つてほしいのであります。ドイツに於ては國家的に唯一であるところの國家の事業でありながらHJは民間にあつて諸官廳に屬してゐないのである。

色々細かい部分的な點の獨逸に學ぶ所は多々あると存じますが、先づこれ等のものが行はれて初めて國家的なる青少年運動の第一歩が新たにふみ出せるのだと思ふ。即ち青少年運動の行はれやすい機構を作り青少年運動の叫びは下より盛り上つた叫びである。

青少年運動認識宣傳、指導者學校、大學生の動員、國家の民間團體に對する援助を今や最急務なりと信するのであります。



らすの人であつても同志的感情の湧くのは我々ポライスカウトの者が出合つた時のしたしい感情と同じである。又同じ様に教育されて來た者の一致し團結するのやすきを知る。現在の獨逸が特に若者たちが赤の他人でありながら唯單にHJを出たと云ふだけで同志的精神に生き國家的に團結し得てゐる事は當然だ。ましてHJに於て同志的精神を強調されるに於ておやである。色々な青少年運動は元來全て國家的なるものが統一化と云ふ事はより國家的にしより重要な存在とせしめる事である。現今の我國をかへり見るに各青少年運動は思ひ／＼の事をやつてゐる。なかなか協調しない状態である。獨逸に於ては初めからHJを全國民に強ひたのではない。先づ各々に良きものを充分に發揮させHJの指導精神訓練の實際が確立して初めて統一化にのり出したのである。その時小さな團體は勿論トヨタ大將の率ひるあの強大なる大獨逸聯盟ですら喜んでその下に集つたと云ふ事を見る時、現在に於ては出來得るだけ金を出して民間の青少年運動を發達させると同時に社會機構特に學生生徒の生活機構、學校制度の改革、勤勞青年生活の改革

略語註

略語 獨逸語

ナチ又はナチス(NSDAP)

エル・ヨット・エフ(RJF)

ハー・ヨット(HJ)

ユング・フォルク(DJ)

ベー・デー・エム(BDM)

ユング・メーデル(JM)

ゲビーツフューラー(Gebietsführer)

バンフューラー(Bannführer)

ユーゲントハイム(Jugendheim)

ハイムアーベント(Heimabend)

アルバイトデイーンスト(Arbeitsdienst)

アルバイトフロント(Arbeitsfront)

エス・アー(SA)

エス・エス(SS)

カー・デー・エフ(KDF)

註 解

國民社會主義獨逸労働黨

青少年指導廳、内閣に直屬するヒットラー・ユーゲントの中央監督官廳であり其の統監はバルドウル・フォン・シーラッハ氏である。

ヒットラー・ユーゲント、廣義には男女青少年團の總稱、狹義には男子青年團。

ヒットラー・ユーゲント(廣義)の中の男子少年團。

ヒットラー・ユーゲント(廣義)の中の女子少年團。

ヒットラー・ユーゲントの州指導官。

ヒットラー・ユーゲントの郡指導官。

青少年塾、HJの集會所。

青少年塾に於けるHJの夕刻の集會。「團樂の夕」。

労働奉仕團。Arbeitsmann は労働奉仕團員。

労働戦線組合(國民社會主義獨逸労働組合)

突撃隊(ナチス黨の攻撃部隊)

親衛隊(ナチス黨の護衛部隊)

歡喜力行團。労働階級に對する厚生施設。



昭和十四年六月 十日印刷
昭和十四年六月 十五日發行

日獨青少年團交驩會

(文部省社會教育局内)

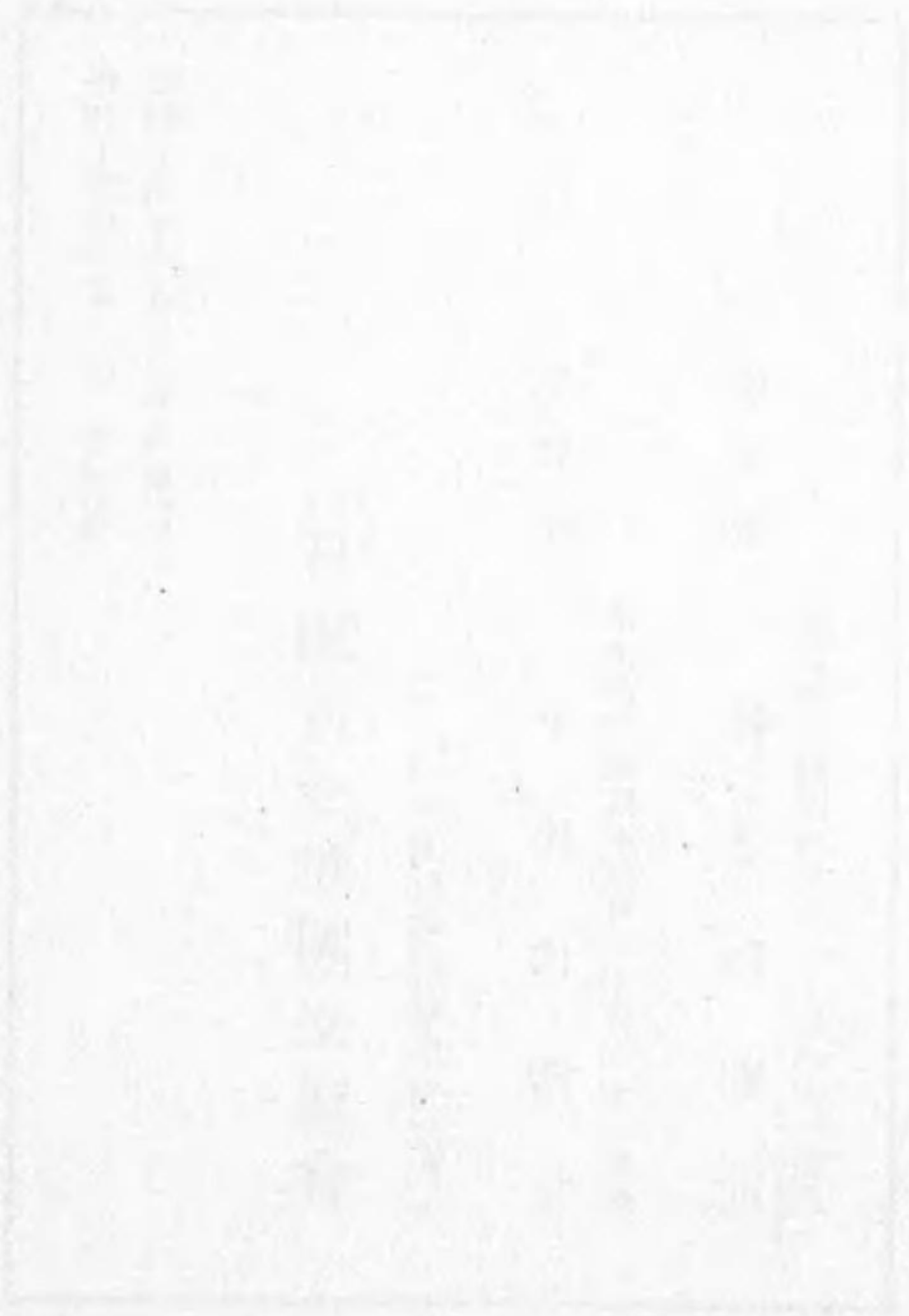
印刷者 小松代浩三

東京市京橋區木挽町一丁目二十一番地

印刷所 特急印刷社

東京市京橋區木挽町一丁目二十一番地

279.5
157



終

